

平成 27 年度  
磯子区民意識調査報告書

横浜市磯子区役所



# 平成27年度 磯子区民意識調査報告書

## 目次

I	調査概要	1
1	調査の目的	1
2	調査の方法	1
3	分析の方法・結果の見方等について	1
II	調査結果	3
1	回答者の属性について	3
(1)	F 1 性別	3
(2)	F 2 年齢	3
(3)	F 3 婚姻・配偶者の有無	4
(4)	F 4 子どもの有無・学校教育段階	5
(5)	F 5 同居の家族構成	5
(6)	F 6 職業	6
(7)	F 7 居住地域	7
(8)	F 8 住居形態	9
(9)	F 9 今の住まいに住み始めた時期	11
(10)	F 10 通勤・通学先	12
(11)	F 11 普段利用している鉄道駅・鉄道駅までの交通手段	13
2	普段の生活のことや磯子区の魅力について	14
(1)	問 1 現在の生活に対する満足度	14
(2)	問 2 自身や家族の生活のことでの心配ごとや困っていること	17
(3)	問 3 日常生活で困ったときの相談相手	22
(4)	問 4 磯子区での定住意向	25
(5)	問 5 普段生活するうえで重要だと思うこと	29
(6)	問 5 各項目についての現在の取り組み状況	31
3	隣近所との付き合いや地域での活動について	34
(1)	問 6 隣近所との付き合い方	34
(2)	問 7 自治会・町内会への加入状況	39
(3)	問 8 仕事や学業以外で参加している活動	41
(4)	問 9 地域や社会に役立つ活動への参加意向	45
4	生活環境全般に対する満足度・重要度について	47
(1)	問 10 生活環境に対する満足度	47
(2)	問 10 生活環境に対する満足度の以前との比較	53
(3)	問 11 住まいの周辺の環境にとって、特に重要度が高いもの	55
(4)	問 12 磯子区役所が取り組むべき課題として重要度が高いもの	61
(5)	問 13 まちの魅力やお住まいの理由、解決したいまちの課題、提案	67
5	商店街について	68
(1)	問 14 地元の商店街の利用頻度	68

(2) 問 15 商店街に対して希望すること.....	70
6 災害対策について.....	71
(1) 問 16 大地震が起きたときに特に心配なこと.....	71
(2) 問 17 大地震に対しての準備 .....	73
(3) 問 18 要援護者の避難支援に関してできると思うこと.....	75
7 健康づくりについて.....	76
(1) 問 19 1日に歩く時間 .....	76
(2) 問 20 日常的に歩くために行っていること.....	768
(3) 問 21 今後の健康づくり .....	86
8 その他（自由意見について） .....	88
III 参考資料（調査票・単純集計結果） .....	89

# I 調査概要

## 1 調査の目的

磯子区民のニーズや意向を的確に把握し、今後の区政運営の方向性を検討するための基礎資料とすることを目的に、区民の日常生活に関わる様々な事項について調査を実施しました。

## 2 調査の方法

調査の対象者、配布・回収方法、回収率などは次のとおりです。

調査対象者	区内在住 20 歳以上の男女 3,500 人
抽出方法	住民基本台帳から無作為抽出
調査方法	郵送式（郵送配布・郵送回収、ハガキ督促 1 回）
回答方法	無記名、選択式（一部記入式）
調査実施時期	平成 27 年 6 月 12 日～6 月 29 日
回収標本数	1,805 票（回収率 51.6%）
調査実施機関	一般社団法人 輿論科学協会

## 3 分析の方法・結果の見方等について

- 設問には単数回答（1 つの項目のみ選択するもの）と複数回答があり、複数回答の設問では、表記の割合の合計は 100%を超えます。
- 単数回答の設問に関しても、表記の割合は選択肢ごとに少数第 2 位を四捨五入しているため、それぞれの割合の合計が 100%にならない場合があります。
- 各設問において、選択肢への○囲み、回答欄への番号や文字の記入等がなかったものについては「無回答」としています。
- 設問の中には前問に答えた方、及び特定の選択肢を選んだ方のみが答える設問があり、その場合には表記の「回答者数（n）」が全体よりも少なくなっています。
- 一部の設問において、選択肢の文言が長いものについては、本文やグラフ中で簡略化して表記している場合があります。
- クロス集計の結果に関しては、「無回答」などの回答結果を割愛している場合があります。
- 一部の設問については、過去に実施した磯子区民意識調査や、横浜市民意識調査等の結果と比較して調査結果を掲載しています。
- 自由記入欄、及び各設問の「その他」の内容の具体的な記述について、一つの回答の中に複数の項目について述べられている場合には、それぞれの項目について 1 件と数えているため、項目ごとの件数の合計が回答総数と一致しない場合があります。

### 《回答者の世帯類型の整理》

調査項目のF2（年齢）、F4（子どもの有無）、F5（家族構成）の3つから、本調査の回答者の世帯類型について、下の表1のように整理することができます。

今回の調査では、磯子区にお住まいの方々の状況について、回答者の世帯の状態や、回答者本人のライフステージといった視点から把握するため、一部の設問項目においてこの世帯類型を用いた分析を行っています。

表1 回答者の世帯類型の整理

世帯類型	分類に用いた項目	件数	構成比
ひとり暮らし (本人 65 歳未満)	F5 (家族構成) が「ひとり暮らし」、かつ F2 (年齢) が 65 歳未満の方	94	5.2%
ひとり暮らし (本人 65 歳以上)	F5 (家族構成) が「ひとり暮らし」、かつ F2 (年齢) が 65 歳以上の方	108	6.0%
夫婦のみ (本人 65 歳未満)	F5 (家族構成) が「夫婦のみ」、かつ F2 (年齢) が 65 歳未満の方	201	11.1%
夫婦のみ (本人 65 歳以上)	F5 (家族構成) が「夫婦のみ」、かつ F2 (年齢) が 65 歳以上の方	317	17.6%
子と同居 (第一子未就学)	F5 (家族構成) が「親と子」、かつ F4 (子どもの有無) について、最も年齢が上の子どもが「小学校入学前」の方	75	4.2%
子と同居 (第一子在学中)	F5 (家族構成) が「親と子」、かつ F4 (子どもの有無) について、最も年齢が上の子どもが「小学校在学中」～「短大・大学・大学院在学中」の方	233	12.9%
子と同居 (第一子学校教育終了)	F5 (家族構成) が「親と子」、かつ F4 (子どもの有無) について、最も年齢が上の子どもが「学校教育終了」の方	331	18.3%
親と同居 …※	F5 (家族構成) が「親と子」、かつ F4 (子どもの有無) について、「子どもはいない」と回答した方	155	8.6%
三世代同居	F5 (家族構成) が「祖父母と親と子 (三世代)」の方	98	5.4%
その他	F5 (家族構成) が「その他」の方	96	5.3%
分類不可	回答者の属性に関する設問項目中に無回答の項目があり、 上記に分類できない方	97	5.4%
合計		1,805	100.0%

※「親と同居 (本人 65 歳以上)」と分類される方が少数であったため、「親と同居 (本人 65 歳未満)」と合わせ、「親と同居」という類型に分類しています。

## Ⅱ 調査結果

### 1 回答者の属性について

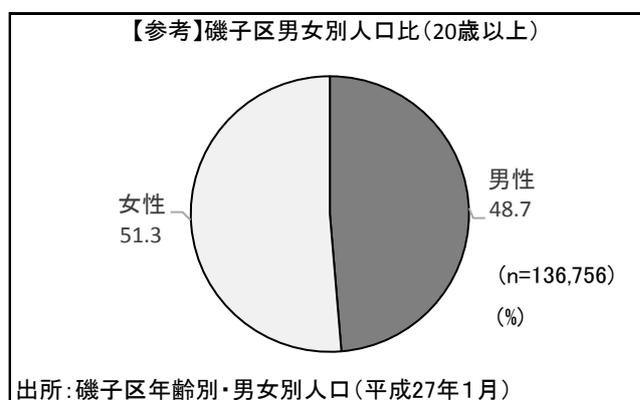
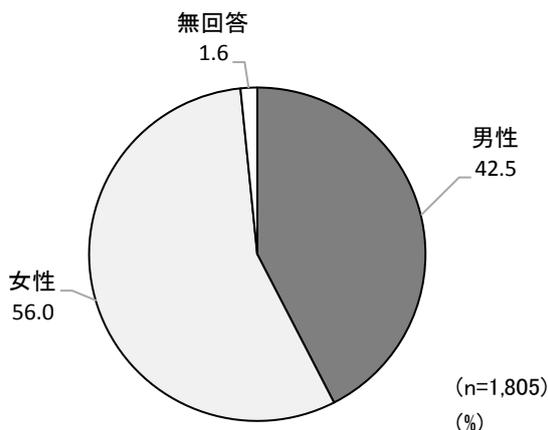
#### (1) 性別

回答者の性別についてたずねたところ、「男性」が 42.5%、「女性」が 56.0%と、女性のほうが多くなっています。

#### 《磯子区の男女別人口との比較》

磯子区の男女別人口（平成 27 年 1 月現在、20 歳以上）をみると、男性 49.1%、女性 50.9%となっており、本調査の回答者は、実際の人口構成よりも女性の割合が高くなっています。

図 1 回答者の性別



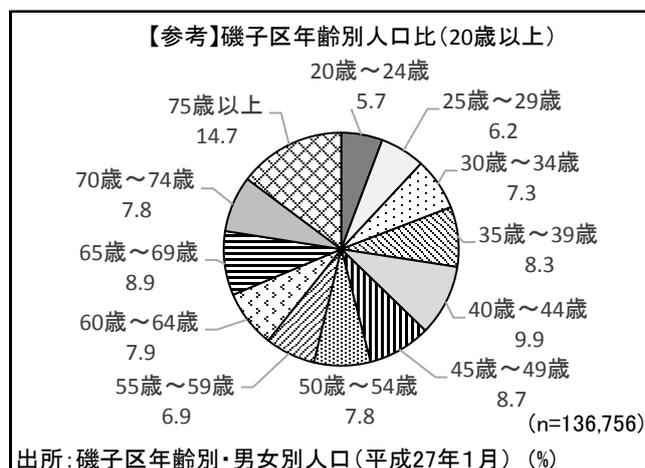
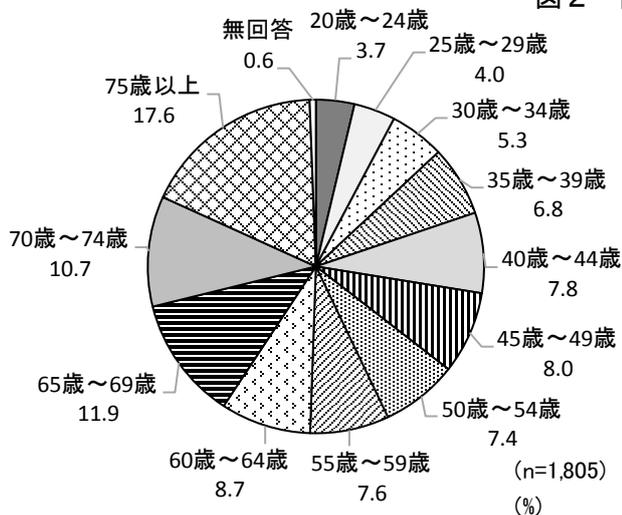
#### (2) 年齢

回答者の年齢についてたずねたところ、「75 歳以上」が 17.6%と最も多く、次いで「65 歳～69 歳」が 11.9%となっており、本調査の回答者の年代は、60 歳以上の方が 48.9%となっています。

#### 《磯子区の年齢別人口との比較》

磯子区の年齢別人口（平成 27 年 1 月現在、20 歳以上）と比較すると、60 歳以上の方が 39.3%となっており、本調査の回答者は、実際の人口構成よりも 60 歳以上の方の割合が高くなっています。

図 2 回答者の年齢



### (3) 婚姻・配偶者の有無

回答者に配偶者の有無についてたずねたところ、「既婚（配偶者あり）」が68.9%、「既婚（離死別）」が13.2%、「未婚」が16.6%でした。

#### 【夫婦共働きの有無】

「既婚（配偶者あり）」と回答した方に対して、夫婦共働きの有無についてたずねたところ、「フルタイム共働き」が16.5%、「パートタイム共働き（夫婦の何れか、あるいは両方がパートタイム）」が24.9%、「していない」は56.8%でした。

図3 回答者の婚姻・配偶者の有無

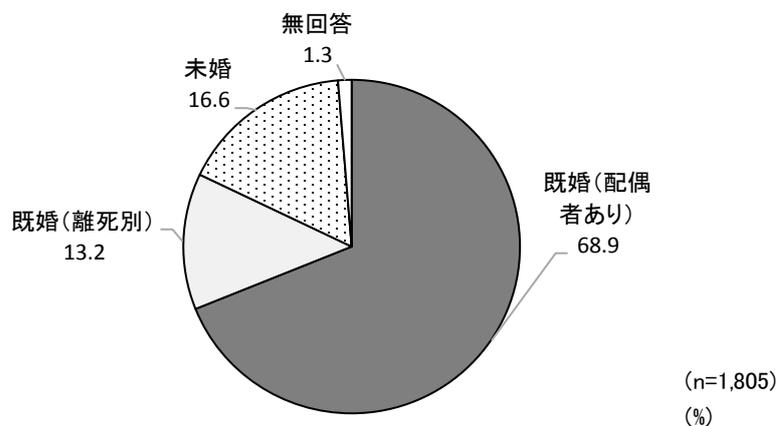
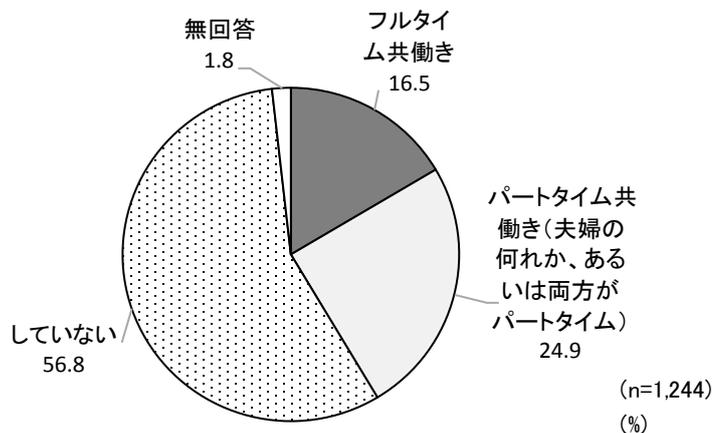


図4 夫婦共働きの有無



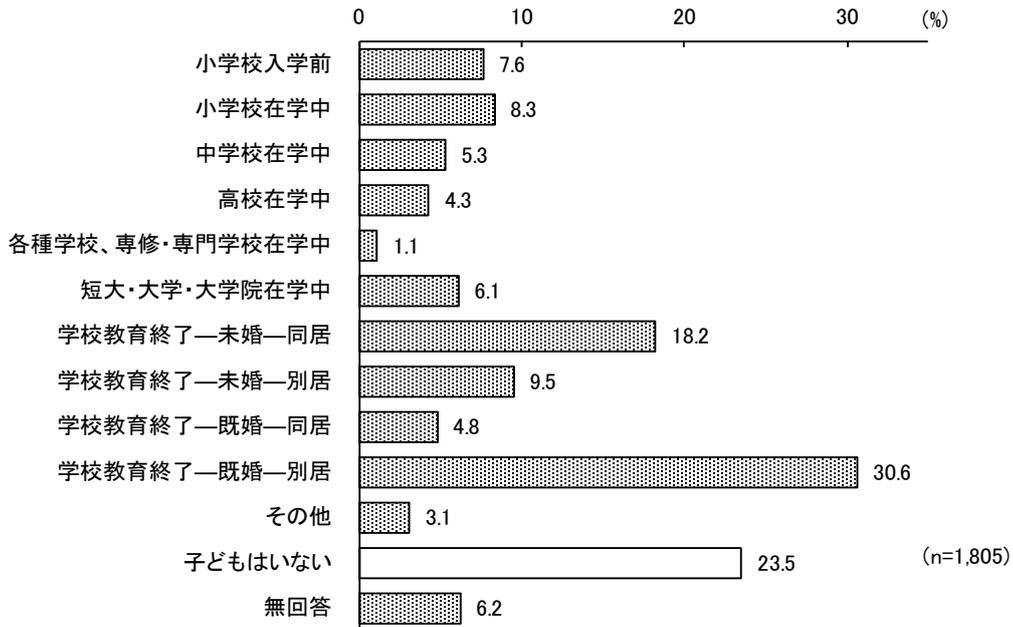
※「既婚（配偶者あり）」と回答した方を対象とした設問となっています。

#### (4) 子どもの有無・学校教育段階

回答者に子どもの有無、および子どもの学校教育段階についてたずねたところ、子どものいる方（「子どもはいない」、無回答を除いた割合）が70.3%で、「子どもはいない」という方が23.5%でした。子どものいる方について、その子どもの学校教育段階をみると、最も多かったのは「学校教育終了—既婚—別居」で30.6%、次いで、「学校教育終了—未婚—同居」が18.2%となっています。

なお、本設問は複数回答形式であり、子どもが複数いる方については、複数の学校教育段階を選択していることがあります。

図5 回答者の子どもの有無・学校の教育段階

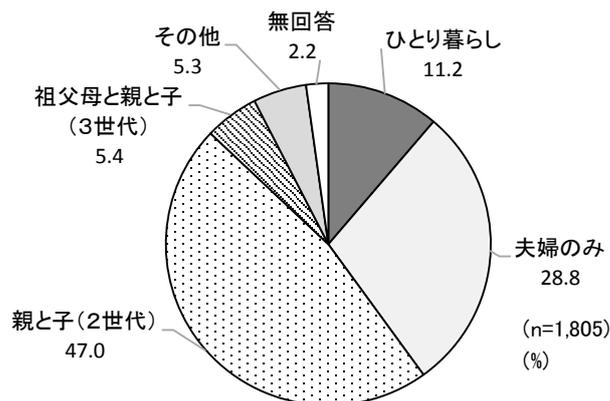


#### (5) 同居の家族構成

回答者の現在同居している家族の構成についてたずねたところ、最も多かったのは「親と子（2世代）」で47.0%、次いで「夫婦のみ」が28.8%、「ひとり暮らし」が11.2%、「祖父母と親と子（3世代）」が5.4%、「その他」が5.3%となっています。

なお、ここでいう「親と子」には、回答者が自身の子どもと同居している場合と、回答者が自身の親と同居している場合の両方が含まれます。

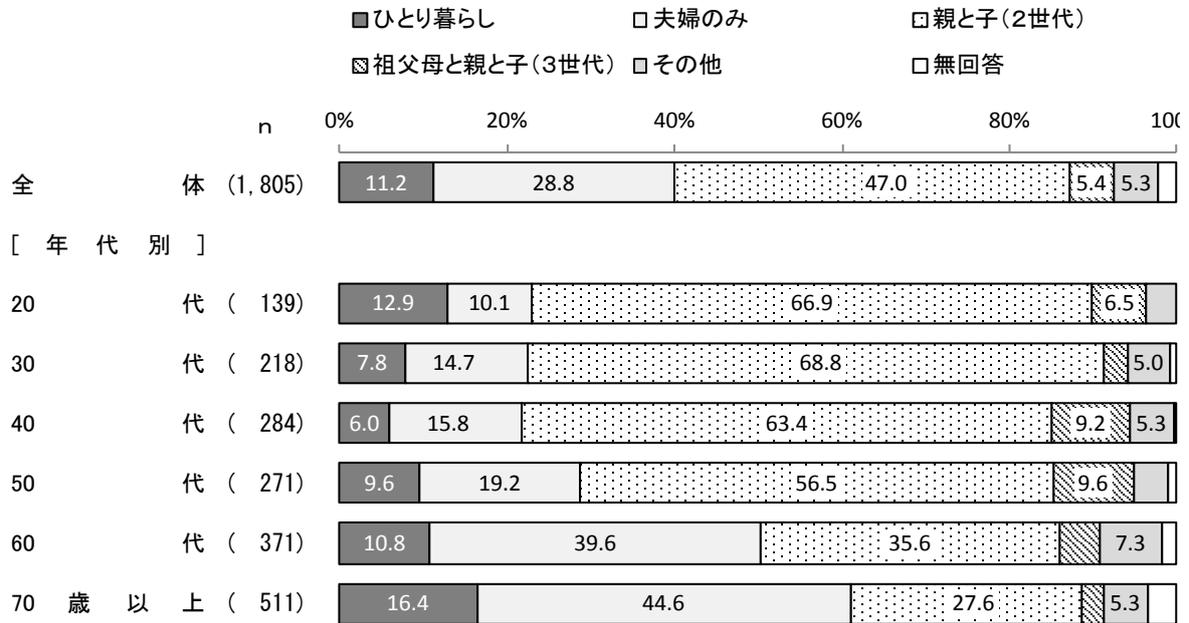
図6 回答者の同居の家族構成



《年代別にみた回答者の同居の家族構成》

回答者の家族構成について年代別にみると、「ひとり暮らし」の割合は、20代から年代が高くなるにつれて40代までは低くなっていますが、40代から70歳以上では逆に高くなっています。60代以上では「親と子（2世代）」の割合が低く、「夫婦のみ」の割合が高くなる傾向が顕著にみられます。

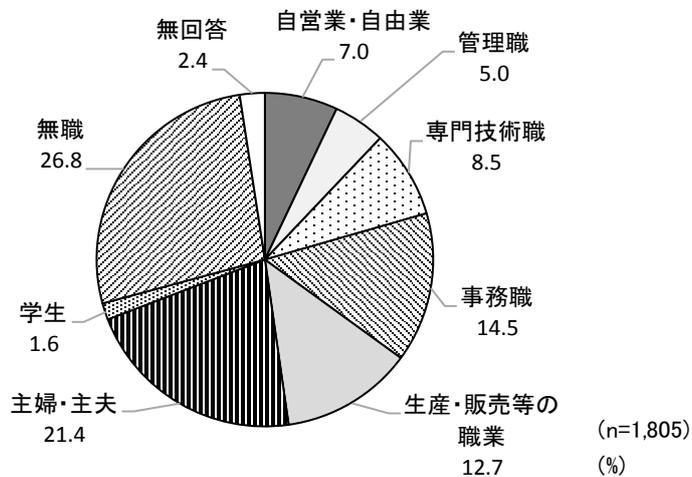
図7 年代別にみた回答者の同居の家族構成



(6) 職業

回答者の職業についてたずねたところ、最も多かったのは「無職」で26.8%、次いで「主婦・主夫」が21.4%となっています。また、「事務職」が14.5%、「生産・販売等の職業」が12.7%となっています。

図8 回答者の職業



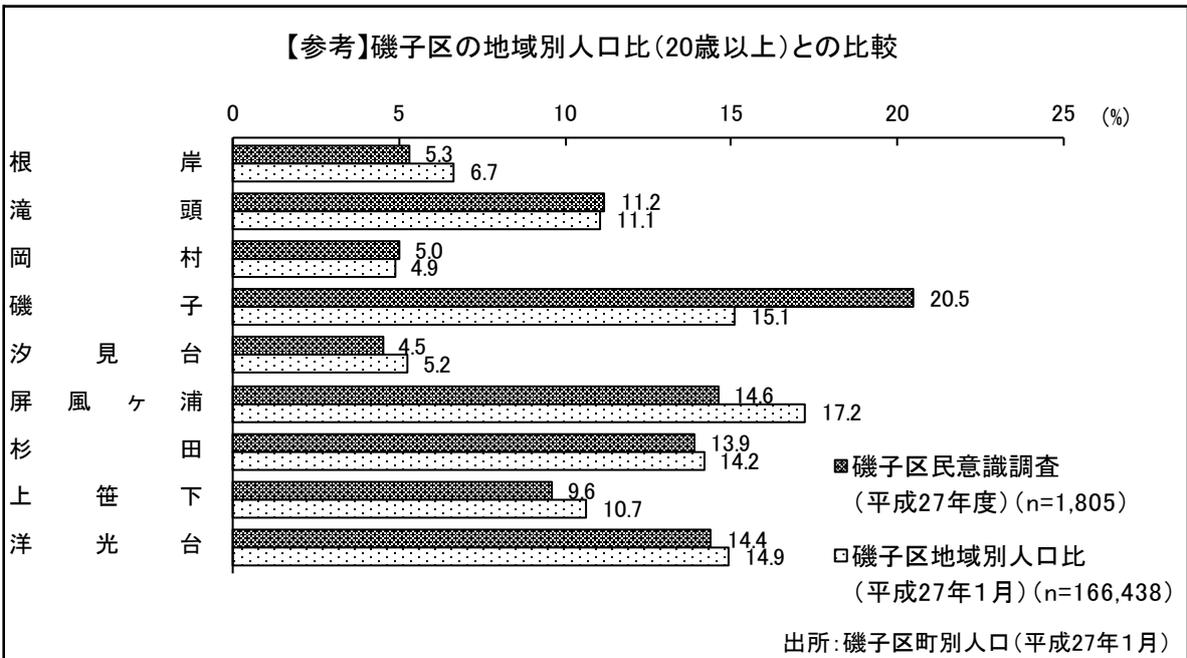
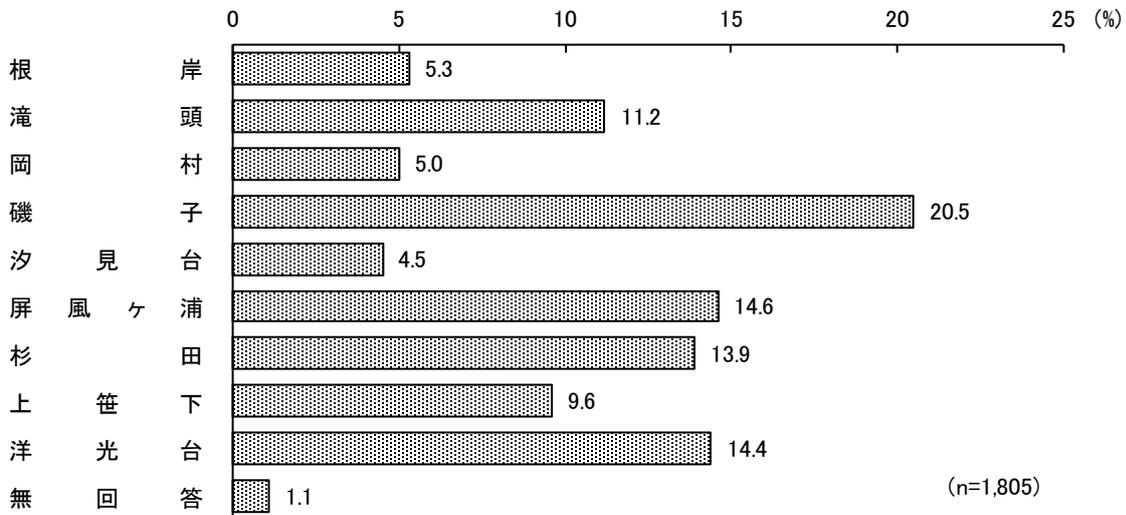
(7) 居住地域

回答者の居住地域についてたずねたところ、最も多かったのは磯子で 20.5%、次いで屏風ヶ浦が 14.6%、洋光台が 14.4%、杉田が 13.9%となっています。

《磯子区の地域別人口比との比較》

磯子区の地域別人口比（平成 27 年 1 月、20 歳以上）と比較すると、本調査の回答者の居住地域の構成比は、おおむね実際の構成比と近いものになっていますが、磯子は実際よりも割合が高くなっています。

図9 回答者の居住地域

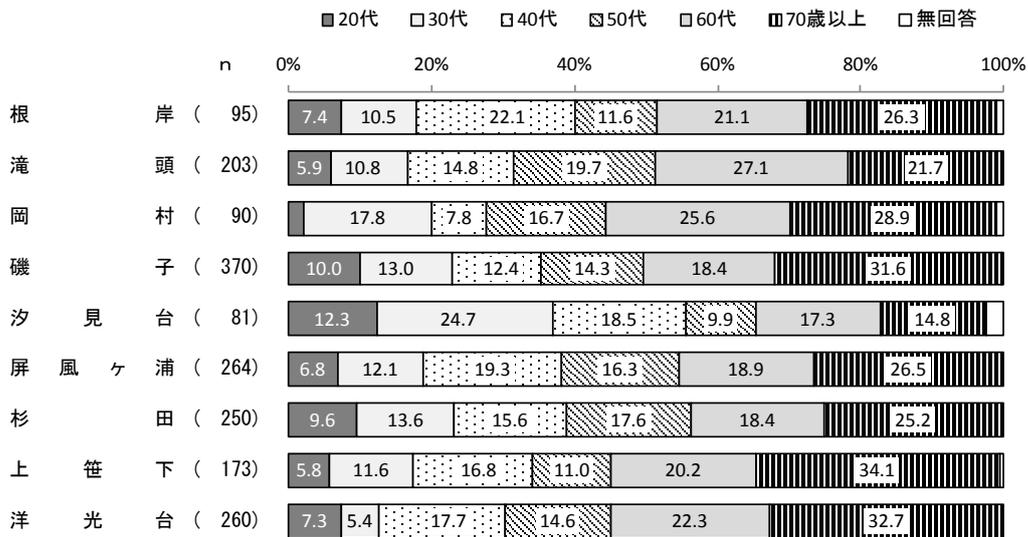


《居住地域別にみた回答者の年代》

回答者の年代について居住地域別にみると、ほとんどの地域で 60 歳以上の方の割合が高くなっており、特に、岡村、磯子、上笹下、洋光台は 5 割を超え、70 歳以上の方の割合も 3 割を超える地域もあります。

汐見台では 30 代が 24.7%と、各年齢層の中で最も割合が高くなっており、60 歳以上の方の割合も、32.1%と低く、他の地域よりも若い方の割合が高いという特徴がみられます。

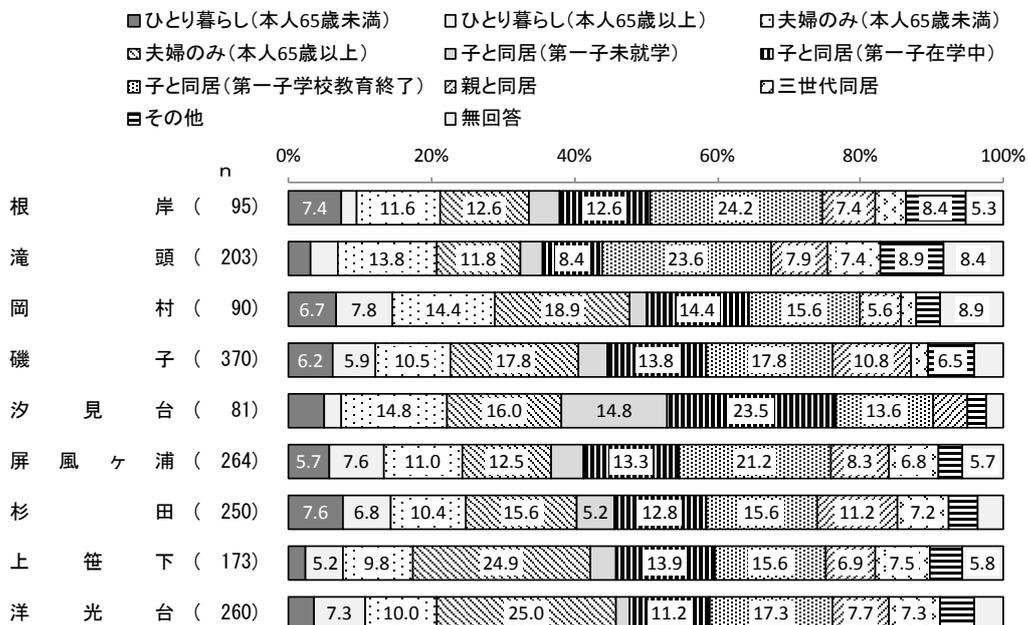
図 10 居住地域別にみた回答者の年代



《居住地域別にみた回答者の世帯類型》

回答者の世帯類型について居住地域別にみると、汐見台では「子と同居（第一子未就学）」が 14.8%、「子と同居（第一子在学中）」が 23.5%と、他の地域と比べて割合が高くなっています。また、上笹下と洋光台では、「夫婦のみ（本人 65 歳以上）」の割合が高いという特徴がみられます。

図 11 居住地域別にみた回答者の世帯類型



(8) 住居形態

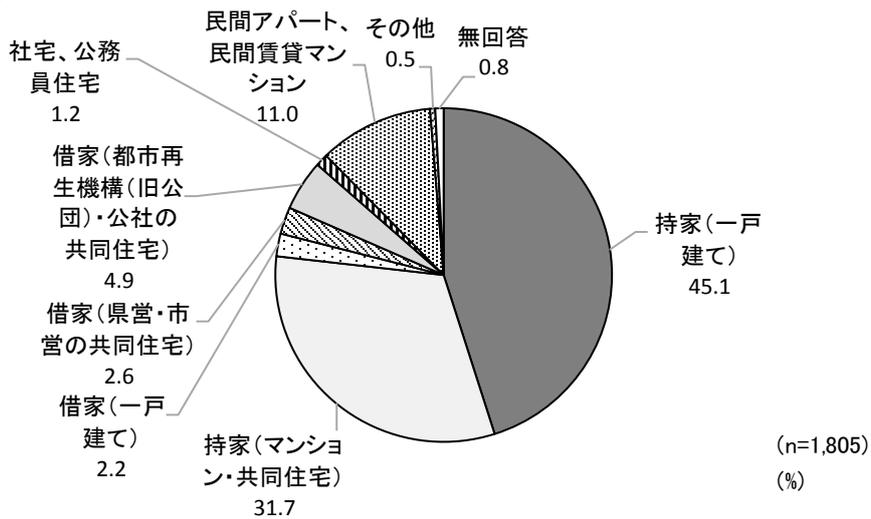
回答者の住居形態についてたずねたところ、最も多かったのは「持家（一戸建て）」で45.1%、次いで「持家（マンション・共同住宅）」が31.7%であり、回答者の76.8%が持家に住んでいます。持家以外では「民間アパート、民間賃貸マンション」が最も高く、11.0%となっています。

《「横浜市民意識調査」との比較》

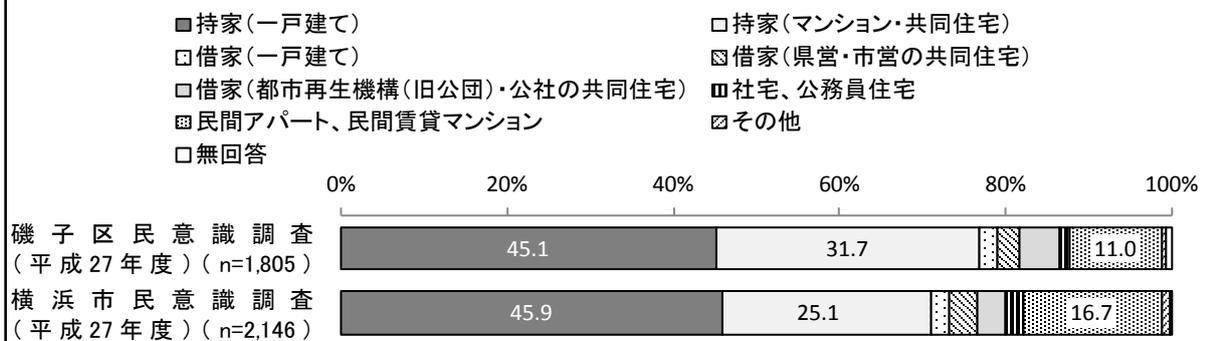
「横浜市民意識調査」（平成27年度）の結果と比較すると、今回の調査では、「持家（一戸建て）」については「横浜市民意識調査」よりも割合がやや低くなっていますが、「持家（マンション・共同住宅）」では割合が高く、「持家」の割合の合計は「磯子区民意識調査」のほうが高くなっています。また「持家」以外についてみると、「民間アパート、民間賃貸マンション」では「横浜市民意識調査」よりも割合が低くなっています。

なお、「磯子区民意識調査」、及び「横浜市民意識調査」のいずれの結果についても、区民や市民から対象を抽出して調査を行い、回収された調査票の回答結果を示したものであり、それぞれが磯子区と横浜市における住居形態の構成比そのものを表しているのではないという点には注意が必要です。

図12 回答者の住居形態



【参考】「横浜市民意識調査」(平成27年度)との比較



### 《居住地域別にみた回答者の住居形態》

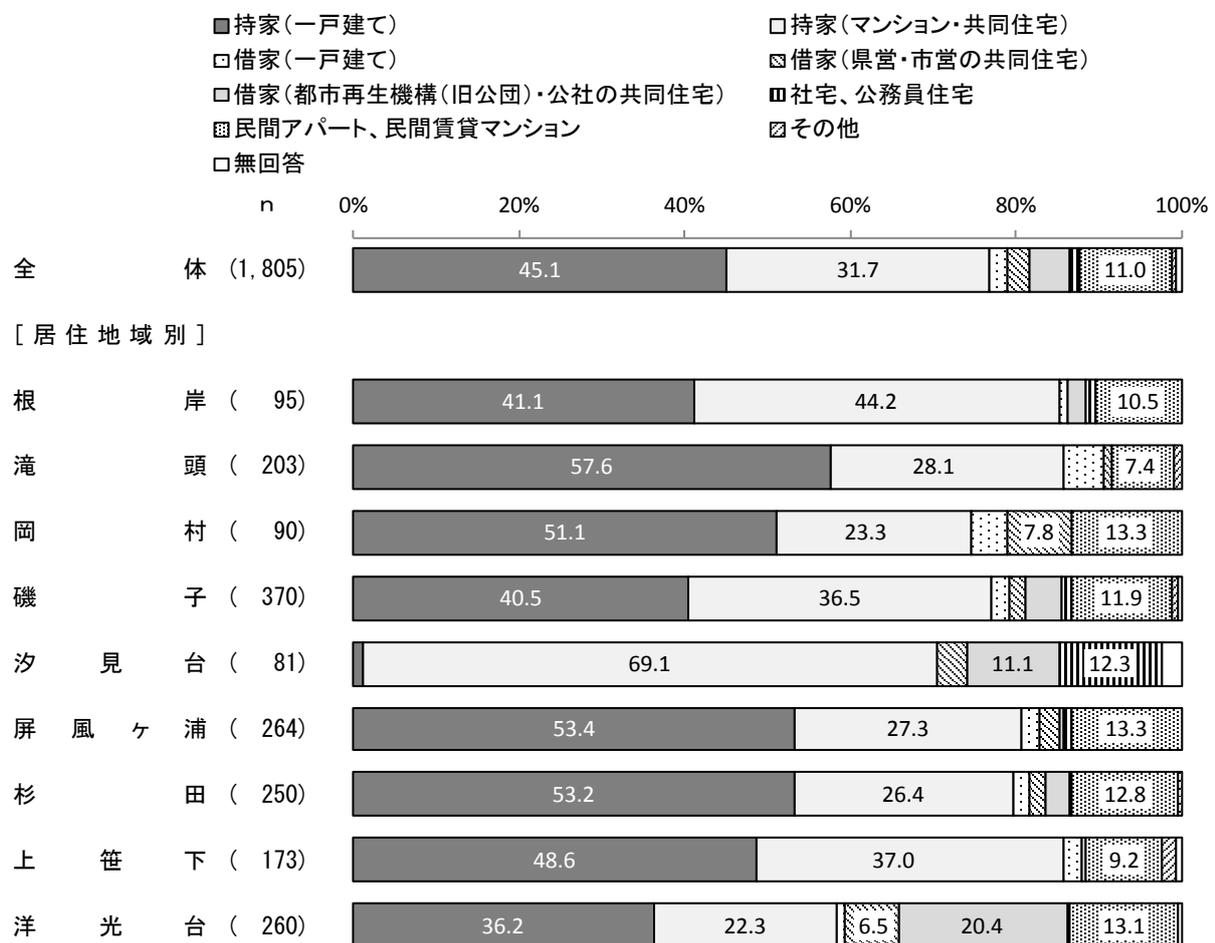
回答者の居住形態について居住地域別にみると、洋光台以外の地域で持家（「持家（一戸建て）」＋「持家（マンション・共同住宅）」）の割合が7割を上回り、全体的に持家にお住まいの方が多くなっています。

一方、洋光台では持家の割合が58.5%と、他の地域と比べ低くなっており、「借家（都市再生機構（旧公団）・公社の共同住宅）」の割合が他の地域と比べて高くなっています。

また、汐見台に居住している回答者は「持家（一戸建て）」が1.2%であり、「持家（マンション・共同住宅）」の割合が69.1%、「社宅・公務員住宅」の割合が12.3%と他の地域と比べ非常に高くなっています。

住居形態には各地域によって異なる特徴がみられますが、中でも洋光台と汐見台は、非常に特徴的な地域となっています。

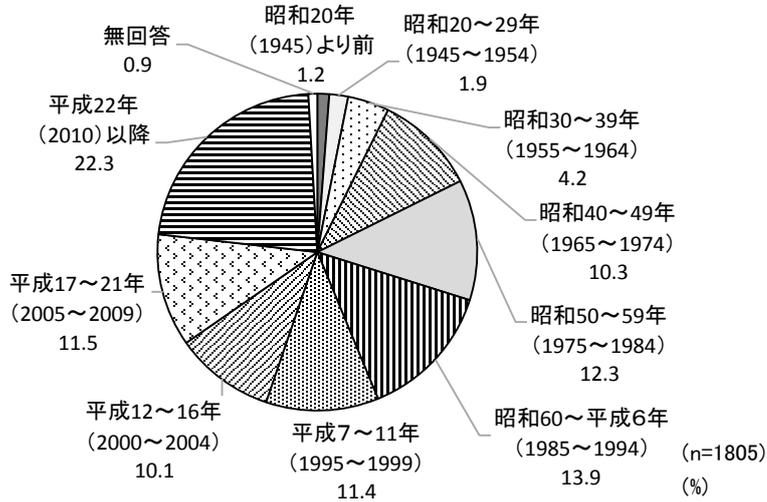
図13 居住地域別にみた回答者の住居形態



(9) 今の住まいに住み始めた時期

回答者が今の住まいに住み始めた時期についてたずねたところ、最も多かったのは「平成22年(2010)以降」が22.3%、次いで「昭和60～平成6年(1985～1994)」が13.9%、「昭和50～59年(1975～1984)」が12.3%となっています。

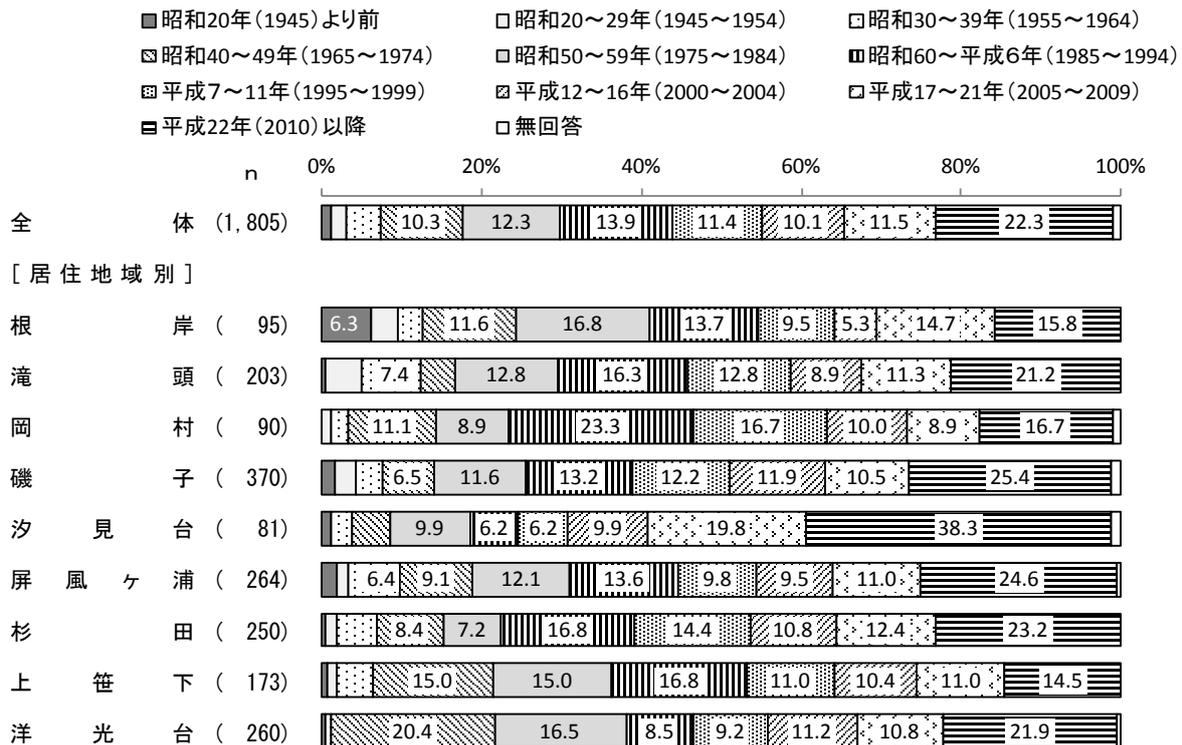
図14 回答者が今の住まいに住み始めた時期



《居住地域別にみた回答者が今の住まいに住み始めた時期》

回答者が今の住まいに住み始めた時期について居住地域別にみると、汐見台では平成17年(2005年)以降に住み始めた方が58.1%となっており、他の地域に比べ現在の住まいに住んでからの期間が短い方が多いという特徴がみられます。

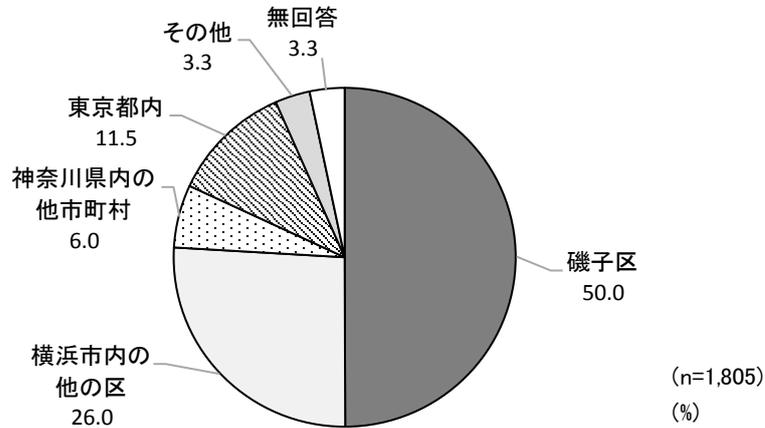
図15 居住地域別にみた回答者が今の住まいに住み始めた時期



(10) 通勤・通学先

回答者の通勤・通学先（通勤・通学していない方については、日常生活を主に過ごす場所）についてたずねたところ、最も多かったのは「磯子区」で50.0%、次いで「横浜市内の他の区」が26.0%、「東京都内」が11.5%となっています。

図 16 回答者の通勤・通学先、または日常生活を主に過ごす場所

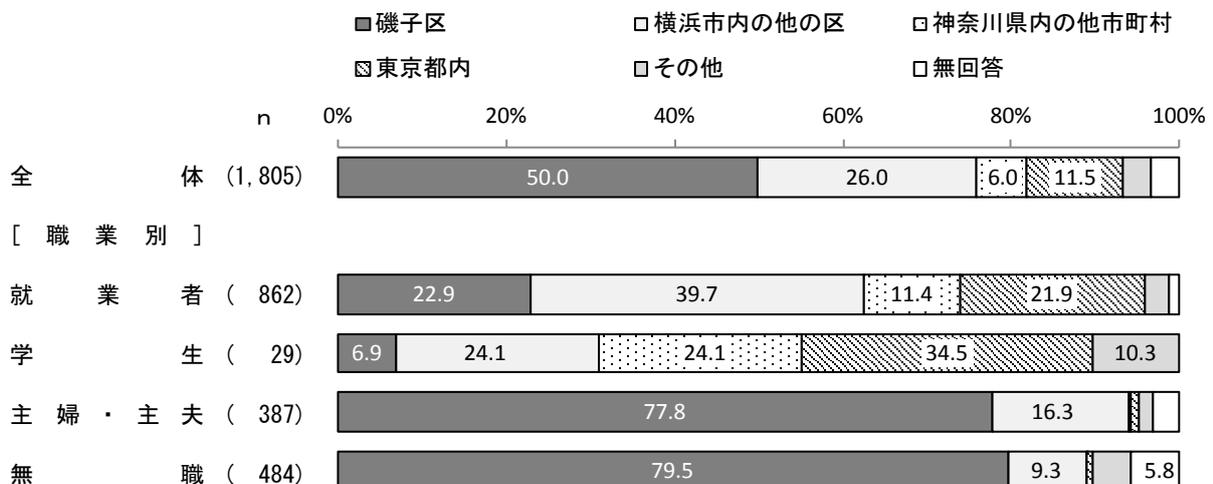


《職業別にみた通勤・通学先、または日常生活を主に過ごす場所》

職業において、何らかの職について働いていると回答した方を「就業者」とし、通勤・通学先（通勤・通学していない方については、日常生活を主に過ごす場所）について内訳をみると、「就業者」の通勤先で最も多かったのは「横浜市内の他の区」で39.7%、次いで「磯子区」が22.9%、「東京都内」が21.9%となっています。

なお、「主夫・主婦」や「無職」の方の、日常生活を主に過ごす場所としては、「磯子区」が8割弱となっています。

図 17 職業別にみた通勤・通学先、または日常生活を主に過ごす場所



(11) 普段利用している鉄道駅・鉄道駅までの交通手段

回答者が普段利用している鉄道駅（最も利用頻度の高い駅）についてたずねたところ、最も多かったのは「洋光台駅」で19.3%、次いで「磯子駅」が16.7%、「根岸駅」が15.8%となっています。

一方、「普段、鉄道を利用しない」という方は6.7%でした。

【鉄道駅までの交通手段】

普段、鉄道を利用していると回答した方に対し、利用している鉄道駅までの交通手段についてたずねたところ、最も多かったのは「徒歩のみ」で51.4%、次いで「バス」が26.1%となっています。

図 18 回答者が普段利用している鉄道駅

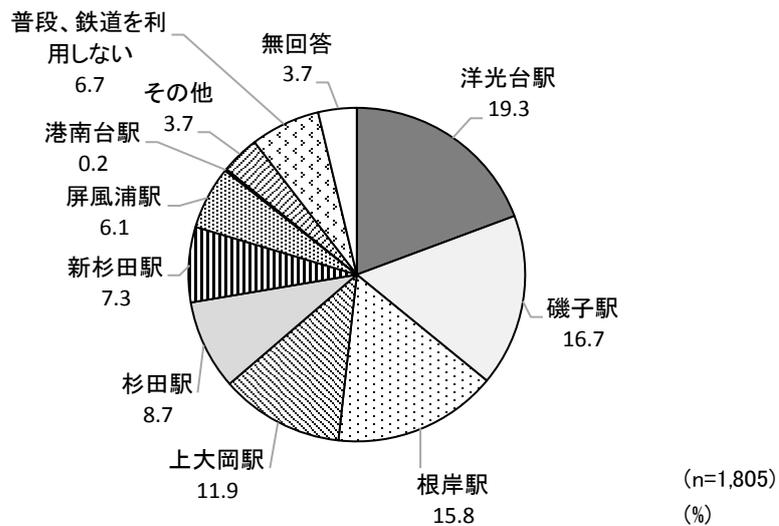
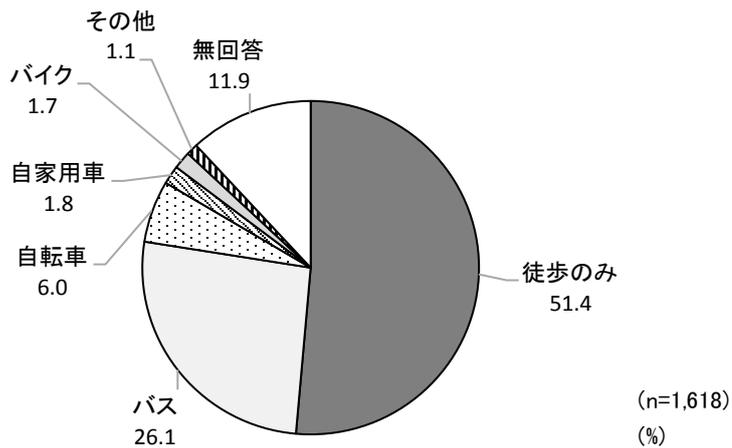


図 19 回答者の鉄道駅までの交通手段



※「普段、鉄道を利用しない」・「無回答」以外の方を対象とした設問となっています。

## 2 普段の生活について

### (1) 現在の生活に対する満足度

現在の自分の生活に対する満足度についてたずねたところ、「満足しているほう」が21.8%、「まあ満足しているほう」が40.9%、「どちらともいえない」が15.5%、「やや不満があるほう」が9.0%、「不満があるほう」が9.6%となっています。

#### 《過去の「磯子区民意識調査」、「横浜市民意識調査」等との比較》

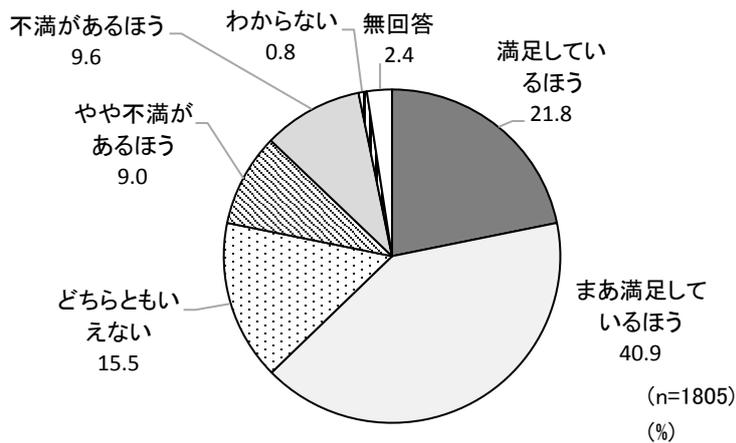
「磯子区民意識調査」（平成25年度）の結果と比較すると、今回の調査では、「満足しているほう」の割合は高くなっていますが、「満足しているほう」と「まあ満足しているほう」との合計（以下、『満足（計）』）の割合では、低くなっています。

「横浜市民意識調査」（平成27年度）の結果と比較すると、『満足（計）』の割合は、5.6ポイント低くなっています。

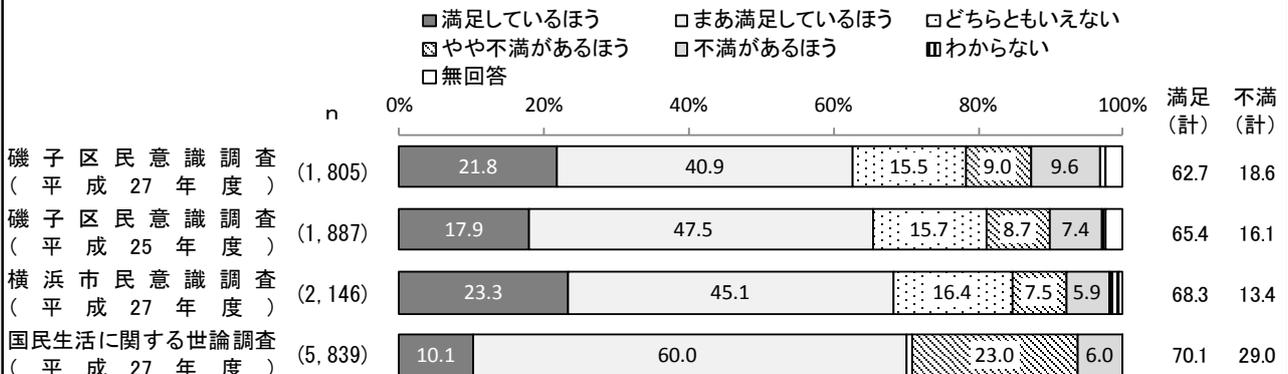
なお、「国民生活に関する世論調査」（平成27年度、内閣府）の結果と比較すると、『満足（計）』の割合が低く、全国と比べて満足度が低いことがうかがえます。

問1 あなたは、今のご自分の生活に満足していますか、それとも、不満がありますか。（○は1つ）

（図20）



#### 【参考】過去の「磯子区民意識調査」及び「横浜市民意識調査」等との比較

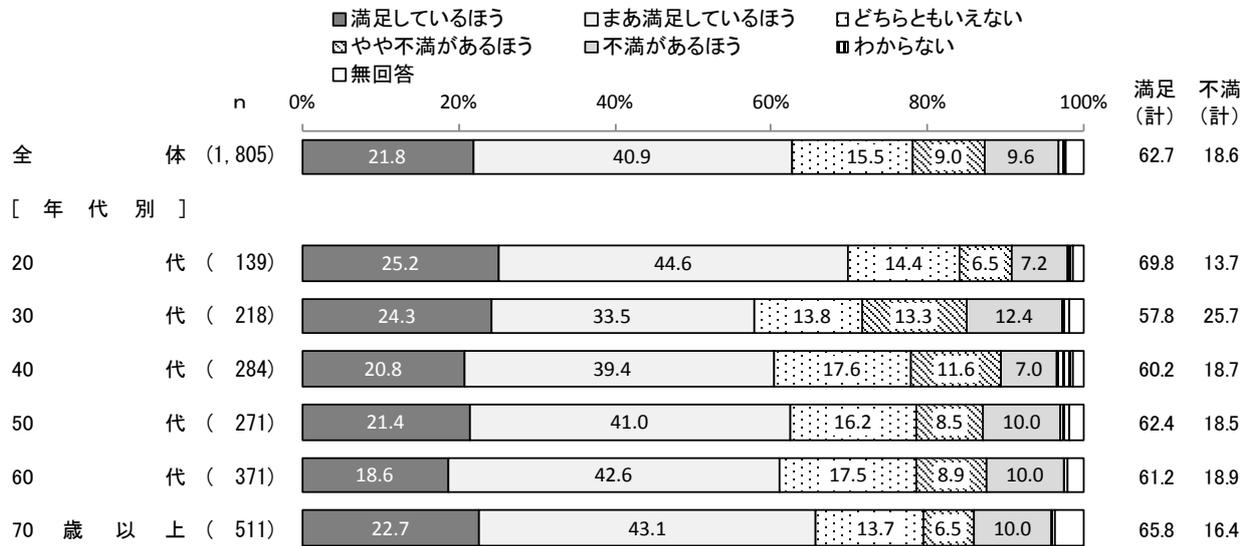


※「国民生活に関する世論調査」では、「満足している」・「まあ満足している」・「どちらともいえない」・「やや不満だ」・「不満だ」・「わからない」という選択肢が用いられています。

《年代別にみた現在の生活に対する満足度》

現在の自分の生活に対する満足度について年代別にみると、『満足（計）』の割合は20代が69.8%で最も高く、30代が57.8%で最も低くなっています。また30代においては、「不満があるほう」と「やや不満があるほう」の合計（以下、『不満（計）』）の割合が25.7%と、他の年代と比べて高くなっています。

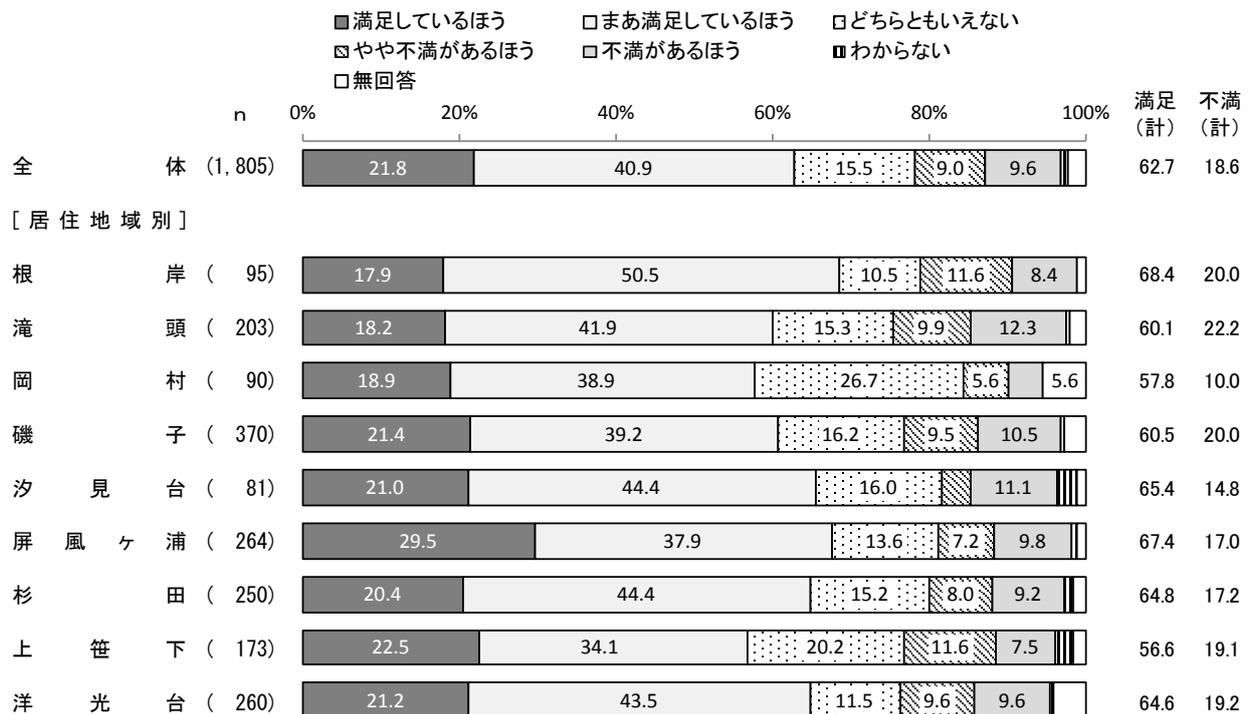
図 21 年代別にみた現在の生活に対する満足度



《居住地域別にみた現在の生活に対する満足度》

現在の自分の生活に対する満足度について居住地域別にみると、岡村、上笹下を除く地域では『満足（計）』の割合が6割を超えており、特に屏風ヶ浦では「満足しているほう」の割合が29.5%と、全地域の中で最も高くなっています。

図 22 居住地域別にみた現在の生活に対する満足度

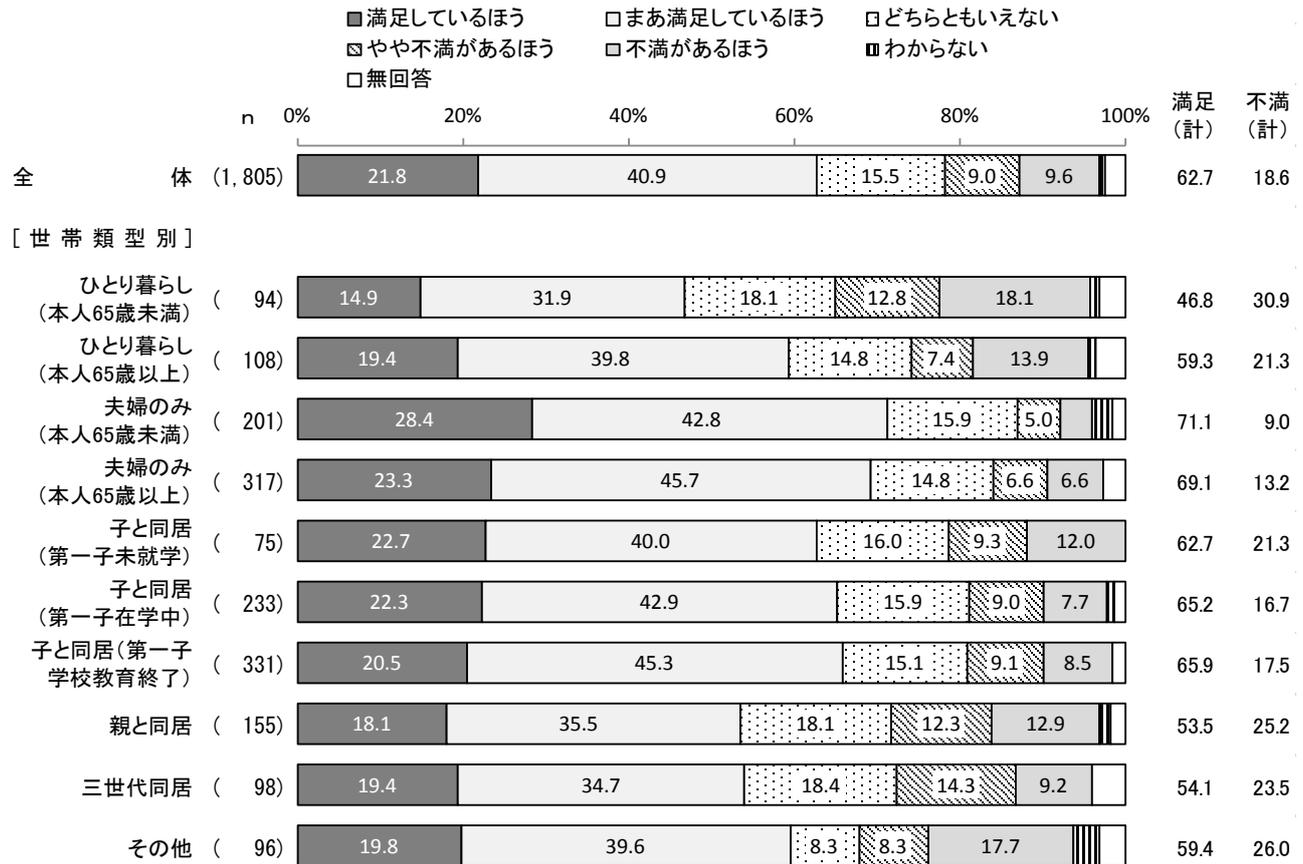


《世帯類型別にみた現在の生活に対する満足度》

現在の自分の生活に対する満足度について世帯類型別にみると、『満足（計）』の割合では、夫婦のみ（本人65歳未満）が71.1%で最も高く、ひとり暮らし（本人65歳未満）が46.8%で最も低くなっています。

また、ひとり暮らし（本人65歳未満）では、約3割の方が『不満（計）』と回答しており、他の世帯類型よりも高くなっています。

図 23 世帯類型別にみた現在の生活に対する満足度



## (2) 自身や家族の生活のことでの心配ごとや困っていること

自身や家族の生活のことでの心配ごとや困っていることについてたずねたところ、「自分の病気や老後のこと」が50.0%と最も高く、次いで「景気や生活費のこと」が36.5%、「家族の健康や生活上の問題」が33.2%となっており、これらの3項目については多くの方が心配ごと・困っていることとして挙げています。

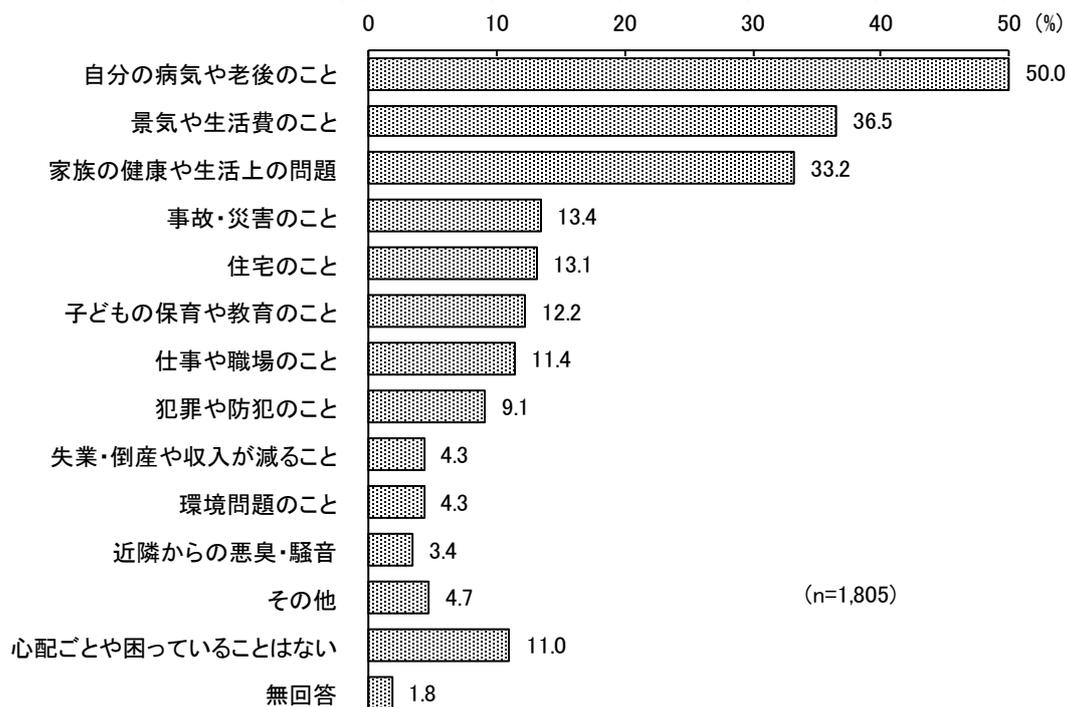
### 《過去の「磯子区民意識調査」、「横浜市民意識調査」との比較》

「磯子区民意識調査」（平成25年度）の結果と比較すると、今回の調査では、「自分の病気や老後のこと」、「景気や生活費のこと」等で割合が高くなっており、一方で「家族の健康や生活上の問題」等では割合が低くなっています。

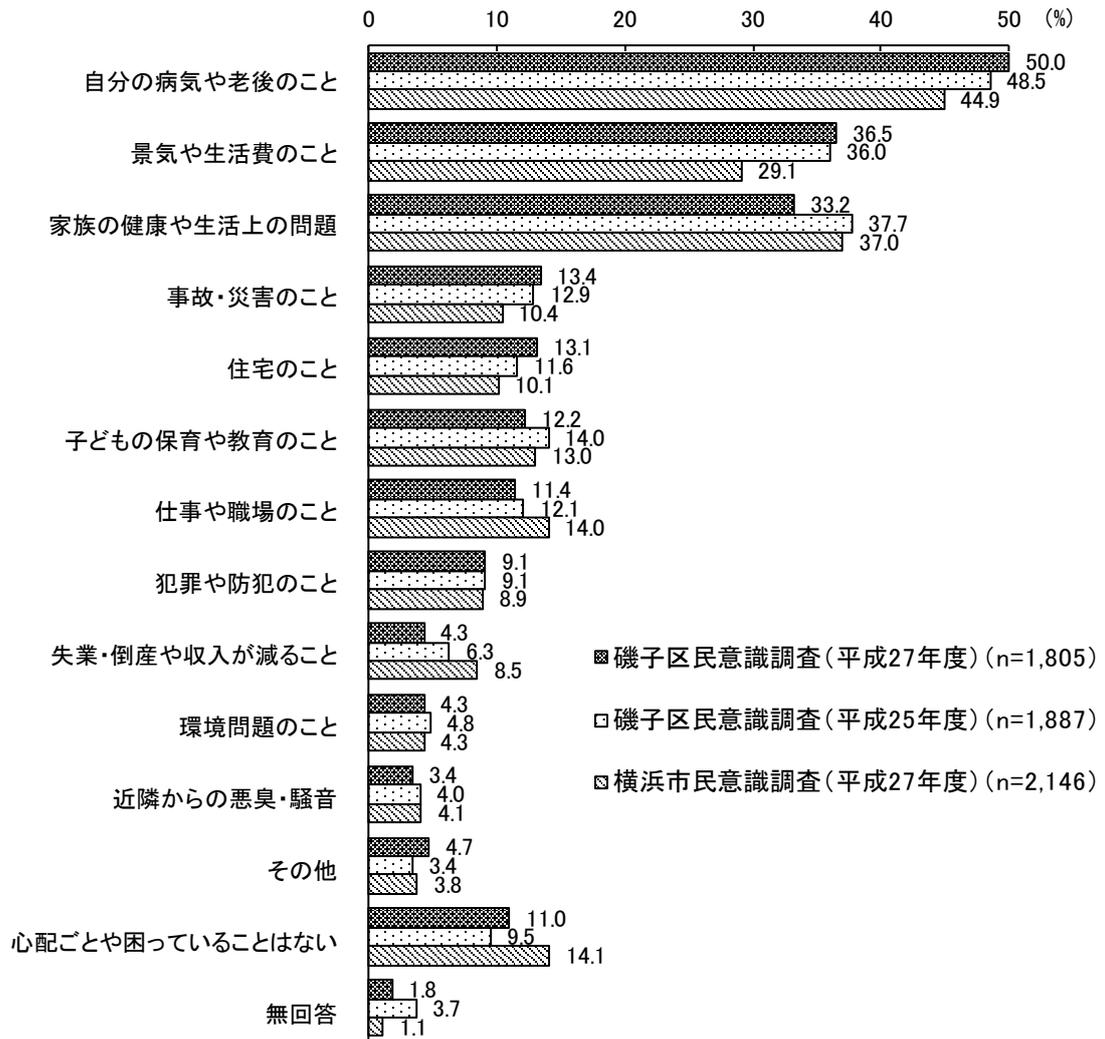
「横浜市民意識調査」（平成27年度）の結果と比較すると、「景気や生活費のこと」の割合が7.4ポイント、「自分の病気や老後のこと」の割合が5.1ポイント高く、他の項目と比べて差が大きくなっています。

問2 あなたは、近頃、ご自分やご家族の生活のことでの心配ごとや困っていることがありますか。

(○は3つまで) (図24)



【参考】過去の「磯子区民意識調査」及び「横浜市民意識調査」との比較



### 《年代別にみた心配ごと、困っていること》

自身や家族の生活のことでの心配ごとや困っていることについて年代別にみると、「自分の病気や老後のこと」は年代が高くなるほど割合が高まる傾向があり、逆に「景気や生活費のこと」、「仕事や職場のこと」では年代が低いほうが割合が高くなっています。

また、「子どもの保育や教育のこと」は30～40代の間で特に割合が高くなっているなど、一部の項目については、年代と「心配ごとや困っていること」として挙げられている割合の間に関連性がみられません。

表2 年代別にみた自身や家族の生活のことでの心配ごとや困っていること

	自分の病気 や老後のこと (%)	景気や生活 費のこと	家族の健康 や生活上の 問題	事故・災害 のこと	住宅のこと	子どもの保 育や教育の こと	仕事や職場 のこと
全 体 (n=1,805)	50.0	36.5	33.2	13.4	13.1	12.2	11.4
20 代 (n= 139)	15.8	48.2	27.3	7.9	12.9	9.4	35.3
30 代 (n= 218)	28.4	46.3	31.2	11.9	13.3	35.8	20.6
40 代 (n= 284)	40.5	43.0	30.6	9.9	12.7	32.4	18.7
50 代 (n= 271)	52.0	38.4	36.2	13.7	14.8	8.5	12.9
60 代 (n= 371)	64.7	34.2	35.8	14.0	13.7	2.7	4.6
70歳以上 (n= 511)	62.4	26.2	34.1	17.0	11.7	0.8	1.2
	犯罪や防犯 のこと	失業・倒産 や収入が減 ること	環境問題の こと	近隣からの 悪臭・騒音	その他	心配ごとや 困っている ことはない	無回答
全 体 (n=1,805)	9.1	4.3	4.3	3.4	4.7	11.0	1.8
20 代 (n= 139)	15.8	4.3	2.9	3.6	2.2	14.4	1.4
30 代 (n= 218)	12.4	6.9	5.0	4.6	5.0	6.9	2.3
40 代 (n= 284)	8.1	5.3	3.2	5.3	3.5	8.5	1.1
50 代 (n= 271)	5.9	7.4	4.8	3.7	5.2	11.4	1.1
60 代 (n= 371)	7.5	4.3	4.0	3.2	5.4	10.8	0.8
70歳以上 (n= 511)	9.2	1.0	5.1	2.0	5.1	12.9	2.9

※網掛けは、他の年代と比べて顕著な特徴がみられる項目

《居住地域別にみた心配ごと、困っていること》

自身や家族の生活のことでの心配ごとや困っていることについて居住地域別にみると、岡村では「景気や生活費のこと」の割合が最も高く、それ以外の地域では「自分の病気や老後のこと」が最も高くなっています。汐見台では他の地域と比べて「子どもの保育や教育のこと」の割合が高くなっています。

表3 居住地域別にみた自身や家族の生活のことでの心配ごとや困っていること

	自分の病気 や老後のこと (%)	景気や生活 費のこと	家族の健康 や生活上の 問題	事故・災害 のこと	住宅のこと	子どもの保 育や教育の こと	仕事や職場 のこと
全 体 (n=1,805)	50.0	36.5	33.2	13.4	13.1	12.2	11.4
根 岸 (n= 95)	45.3	35.8	32.6	22.1	18.9	12.6	10.5
滝 頭 (n= 203)	53.2	40.9	41.9	11.3	10.8	10.8	10.8
岡 村 (n= 90)	40.0	46.7	27.8	14.4	12.2	14.4	14.4
磯 子 (n= 370)	47.8	34.3	28.4	13.5	11.6	12.7	11.9
汐 見 台 (n= 81)	39.5	34.6	27.2	18.5	9.9	22.2	11.1
屏風ヶ浦 (n= 264)	51.9	29.5	32.2	13.3	13.6	13.3	13.3
杉 田 (n= 250)	48.4	33.6	35.6	13.2	13.2	12.4	14.0
上 笹 下 (n= 173)	56.6	37.0	36.4	12.1	12.7	11.6	6.9
洋 光 台 (n= 260)	53.8	42.7	33.8	10.8	16.5	8.1	9.6
	犯罪や防犯 のこと	失業・倒産 や収入が減 ること	環境問題の こと	近隣からの 悪臭・騒音	その他	心配ごとや 困っている ことはない	無回答
全 体 (n=1,805)	9.1	4.3	4.3	3.4	4.7	11.0	1.8
根 岸 (n= 95)	8.4	6.3	6.3	4.2	7.4	11.6	2.1
滝 頭 (n= 203)	10.3	5.4	7.9	3.9	6.4	5.4	1.0
岡 村 (n= 90)	10.0	2.2	4.4	3.3	1.1	12.2	1.1
磯 子 (n= 370)	9.5	4.1	3.8	4.1	5.1	12.2	2.2
汐 見 台 (n= 81)	6.2	3.7	3.7	3.7	4.9	14.8	1.2
屏風ヶ浦 (n= 264)	6.4	4.5	5.3	2.7	3.8	11.7	2.7
杉 田 (n= 250)	11.6	4.0	4.0	2.8	5.6	10.4	1.6
上 笹 下 (n= 173)	9.8	3.5	2.9	1.7	2.3	10.4	0.6
洋 光 台 (n= 260)	8.1	4.6	2.3	4.6	3.8	11.5	2.3

※網掛けは、他の地域と比べて顕著な特徴がみられる項目

《世帯類型別にみた心配ごと、困っていること》

自身や家族の生活のことでの心配ごとや困っていることについて世帯類型別にみると、最も割合が高かった項目は、子と同居（第一子未就学）では「子どもの保育や教育のこと」、子と同居（第一子在学中）では「景気や生活費のこと」と「子どもの保育や教育のこと」が同じ割合、親と同居では「景気や生活費のこと」、三世帯同居では「家族の健康や生活上の問題」、その他の世帯類型では「自分の病気や老後のこと」となっています。

表4 世帯類型別にみた自身や家族の生活のことでの心配ごとや困っていること

	自分の病気 や老後のこと (%)	景気や生活 費のこと	家族の健康 や生活上の 問題	事故・災害 のこと	住宅のこと	子どもの保 育や教育の こと	仕事や職場 のこと
全 体 (n=1,805)	50.0	36.5	33.2	13.4	13.1	12.2	11.4
ひとり暮らし(本人65歳未満)(n=94)	55.3	42.6	21.3	8.5	19.1	1.1	27.7
ひとり暮らし(本人65歳以上)(n=108)	70.4	25.0	16.7	20.4	18.5	1.9	1.9
夫婦のみ(本人65歳未満)(n=201)	47.8	34.3	33.8	14.9	13.9	7.0	12.9
夫婦のみ(本人65歳以上)(n=317)	65.9	29.0	38.2	18.0	11.7	0.9	2.5
子と同居(第一子未就学)(n=75)	16.0	49.3	22.7	12.0	12.0	66.7	16.0
子と同居(第一子在学中)(n=233)	31.3	44.6	21.9	12.9	13.3	44.6	13.3
子と同居(第一子学校教育終了)(n=331)	55.9	31.1	38.4	12.1	11.8	4.2	5.4
親 と 同 居 (n=155)	36.8	45.8	41.9	9.0	12.3	2.6	27.1
三 世 代 同 居 (n=98)	41.8	37.8	49.0	10.2	6.1	19.4	18.4
そ の 他 (n=96)	52.1	40.6	35.4	15.6	12.5	4.2	12.5
	犯罪や防犯 のこと	失業・倒産 や収入が減 ること	環境問題の こと	近隣からの 悪臭・騒音	その他	心配ごとや 困っている ことはない	無回答
全 体 (n=1,805)	9.1	4.3	4.3	3.4	4.7	11.0	1.8
ひとり暮らし(本人65歳未満)(n=94)	8.5	12.8	4.3	5.3	3.2	9.6	0.0
ひとり暮らし(本人65歳以上)(n=108)	8.3	0.9	4.6	4.6	5.6	12.0	3.7
夫婦のみ(本人65歳未満)(n=201)	7.5	3.0	5.0	7.0	4.0	10.9	2.5
夫婦のみ(本人65歳以上)(n=317)	10.1	1.9	4.1	1.9	3.8	10.4	1.6
子と同居(第一子未就学)(n=75)	17.3	2.7	4.0	5.3	1.3	6.7	1.3
子と同居(第一子在学中)(n=233)	10.7	5.2	3.9	3.4	5.2	9.0	0.9
子と同居(第一子学校教育終了)(n=331)	7.6	5.1	4.8	3.3	6.3	13.0	1.5
親 と 同 居 (n=155)	11.6	6.5	4.5	3.9	3.9	12.3	1.9
三 世 代 同 居 (n=98)	5.1	1.0	5.1	0.0	7.1	10.2	1.0
そ の 他 (n=96)	9.4	7.3	2.1	0.0	6.3	14.6	1.0

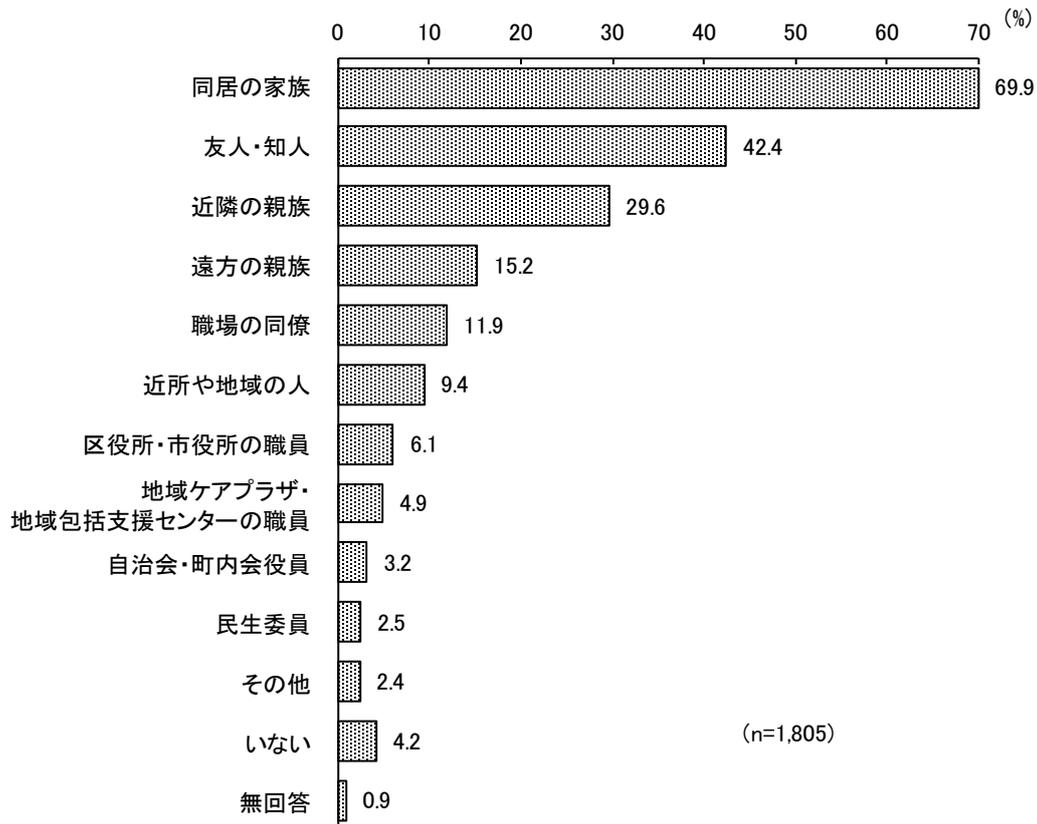
※網掛けは、他の世帯類型と比べて顕著な特徴がみられる項目

### (3) 日常生活で困ったときの相談相手

日常生活で困ったことが起きたときの相談相手についてたずねたところ、最も多かったのは「同居の家族」で69.9%、次いで「友人・知人」が42.4%、「近隣の親族」が29.6%となっています。

なお、相談する相手が「いない」と回答した方は4.2%でした。

問3 あなたは、日常生活で困ったことが起きたとき、どなたに相談していますか、あるいは、どなたなら相談できると思いますか。(〇はいくつでも) (図25)



### 《年代別にみた日常生活で困ったときの相談相手》

日常生活で困ったときの相談相手について年代別にみると、いずれの年代でも「同居の家族」の割合が最も高くなっていますが、「友人・知人」は若い年代で高く、特に20代においては63.3%となっています。

また、70歳以上については、「近所や地域の人」、「自治会・町内会役員」、「民生委員」、「区役所・市役所の職員」、「地域ケアプラザ・地域包括支援センターの職員」について全年代の中で最も割合が高くなっているなど、他の年代とは異なった特徴がみられます。

表5 年代別にみた日常生活で困ったときの相談相手

	同居の家族	友人・知人	近隣の親族	遠方の親族	職場の同僚	近所や地域の人	区役所・市役所の職員
(%)							
全 体 (n=1,805)	69.9	42.4	29.6	15.2	11.9	9.4	6.1
20 代 (n= 139)	71.2	63.3	20.1	14.4	28.1	1.4	0.7
30 代 (n= 218)	76.6	52.8	30.7	19.7	19.3	7.3	1.8
40 代 (n= 284)	69.7	48.9	29.9	16.5	22.9	5.6	2.8
50 代 (n= 271)	78.2	41.7	24.0	13.3	15.1	12.5	5.2
60 代 (n= 371)	69.5	43.4	32.3	15.4	6.2	10.0	7.0
70歳以上 (n= 511)	63.2	28.4	32.3	13.9	0.8	12.7	11.2
	地域ケアプラザ・地域包括支援センターの職員	自治会・町内会役員	民生委員	その他	いない	無回答	
全 体 (n=1,805)	4.9	3.2	2.5	2.4	4.2	0.9	
20 代 (n= 139)	2.2	0.0	0.0	1.4	2.2	0.0	
30 代 (n= 218)	1.4	0.9	0.5	2.8	2.3	1.4	
40 代 (n= 284)	3.2	1.4	0.4	0.4	5.3	0.4	
50 代 (n= 271)	3.0	0.4	1.1	1.5	5.9	0.4	
60 代 (n= 371)	2.7	3.2	1.9	2.4	4.3	0.3	
70歳以上 (n= 511)	10.6	7.2	6.3	4.1	3.9	1.8	

※網掛けは、他の年代と比べて顕著な特徴がみられる項目

《世帯類型別にみた日常生活で困ったときの相談相手》

日常生活で困ったときの相談相手について世帯類型別にみると、『ひとり暮らし（本人65歳未満・以上）』の世帯では、「友人・知人」の割合が最も高くなっています。『ひとり暮らし』以外の世帯では70%以上の方が「同居の家族」を挙げており、いずれの世帯類型においても最も割合が高くなっています。

また、『ひとり暮らし（本人65歳以上）』では、「近所や地域の人」が20.4%、「民生委員」が15.7%と、他の地域と比べて割合が高くなっています。

表6 世帯類型別にみた日常生活で困ったときの相談相手

	同居の家族	友人・知人	近隣の親族	遠方の親族	職場の同僚	近所や地域の人	区役所・市役所の職員
(%)							
全 体 ( n=1,805 )	69.9	42.4	29.6	15.2	11.9	9.4	6.1
ひとり暮らし(本人65歳未満)(n=94)	14.9	57.4	28.7	17.0	26.6	2.1	8.5
ひとり暮らし(本人65歳以上)(n=108)	10.2	41.7	37.0	20.4	1.9	20.4	13.9
夫婦のみ(本人65歳未満)(n=201)	84.1	39.8	30.8	17.4	15.4	6.0	1.5
夫婦のみ(本人65歳以上)(n=317)	72.9	34.1	34.7	14.2	1.9	12.9	8.2
子と同居(第一子未就学)(n=75)	84.0	57.3	48.0	32.0	17.3	6.7	1.3
子と同居(第一子在学中)(n=233)	75.1	48.9	33.0	23.2	21.9	10.3	3.9
子と同居(第一子学校教育終了)(n=331)	81.9	37.2	29.6	12.1	6.9	10.6	7.9
親 と 同 居 ( n=155 )	80.0	52.3	8.4	3.2	20.6	3.2	1.3
三 世 代 同 居 ( n=98 )	80.6	39.8	23.5	15.3	13.3	10.2	3.1
そ の 他 ( n=96 )	61.5	40.6	26.0	13.5	7.3	7.3	10.4
	地域ケアプラザ・地域包括支援センターの職員	自治会・町内会役員	民生委員	その他	いない	無回答	
全 体 ( n=1,805 )	4.9	3.2	2.5	2.4	4.2	0.9	
ひとり暮らし(本人65歳未満)(n=94)	2.1	0.0	1.1	5.3	9.6	0.0	
ひとり暮らし(本人65歳以上)(n=108)	11.1	8.3	15.7	8.3	4.6	1.9	
夫婦のみ(本人65歳未満)(n=201)	2.0	1.0	1.0	1.0	4.0	1.0	
夫婦のみ(本人65歳以上)(n=317)	8.5	7.6	3.2	3.5	2.8	0.9	
子と同居(第一子未就学)(n=75)	1.3	0.0	0.0	1.3	1.3	1.3	
子と同居(第一子在学中)(n=233)	2.6	2.6	0.9	0.4	4.7	0.4	
子と同居(第一子学校教育終了)(n=331)	3.9	2.4	1.5	0.9	3.9	0.0	
親 と 同 居 ( n=155 )	1.9	1.3	0.6	0.6	3.2	0.0	
三 世 代 同 居 ( n=98 )	7.1	2.0	0.0	1.0	3.1	1.0	
そ の 他 ( n=96 )	6.3	2.1	3.1	8.3	8.3	2.1	

※網掛けは、他の世帯類型と比べて顕著な特徴がみられる項目

(4) 磯子区での定住意向

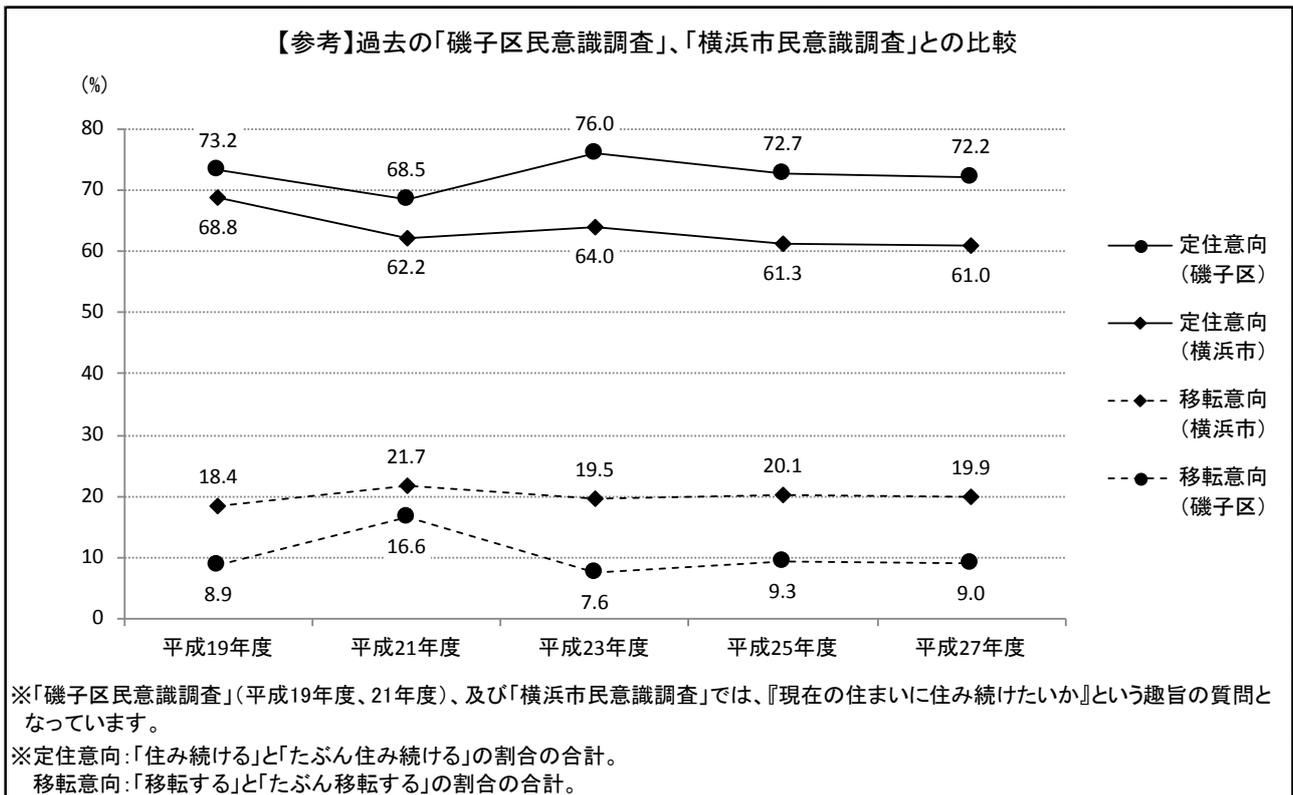
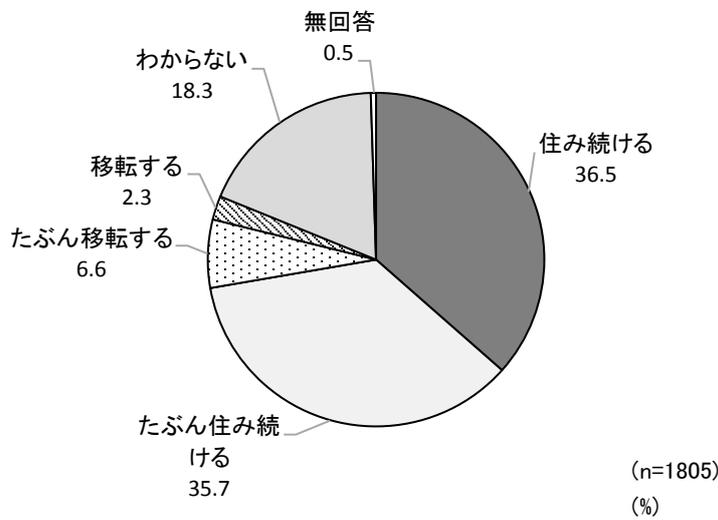
磯子区での定住意向についてたずねたところ、「住み続ける」が36.5%、「たぶん住み続ける」が35.7%、「たぶん移転する」が6.6%、「移転する」が2.3%でした。

《過去の「磯子区民意調査」、「横浜市民意識調査」との比較》

質問の仕方が異なるため単純な比較はできませんが、これまでに実施した「磯子区民意調査」の結果と比較すると、概ね同様の結果となっています。

また、「横浜市民意識調査」と比較すると、磯子区では横浜市全体よりも定住意向が高く、移転意向が低いという傾向がみられます。

問4 あなたは、これからもずっと磯子区に住み続けたいと思いますか。(○は1つ) (図26)

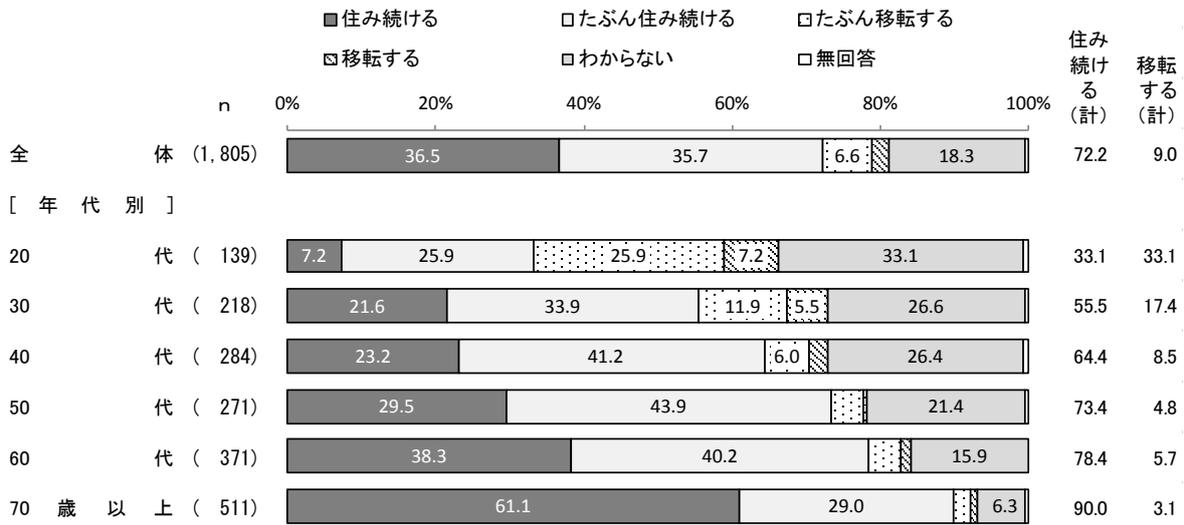


《年代別にみた磯子区での定住意向》

定住意向について年代別にみると、「住み続ける」と「たぶん住み続ける」の割合の合計（以下、『住み続ける（計）』）が20代では33.1%と なっていますが、年代が高くなるにつれて割合も高くなる傾向がみられます。

また、20代では、『住み続ける（計）』と「移転する」と「たぶん移転する」の割合の合計（以下、『移転する（計）』）が33.1%と同じ割合となっています。

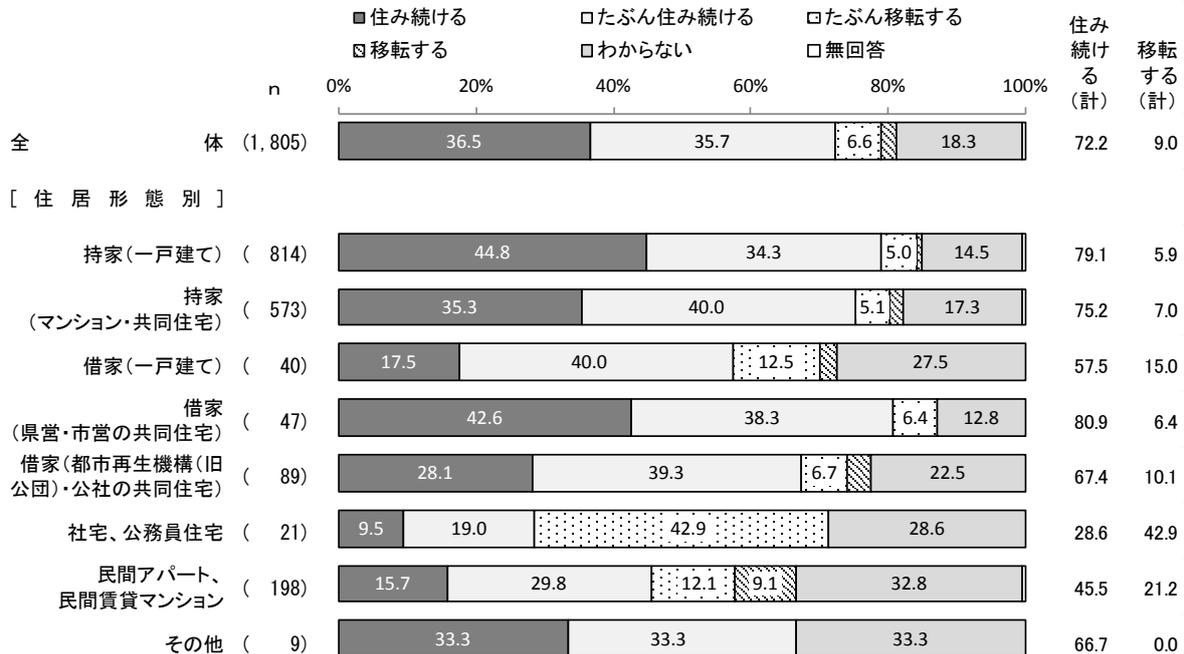
図 27 年代別にみた磯子区での定住意向



《住居形態別にみた磯子区での定住意向》

定住意向について住居形態別にみると、『住み続ける（計）』の割合が“持家（一戸建て）”で79.1%、“持家（マンション・共同住宅）”では75.2%となっていますが、「借家（県営・市営の共同住宅）」では80.9%と「持家」より高い割合となっています。

図 28 住居形態別にみた磯子区での定住意向



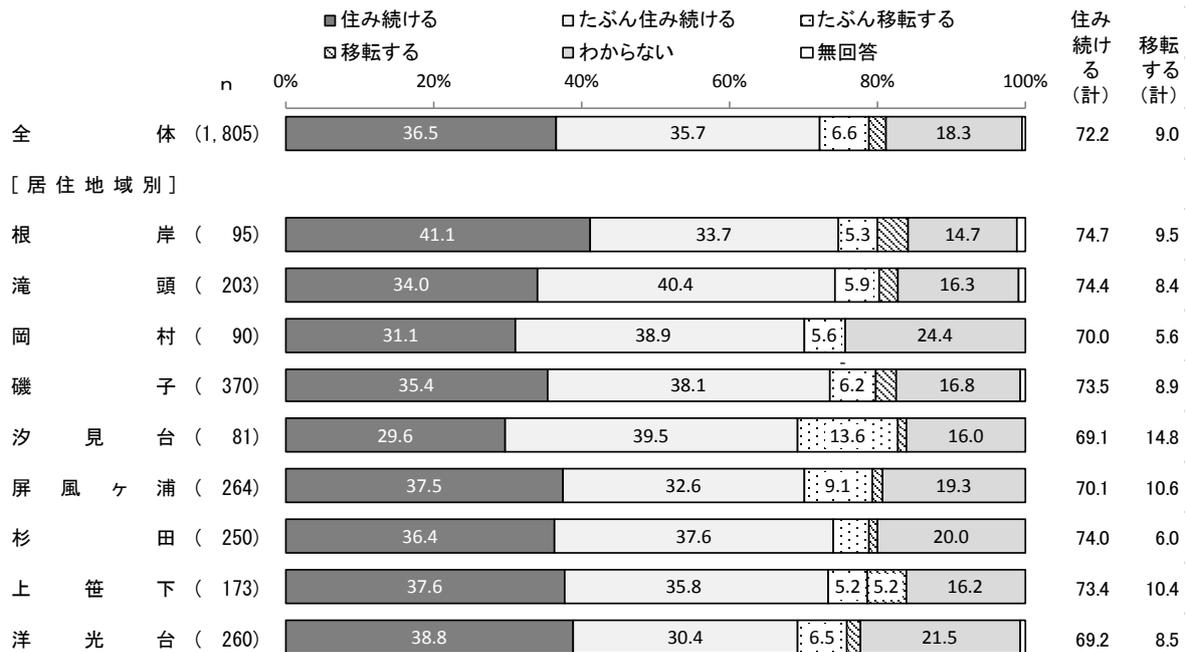
《居住地域別にみた磯子区での定住意向》

定住意向について居住地域別にみると、『住み続ける（計）』の割合は、概ね7割を超えています。なお、『住み続ける（計）』の割合が最も高かったのは根岸で、74.7%となっています。

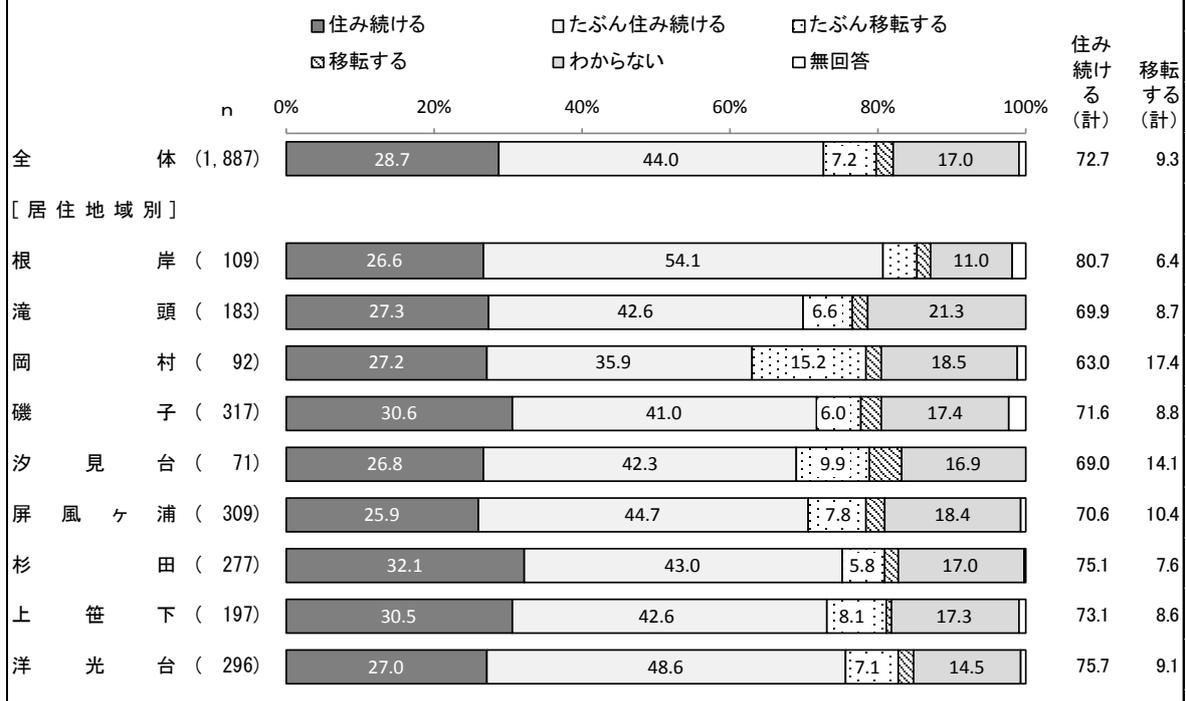
《過去の「磯子区民意調査」との比較》

「磯子区民意調査」（平成25年度）の結果と比較すると、今回の調査では、『住み続ける（計）』の割合が、岡村で7.0ポイント高くなっています。

図 29 居住地域別にみた磯子区での定住意向



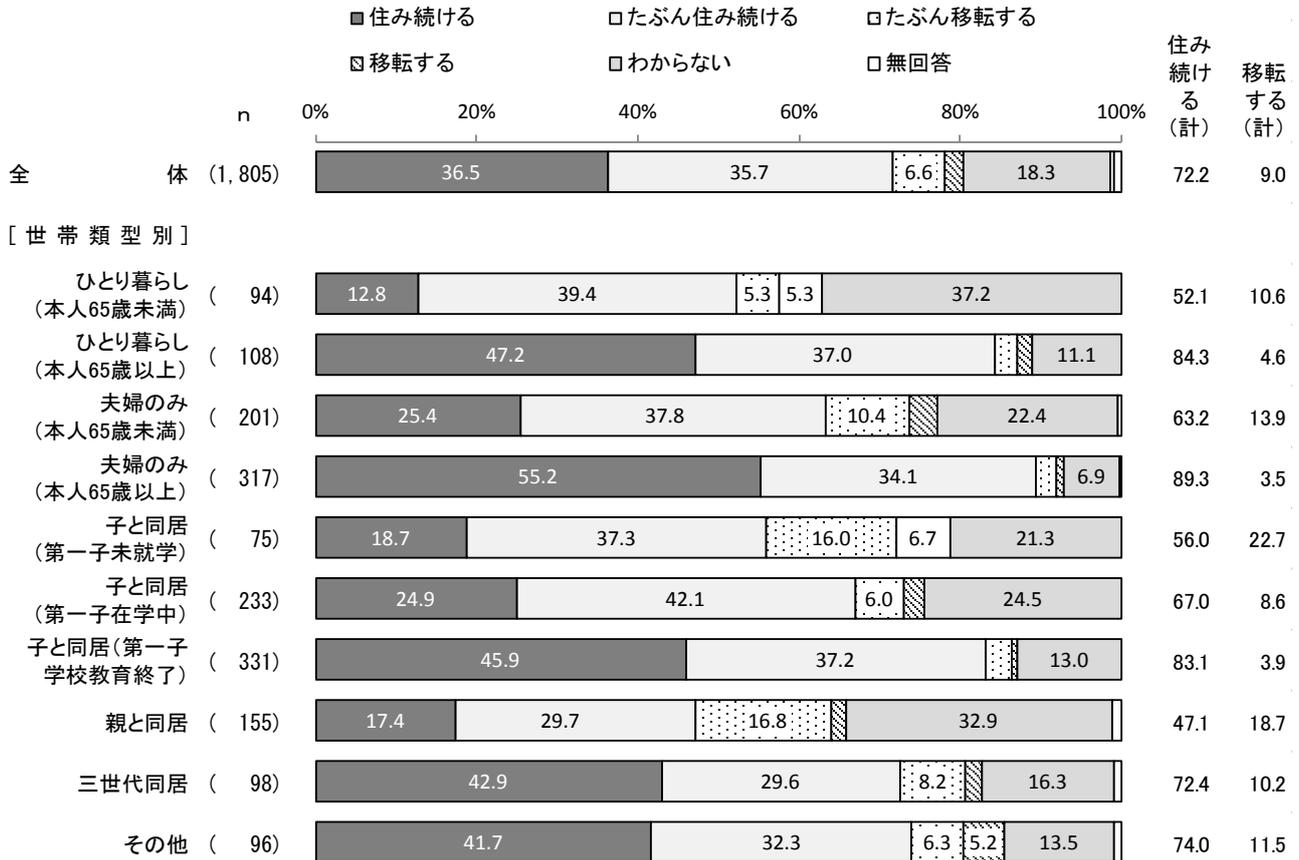
【参考】「磯子区民意調査」(平成25年度)の居住地域別にみた磯子区での定住意向



《世帯類型別にみた磯子区での定住意向》

定住意向について世帯類型別にみると、夫婦のみ（本人65歳以上）では『住み続ける（計）』の割合が9割近くとなっており、特に「住み続ける」の割合が55.2%と、他の世帯類型と比べて割合が高くなっています。一方、子と同居（第一子未就学）では、『移転する（計）』が2割を超えており、他の世帯類型と比べて移転意向が高いことがうかがえます。

図 30 世帯類型別にみた磯子区での定住意向

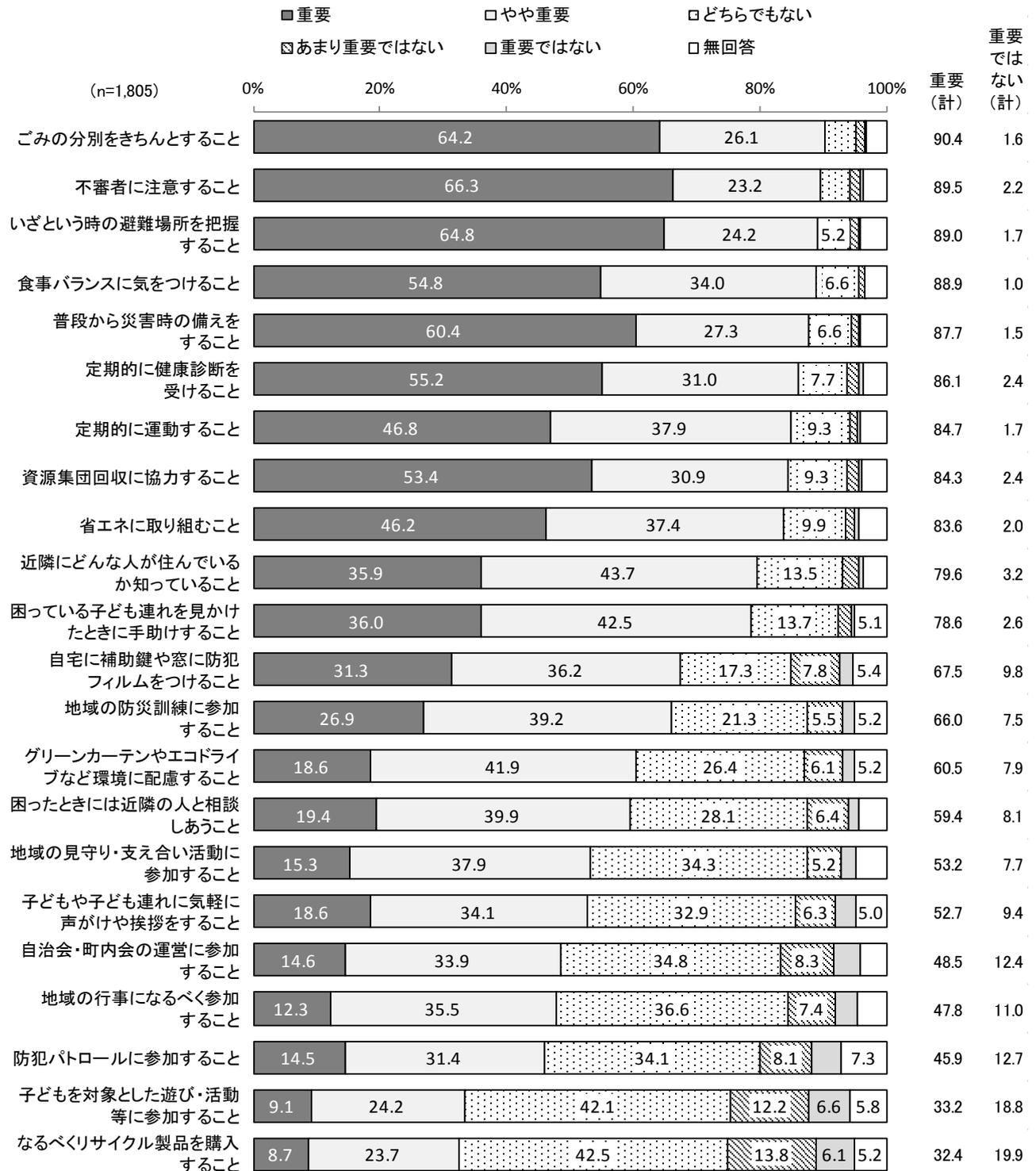


(5) 普段生活するうえで重要だと思うこと

普段生活するうえで重要だと思うことについてたずねたところ、「重要」と「やや重要」の合計（以下、『重要（計）』）の割合では、「ごみの分別をきちんとすること」が90.4%で最も高く、次いで「不審者に注意すること」が89.5%、「いざという時の避難場所を把握すること」が89.0%となっています。

一方、「なるべくリサイクル製品を購入すること」、「子どもを対象とした遊び・活動等に参加すること」等では『重要（計）』の割合は低くなっています。

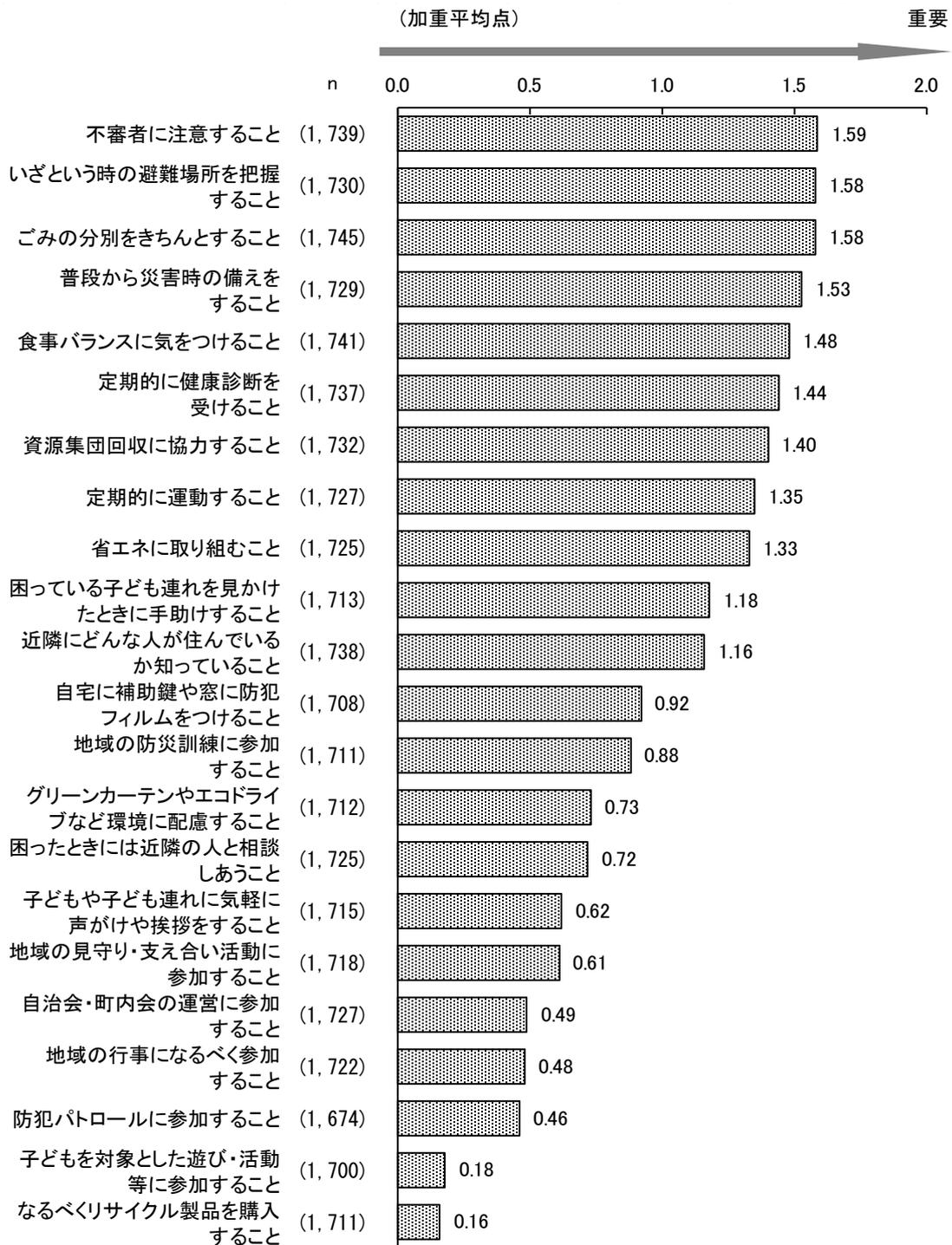
問5 あなたが普段生活するうえで、次の各項目はどの程度重要だと思いますか。また、あなた自身、実際にどの程度行っていますか。（図31）



《加重平均による指標化》

各項目で重要だと思うことについて、「重要」を+2点、「やや重要」を+1点、「どちらでもない」を0点、「あまり重要ではない」を-1点、「重要ではない」を-2点として加重平均し、各項目についての重要度の評価を指標化したところ、回答結果を得点化して見た場合にも、項目ごとの重要度については問5における回答結果と同様となっていることを把握することができます。

図 32 観点別・項目別の重要度に関する評価（加重平均による指標化）

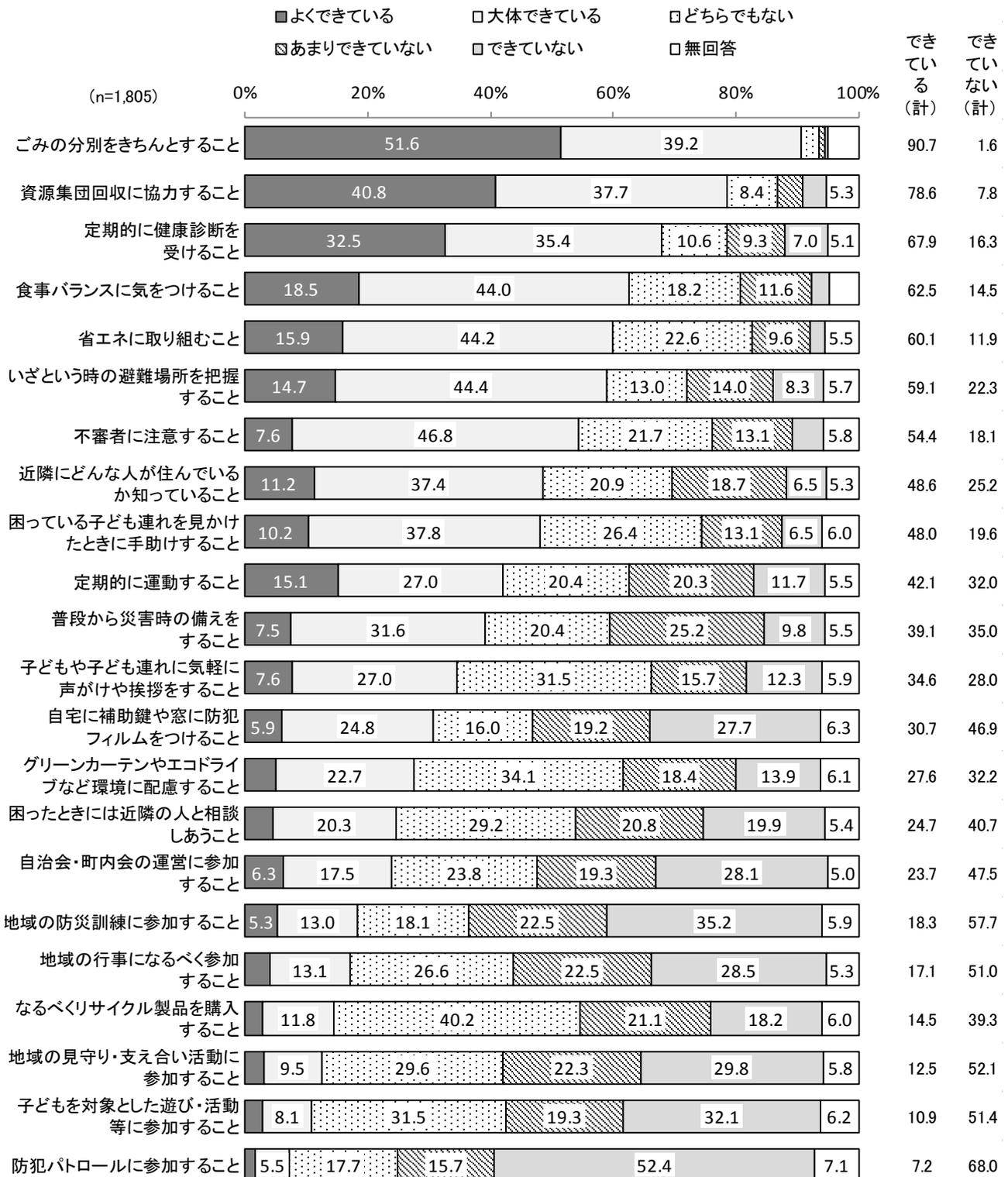


※回答について、「重要」+2点、「やや重要」+1点、「どちらでもない」0点、「あまり重要ではない」-1点、「重要ではない」-2点、として平均点を算出しました。なお、「無回答」は除外しています。

(6) 各項目についての現在の取り組み状況

普段生活するうえで重要だと思うことに対する現在の取り組み状況についてたずねたところ、「よくできている」との回答が多いのは、「ごみの分別をきちんとすること」が51.6%、「資源集団回収に協力すること」40.8%、「定期的に健康診断を受けること」が32.5%となっています。

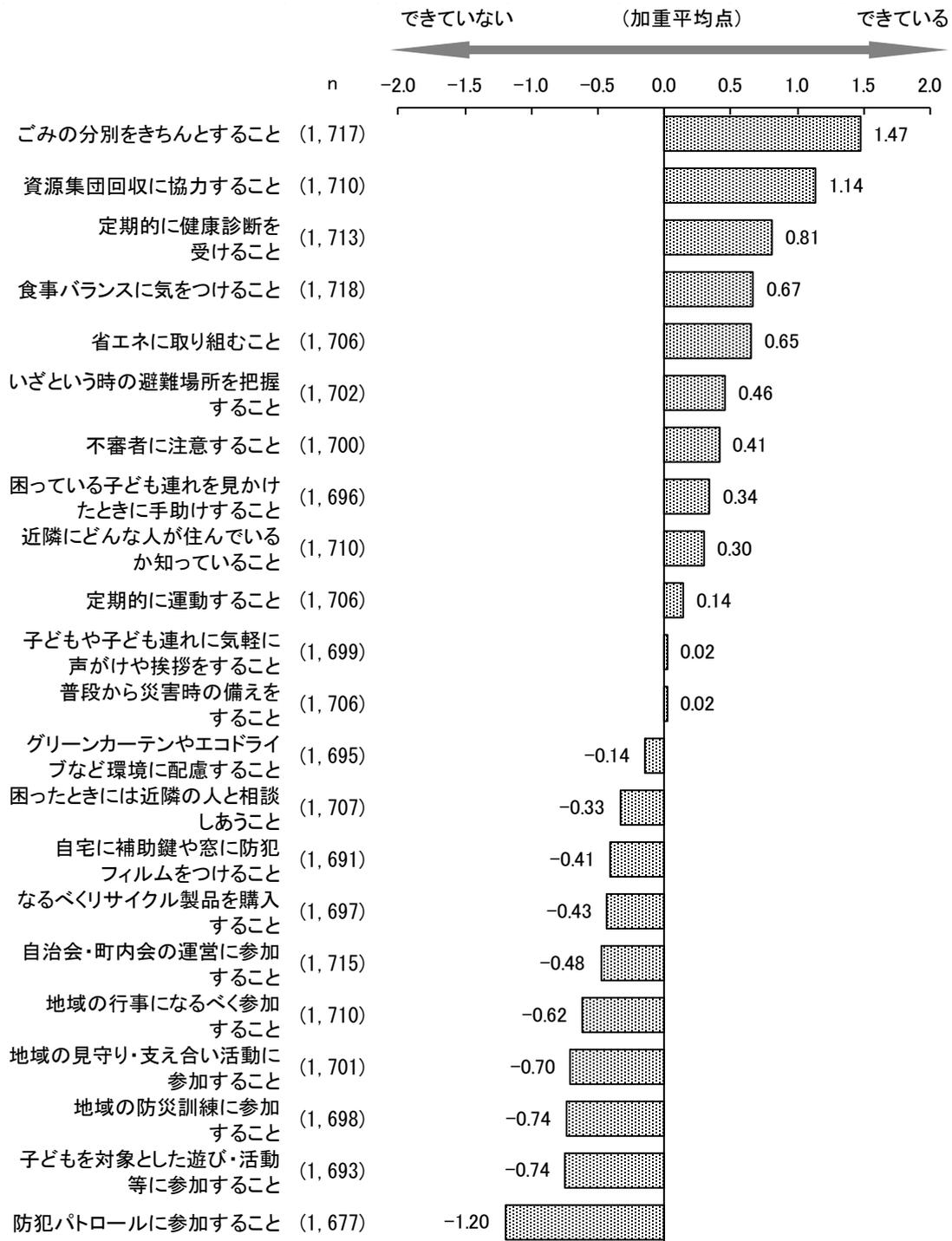
図 33 各項目についての現在の取り組み状況



### 《加重平均による指標化》

各項目に対する取り組み状況について、「よくできている」を+2点、「大体できている」を+1点、「どちらでもない」を0点、「あまりできていない」を-1点、「できていない」を-2点として加重平均し、各項目についての取り組みの評価を指標化したところ、最も取り組み状況のよかった「ごみの分別をきちんとすること」の得点は1.47点でした。「防犯パトロールに参加すること」など10項目では、得点がマイナスとなっています。

図 34 観点別・項目別の取り組み状況に関する評価（加重平均による指標化）



※回答について、「よくできている」+2点、「大体できている」+1点、「どちらでもない」0点、「あまりできていない」-1点、「できていない」-2点、として平均点を算出しました。なお、「無回答」は除外しています。

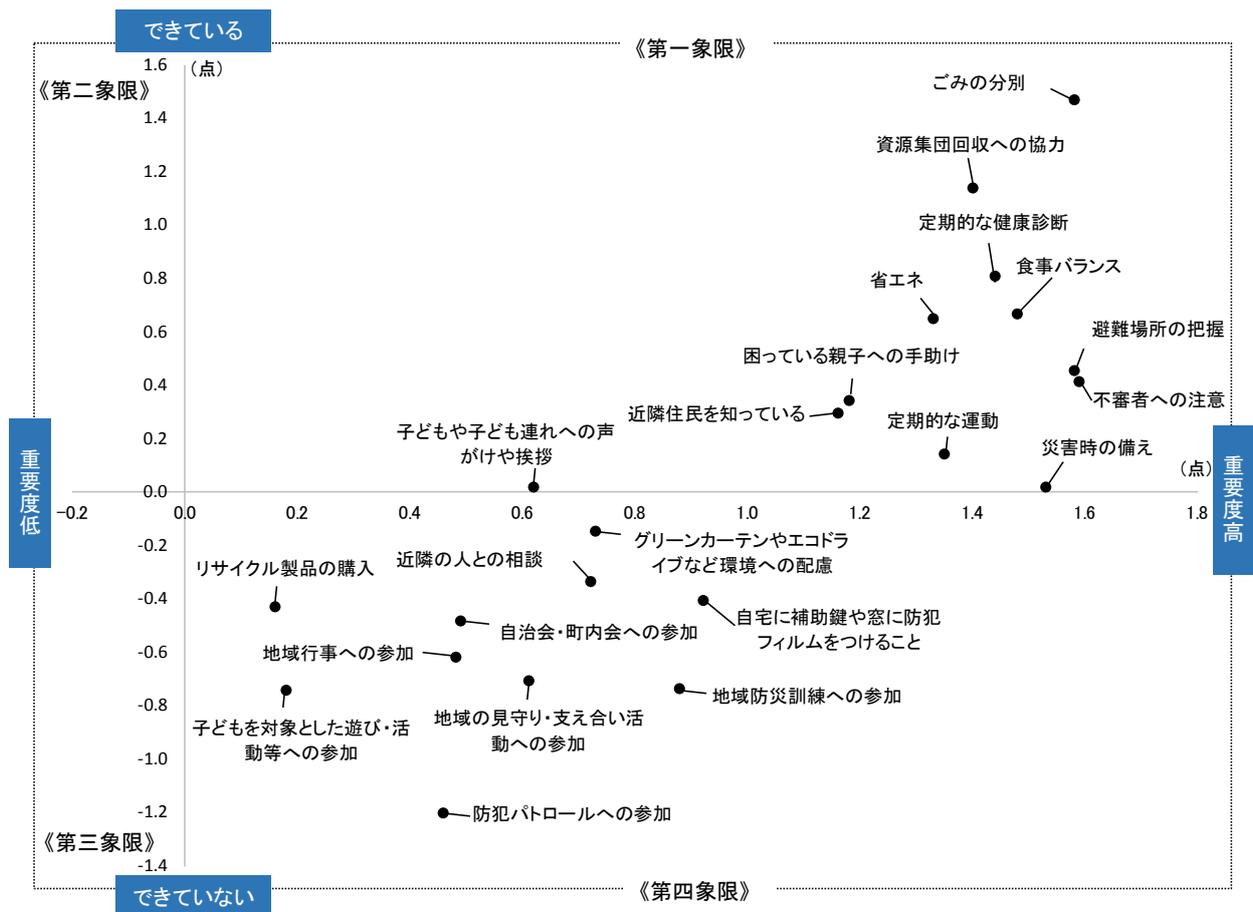
### 《「重要度」と「取り組み状況」の関係》

問5の「重要度」と「取り組み状況」について、それぞれ指標化した結果から両者の関係を見ると、第一象限（「重要度高」・「できている」）には、12項目が位置しています。3番目に重要度の高かった「ごみの分別をきちんとすること」（ごみの分別）は、取り組み状況をみても1.47ポイントと高い位置にあります。

一方、最も重要度が高い「不審者に注意すること」（図中：不審者への注意）は、取り組み状況は0.41ポイントとなっており、重要度に対して取り組み状況の評価が低いという結果となりました。それ以外にも、「普段から災害時の備えをすること」（災害時の備え）、「地域の防災訓練に参加すること」（地域防災訓練への参加）といった防災に関する項目には、重要度に対して取り組み状況の評価が低いという傾向がみられます。

第四象限（「重要度高」・「できていない」）には10項目が位置しています。取り組み状況が最も悪かったのは「防犯パトロールに参加すること」（防犯パトロールへの参加）であり、-1.20ポイントとなっていますが、重要度は0.46ポイントとなっており、第四象限に位置する他の項目と比較すると、重要度の評価に対して取り組み状況が特に低く評価されています。

図 35 「重要度」と「取り組み状況」の関係



※項目名は一部省略されています。

### 3 隣近所との付き合いや地域での活動について

#### (1) 隣近所との付き合い方

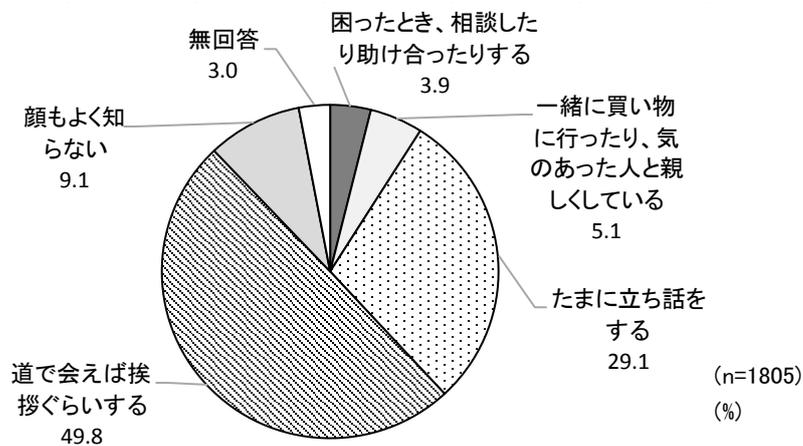
隣近所との付き合い方についてたずねたところ、最も多かったのは「道で会えば挨拶ぐらいする」で49.8%、次いで「たまに立ち話をする」が29.1%、「顔もよく知らない」が9.1%でした。

#### 《過去の「磯子区民意識調査」、「横浜市民意識調査」との比較》

「磯子区民意識調査」（平成 25 年度）の結果と比較すると、今回の調査では、「顔もよく知らない」、「道で会えば挨拶ぐらいする」、「たまに立ち話をする」の割合が、やや高くなっています。

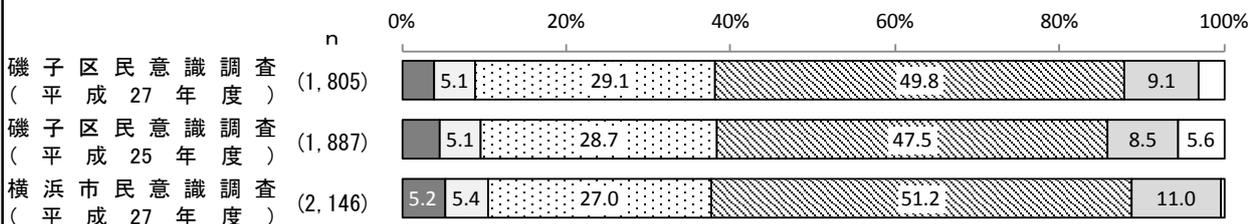
「横浜市民意識調査」（平成 27 年度）の結果と比較すると、「顔もよく知らない」、「道で会えば挨拶ぐらいする」の割合が、やや低くなっています。

問 6 あなたは、隣近所と普段どのような付き合い方をしていますか。(○は1つ) (図 36)



#### 【参考】「磯子区民意識調査」(平成25年度)及び「横浜市民意識調査」との比較

- 困ったとき、相談したり助け合ったりする
- たまに立ち話をする
- 顔もよく知らない
- 一緒に買い物に行ったり、気のあった人と親しくしている
- ▨ 道で会えば挨拶ぐらいする
- 無回答

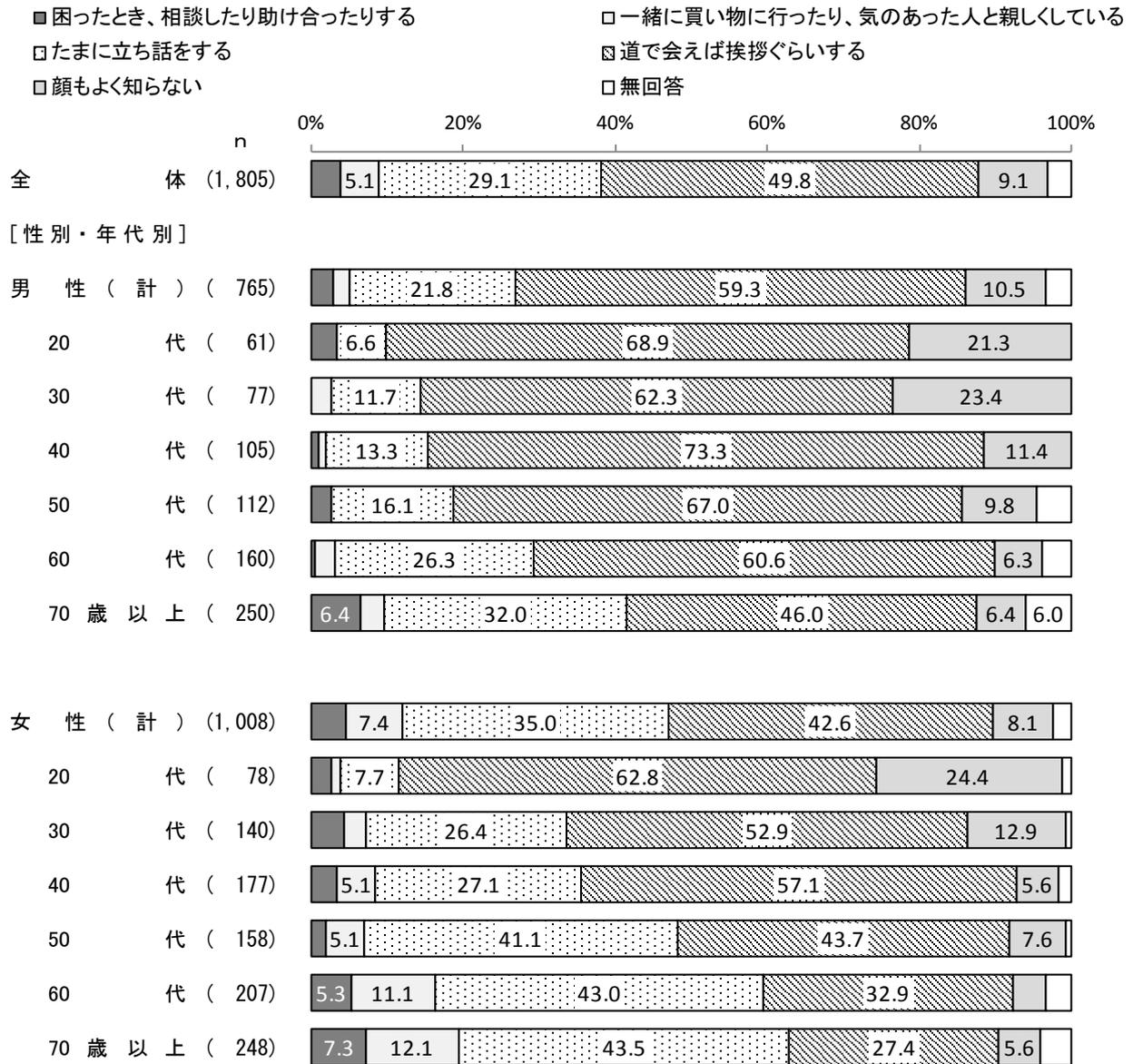


※「磯子区民意識調査」(平成25年度)の「無回答」は、「判別不能」を含みます。

《性別・年代別にみた隣近所との付き合い方》

隣近所との付き合い方について性別・年代別にみると、男女ともに若い年代では隣近所との付き合いが浅い方が多い傾向がみられます。また、女性では年齢が高いほど隣近所との付き合いが深くなるという傾向が男性以上に顕著にみられます。

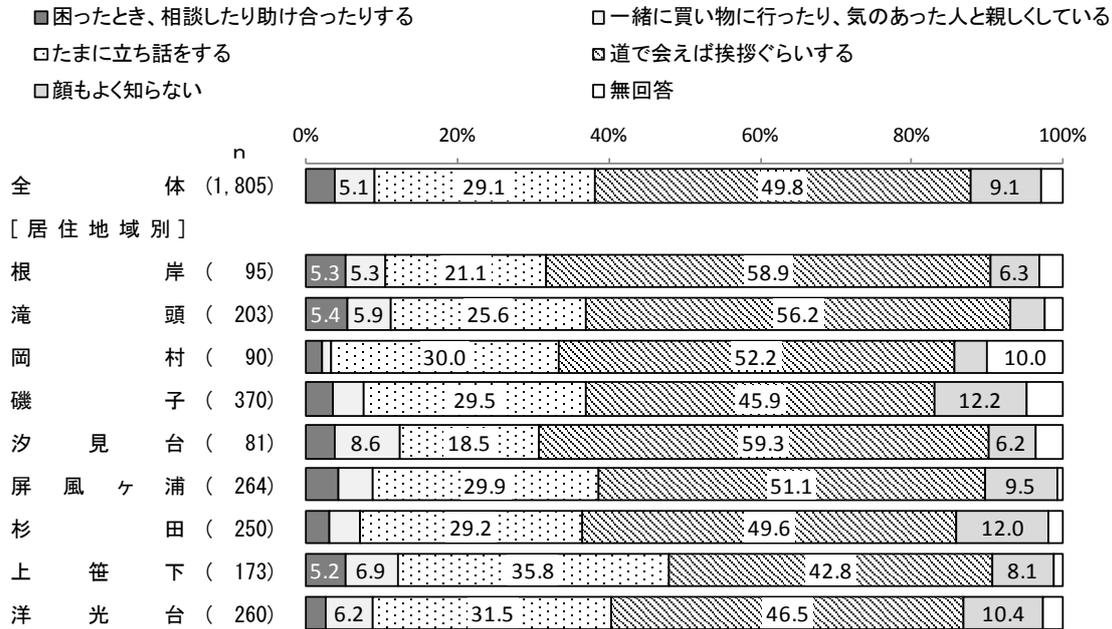
図 37 性別・年代別にみた隣近所との付き合い方



### 《居住地域別にみた隣近所との付き合い方》

隣近所との付き合い方について居住地域別にみると、「顔もよく知らない」では磯子が 12.2%、杉田が 12.0%と、割合が高くなっています。

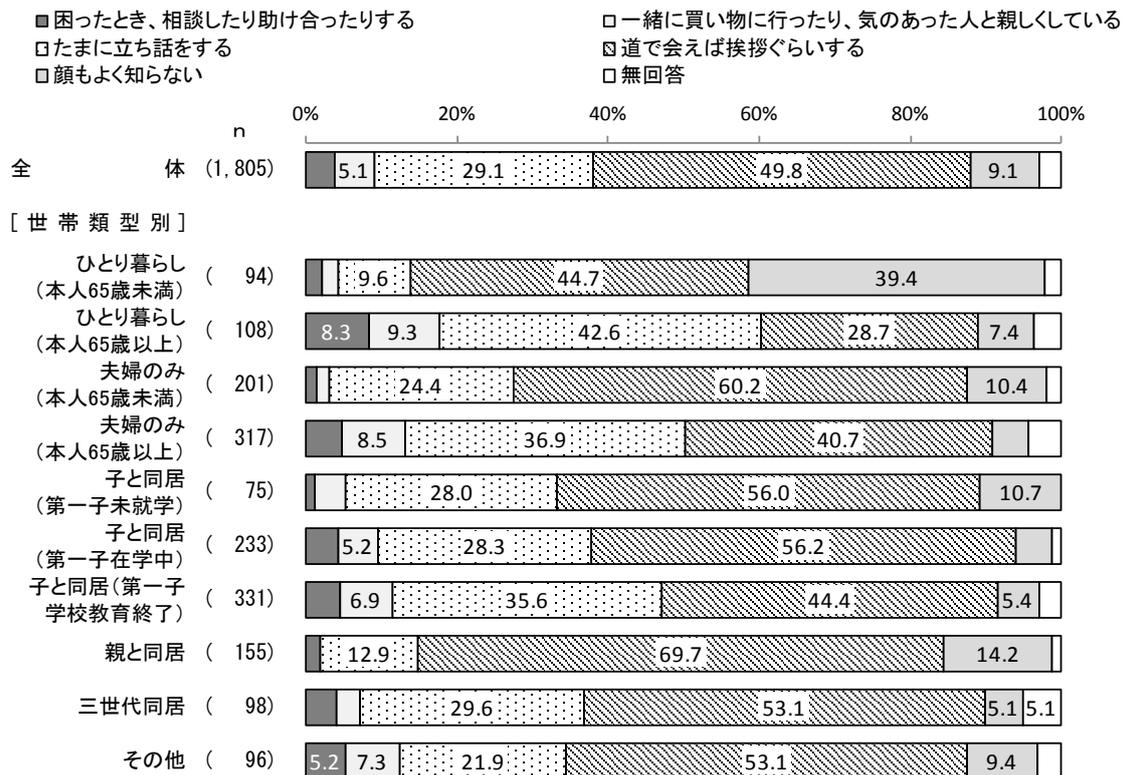
図 38 居住地域別にみた隣近所との付き合い方



### 《世帯類型別にみた隣近所との付き合い方》

隣近所との付き合い方について世帯類型別にみると、「ひとり暮らし（本人 65 歳未満）」では「顔もよく知らない」の割合が 39.4%と、他の世帯類型と比べて非常に高くなっています。

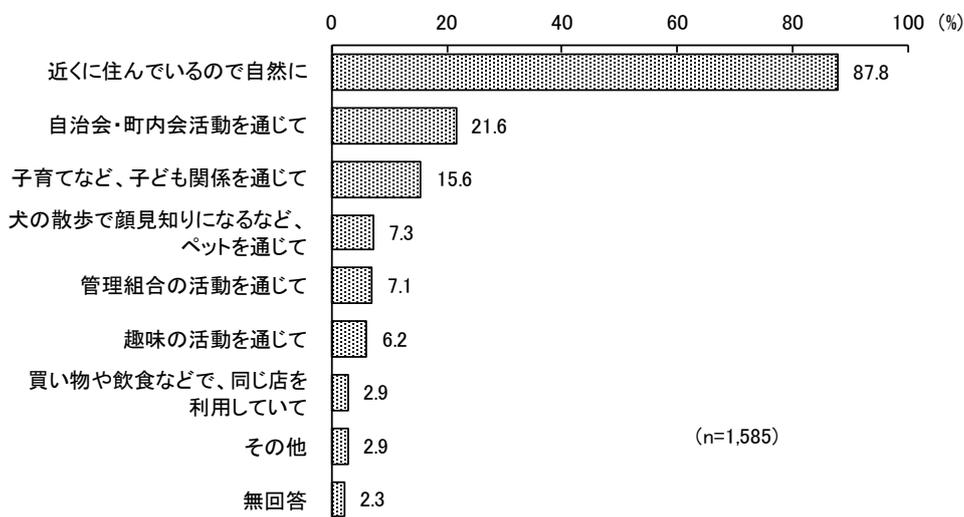
図 39 世帯類型別にみた隣近所との付き合い方



【隣近所との付き合いを始めたきっかけ】

「顔もよく知らない」と回答した方、もしくは無回答であった方以外の回答者に対し、付き合いを始めたきっかけについてたずねたところ、「近くに住んでいるので自然に」が87.8%と最も高く、次いで「自治会・町内会活動を通じて」が21.6%となっています。

問6-1 問6で「2」～「5」と答えた方にお伺いします。お付き合いを始められたきっかけは何ですか。(〇はいくつでも) (図40)



《性別・年代別にみた、付き合いを始めたきっかけ》

隣近所との付き合いを始めたきっかけについて性別・年代別にみると、「近くに住んでいるので自然に」以外では、男性30～40代、女性30～50代で「子育てなど、子ども関係を通じて」の割合が高くなっています。また、「自治会・町内会活動を通じて」については、男女ともに50代以上で割合が高くなっています。

表7 性別・年代別にみた、付き合いを始めたきっかけ

	近くに住んでいるので自然に (%)	自治会・町内会活動を通じて	子育てなど、子ども関係を通じて	犬の散歩で顔見知りになるなど、ペットを通じて	管理組合の活動を通じて	趣味の活動を通じて	買い物や飲食などで、同じ店を利用して	その他	無回答
全体 (n=1,585)	87.8	21.6	15.6	7.3	7.1	6.2	2.9	2.9	2.3
男性 (計) (n=659)	88.8	21.9	7.9	6.1	10.0	4.6	2.0	3.3	2.4
20代 (n=48)	91.7	6.3	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	10.4	0.0
30代 (n=59)	89.8	10.2	15.3	3.4	5.1	0.0	0.0	1.7	1.7
40代 (n=93)	88.2	7.5	12.9	6.5	14.0	0.0	0.0	3.2	1.1
50代 (n=96)	90.6	19.8	7.3	5.2	5.2	2.1	3.1	3.1	0.0
60代 (n=144)	87.5	24.3	6.9	11.8	13.2	3.5	2.1	1.4	5.6
70歳以上 (n=219)	88.1	33.8	5.5	4.6	11.9	10.5	3.2	3.7	2.7
女性 (計) (n=903)	87.0	21.3	21.6	8.0	4.9	7.3	3.4	2.7	2.0
20代 (n=58)	89.7	3.4	6.9	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7
30代 (n=121)	85.1	8.3	38.8	7.4	2.5	0.8	1.7	0.8	0.0
40代 (n=164)	87.2	14.0	33.5	8.5	5.5	3.0	0.0	1.8	1.2
50代 (n=145)	86.2	19.3	24.8	10.3	7.6	3.4	2.8	2.1	1.4
60代 (n=191)	92.1	33.0	14.1	12.0	5.8	9.4	2.6	3.1	0.5
70歳以上 (n=224)	83.5	29.5	11.6	4.5	4.0	16.1	8.5	4.5	5.4

※網掛けは、他の性別・年代と比べて顕著な特徴がみられる項目

《隣近所との付き合い方別にみた、付き合いを始めたきっかけ》

隣近所との付き合いを始めたきっかけについて、隣近所との付き合いの深い方（「一緒に買い物に行ったり、気のあった人と親しくしている」、「困ったとき、相談したり助け合ったりする」）では「近くに住んでいるので自然に」以外では、「自治会・町内会活動を通じて」、「子育てなど、子ども関係を通じて」、「趣味の活動を通じて」の割合が高くなっています。

表 8 隣近所との付き合い方別にみた、付き合いを始めたきっかけ

	近くに住んでいるので自然に	自治会・町内会活動を通じて	子育てなど、子ども関係を通じて	犬の散歩で顔見知りになるなど、ペットを通じて	管理組合の活動を通じて	趣味の活動を通じて	買い物や飲食などで、同じ店を利用して	その他	無回答
全体(n=1,585)	87.8	21.6	15.6	7.3	7.1	6.2	2.9	2.9	2.3
道で会えば挨拶ぐらいする(n=898)	90.0	14.4	8.6	5.8	6.2	1.9	1.9	2.2	2.6
たまたま立ち話をする(n=525)	88.0	31.2	21.3	9.9	9.0	8.4	3.2	2.3	1.7
一緒に買い物に行ったり、気のあった人と親しくしている(n=92)	77.2	31.5	39.1	6.5	5.4	27.2	9.8	3.3	3.3
困ったとき、相談したり助け合ったりする(n=70)	71.4	28.6	31.4	7.1	5.7	17.1	4.3	15.7	1.4

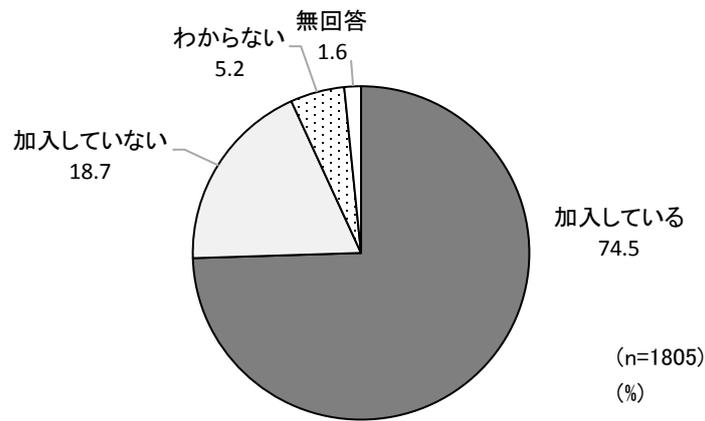
(2) 自治会・町内会への加入状況

自治会・町内会への加入状況についてたずねたところ、「加入している」が74.5%、「加入していない」が18.7%となっています。

【自治会・町内会に加入していない理由】

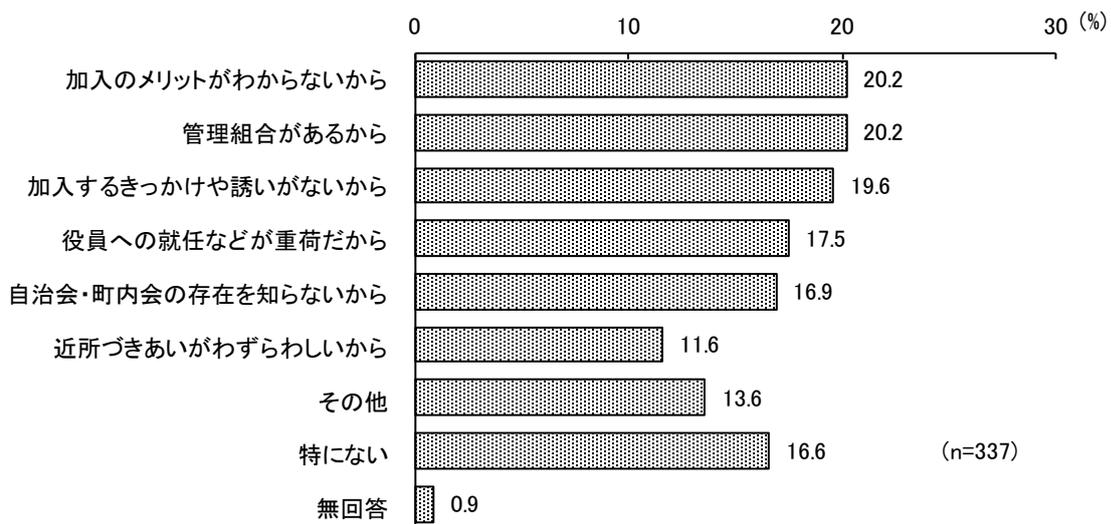
自治会・町内会に加入していない方に対し、加入していない理由をたずねたところ、「加入のメリットがわからないから」、「管理組合があるから」が共に20.2%と高く、次いで「加入するきっかけや誘いがないから」が19.6%となっています。

問7 あなたは自治会・町内会に加入していますか。(○は1つ) (図41)



(問7で「2 加入していない」と答えた方にお伺いします。)

問7-1 自治会・町内会に加入していない理由は何ですか。(○はいくつでも) (図42)



### 【自治会・町内会に加入していて良かったと思うこと】

自治会・町内会に加入している方に対し、加入していて良かったと思うことについて自由記述形式でたずねたところ、995 件の有効回答がありました。

最も多かったのは「地域の人との交流ができる」が 386 件で、次いで「地域の情報が得られる」が 263 件、「地域の人と助け合ったり、相談ができる」が 57 件となっています。

一方、「特にメリットが感じられない」という回答が 206 件、自治会・町内会に対し、否定的な意見を述べている回答が 19 件ありました。例として「仕事をしているので、休日などに自治会の仕事は困る」、「新参者は参加しづらい」、「男性だけで運営されていて、女性の出番がまったくない」などが挙げられます。

(問7で「1 加入している」と答えた方にお伺いします。)

問7-2 自治会・町内会に加入していて良かったと思うことは何ですか。(ご自由にお書きください)

表9 「自治会・町内会に加入していて良かったと思うこと」主な内容【自由記述】

「自治会・町内会に加入していて良かったと思うこと」	件数
地域の人との交流ができる	386
地域の情報が得られる	263
地域の人と助け合ったり、相談ができる	57
(加入していることが)子ども、孫のためになる	37
市の広報が配布される	30
自治会・町内会の活動を通じて、地域に貢献できる	14
その他	73
メリットの有無にかかわらず、加入するものだと考えている	37
特にメリットが感じられない	206
自治会・町内会に対する否定的な意見	19
わからない	37

※問7-2については、問7において「加入している」と回答した方を対象とした設問となっています。

※1つの回答の中で複数の項目について記述されている場合は、それぞれの項目について1件と数えているため、各項目の件数の合計は回答者数には一致しません。

### (3) 仕事や学業以外で参加している活動

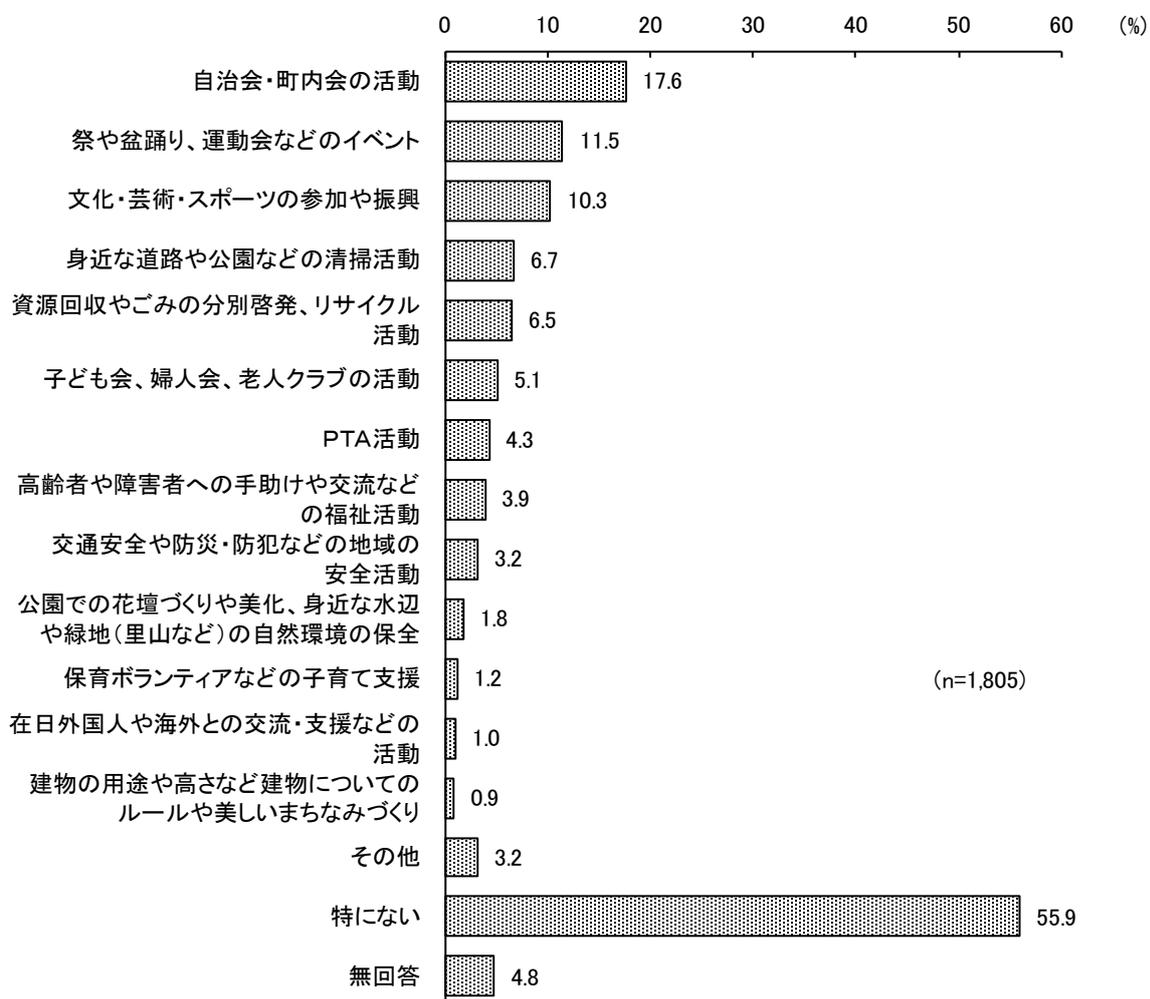
仕事や学業以外で参加している活動についてたずねたところ、最も多かったのは「特にない」で55.9%でした。「特にない」以外で最も多かったのは「自治会・町内会の活動」が17.6%、次いで「祭や盆踊り、運動会などのイベント」が11.5%となっています。

#### 《過去の「磯子区民意識調査」との比較》

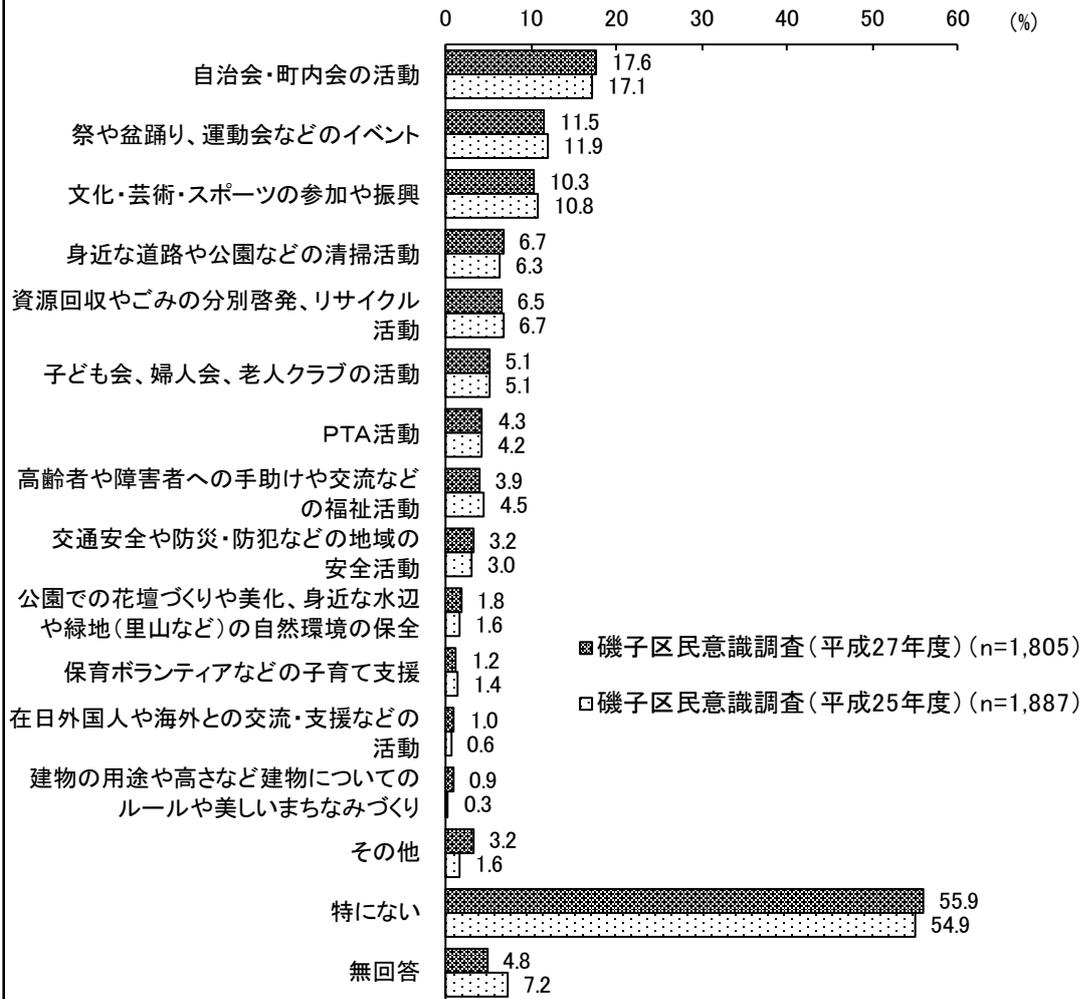
「磯子区民意識調査」（平成25年度）と比較すると、概ね同様の結果となっています。

問8 あなたは、現在、仕事や学業以外にどのような活動に参加していますか。(〇はいくつでも)

(図43)



【参考】「磯子区民意識調査」(平成25年度)との比較



《性別・年代別にみた仕事や学業以外で参加している活動》

仕事や学業以外で参加している活動について性別・年代別にみると、「特にない」以外で割合が高いのは、男性 20～30 代で「文化・芸術・スポーツの参加や振興」、男性 40 代、女性 20～30 代で「祭や盆踊り、運動会などのイベント」、女性 40 代で「PTA活動」、その他の性別・年代では「自治会・町内会の活動」となっています。

また、男女 70 歳以上の「身近な道路や公園などの清掃活動」、女性 40 代の「子ども会、婦人会、老人クラブの活動」、男性 70 歳以上の「交通安全や防災・防犯などの地域の安全活動」など、一部の項目においては、特定の性別・年代において割合が高くなっています。

表 10 性別・年代別にみた仕事や学業以外で参加している活動

	自治会・町内会の活動	祭や盆踊り、運動会などのイベント	文化・芸術・スポーツの参加や振興	身近な道路や公園などの清掃活動	資源回収やごみの分別啓発、リサイクル活動	子ども会、婦人会、老人クラブの活動	PTA活動	高齢者や障害者への手助けや交流などの福祉活動
(%)								
全 体 (n=1,805)	17.6	11.5	10.3	6.7	6.5	5.1	4.3	3.9
男 性(計)(n= 765)	16.2	11.0	12.0	6.3	5.9	3.4	1.2	3.0
20 代(n= 61)	1.6	0.0	14.8	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0
30 代(n= 77)	2.6	9.1	11.7	2.6	2.6	0.0	0.0	0.0
40 代(n= 105)	8.6	10.5	8.6	2.9	4.8	1.9	4.8	0.0
50 代(n= 112)	17.9	9.8	11.6	5.4	6.3	2.7	1.8	1.8
60 代(n= 160)	17.5	10.0	9.4	5.6	4.4	2.5	0.0	1.3
70 歳以上(n= 250)	25.6	15.6	14.8	10.8	9.6	6.8	0.8	7.6
女 性(計)(n=1,008)	18.6	12.0	9.3	7.0	7.0	6.3	6.7	4.6
20 代(n= 78)	1.3	9.0	6.4	0.0	2.6	2.6	0.0	2.6
30 代(n=140)	9.3	12.1	7.1	4.3	3.6	8.6	11.4	2.1
40 代(n=177)	18.6	18.1	10.2	5.6	6.2	17.5	21.5	4.0
50 代(n=158)	16.5	8.2	5.7	5.7	6.3	1.9	7.0	3.8
60 代(n=207)	28.0	13.5	12.1	8.7	8.2	1.4	0.0	8.2
70 歳以上(n=248)	22.6	9.7	10.9	11.3	10.5	5.2	1.2	4.4
	交通安全や防災・防犯などの地域の安全活動	公園での花壇づくりや美化、身近な水辺や緑地(里山など)の自然環境の保全	保育ボランティアなどの子育て支援	在日外国人や海外との交流・支援などの活動	建物の用途や高さなど建物についてのルールや美しいまちなみづくり	その他	特にない	無回答
全 体 (n=1,805)	3.2	1.8	1.2	1.0	0.9	3.2	55.9	4.8
男 性(計)(n= 765)	5.0	2.0	0.4	1.3	0.9	2.6	60.4	4.1
20 代(n= 61)	0.0	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0	78.7	3.3
30 代(n= 77)	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.3	0.0
40 代(n= 105)	1.0	1.9	0.0	1.0	0.0	1.9	68.6	1.0
50 代(n= 112)	6.3	0.9	0.0	0.9	1.8	2.7	63.4	0.9
60 代(n= 160)	2.5	0.0	0.0	1.9	0.6	4.4	61.3	4.4
70 歳以上(n= 250)	10.0	4.8	1.2	1.6	1.6	3.2	46.0	8.0
女 性(計)(n=1,008)	1.8	1.6	1.8	0.8	0.7	3.4	53.1	4.6
20 代(n= 78)	0.0	1.3	1.3	1.3	1.3	0.0	75.6	3.8
30 代(n=140)	1.4	1.4	1.4	1.4	0.7	1.4	66.4	0.0
40 代(n=177)	0.6	1.7	2.8	1.1	0.6	3.4	51.4	0.0
50 代(n=158)	1.3	1.3	1.9	1.9	1.3	4.4	60.8	1.3
60 代(n=207)	3.4	2.9	2.4	0.0	1.0	4.3	43.5	3.9
70 歳以上(n=248)	2.4	0.8	0.8	0.0	0.0	4.0	42.7	13.3

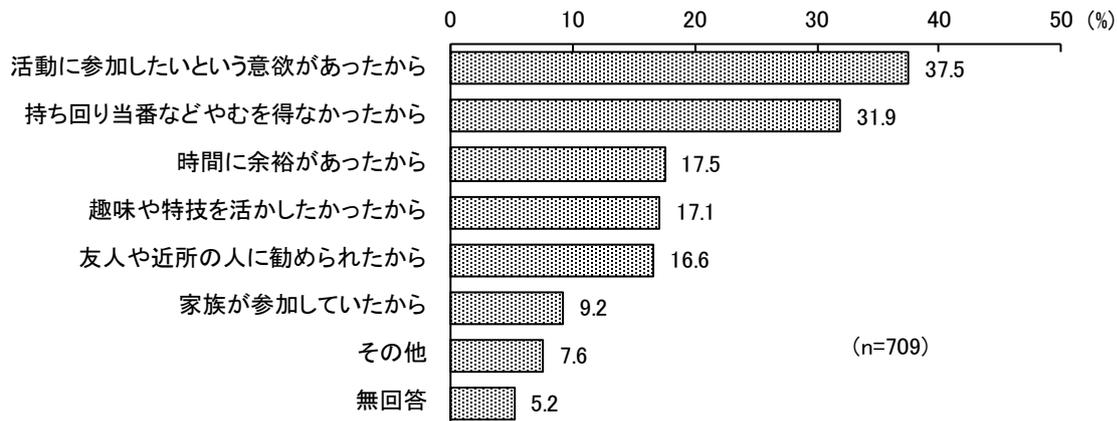
※網掛けは、他の性別・年代と比べて顕著な特徴がみられる項目

### 【仕事や学業以外の活動に参加した主な理由】

問8で「特にない」と回答した方、及び無回答の方以外の回答者に対し、仕事や学業以外の活動に参加した主な理由についてたずねたところ、最も多かったのは「活動に参加したいという意欲があったから」で37.5%、次いで「持ち回り当番などやむを得なかったから」が31.9%となっています。

(問8で参加している活動があると答えた(「1」～「14」に○印を付けた)方にお伺いします。)

問8-1 あなたが活動に参加した主な理由はどのようなことですか。(○はいくつでも)(図44)

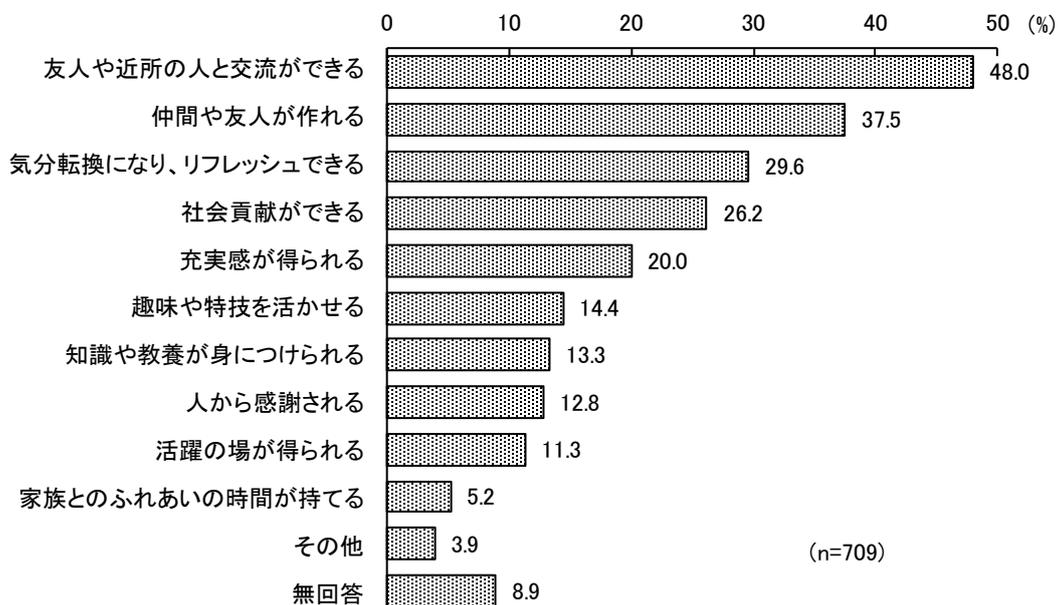


### 【仕事や学業以外の活動に参加する楽しみ】

問8で「特にない」と回答した方、及び無回答の方以外の回答者に対し、仕事や学業以外の活動に参加する楽しみについてたずねたところ、最も多かったのは「友人や近所の人と交流ができる」で48.0%、次いで「仲間や友人が作れる」が37.5%、「気分転換になり、リフレッシュできる」が29.6%となっています。

(問8で参加している活動があると答えた(「1」～「14」に○印を付けた)方にお伺いします。)

問8-2 活動に参加する楽しみ、参加して楽しい事は何ですか。(○はいくつでも)(図45)



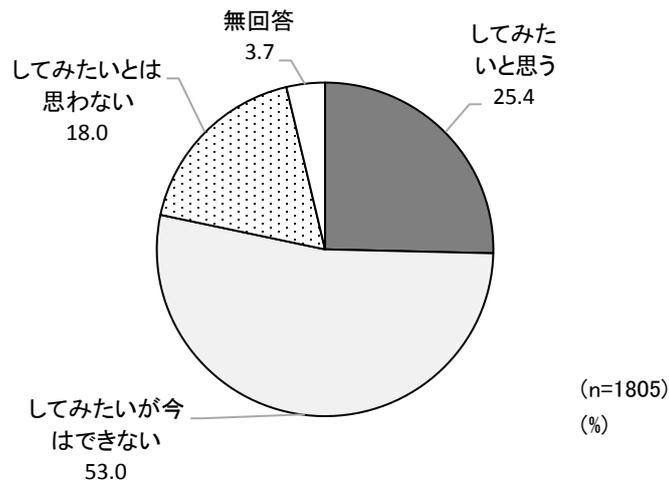
(4) 地域や社会に役立つ活動への参加意向

地域や社会に役立つ活動への参加意向についてたずねたところ、「してみたいと思う」は25.4%、「してみたいが今はできない」が53.0%、「してみたいとは思わない」が18.0%でした。

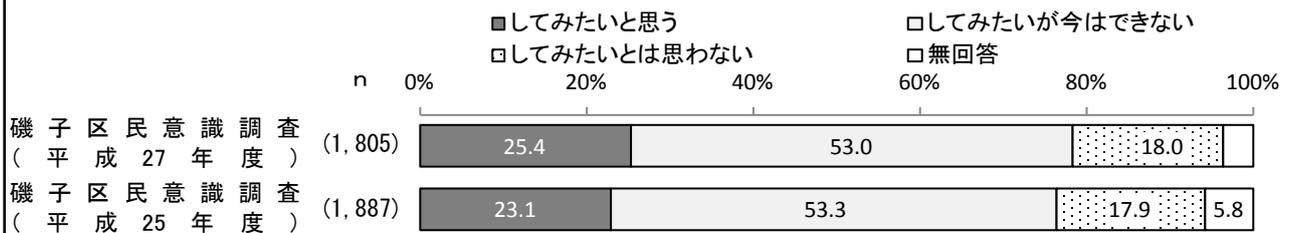
《過去の「磯子区民意識調査」との比較》

「磯子区民意識調査」(平成25年度)と比較すると、今回の調査では、「してみたいと思う」の割合がやや高くなっています。

問9 あなたは、今後、仕事や学業以外に、何か自分にできることで地域や社会に役立つ活動をしてみたいと思いますか。(○は1つ) (図46)



【参考】「磯子区民意識調査」(平成25年度)との比較



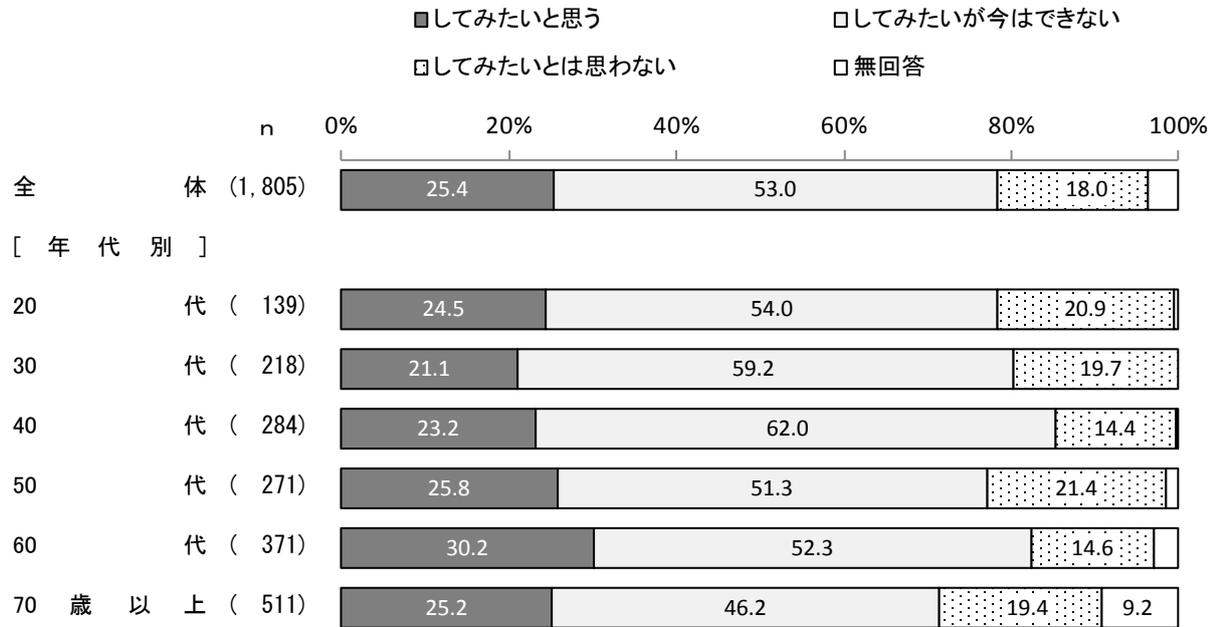
※「磯子区民意識調査」(平成25年度)の『無回答』は、[判別不能]を含みます。

《年代別にみた地域や社会に役立つ活動への参加意向》

地域や社会に役立つ活動への参加意向について年代別にみたところ、「してみたいと思う」と「してみたいが今はできない」の割合の合計は、30～40代、60代で8割を超えています。

なお、「してみたいと思う」の割合が最も高いのは60代で30.2%でした。

図 47 年代別にみた地域や社会に役立つ活動への参加意向



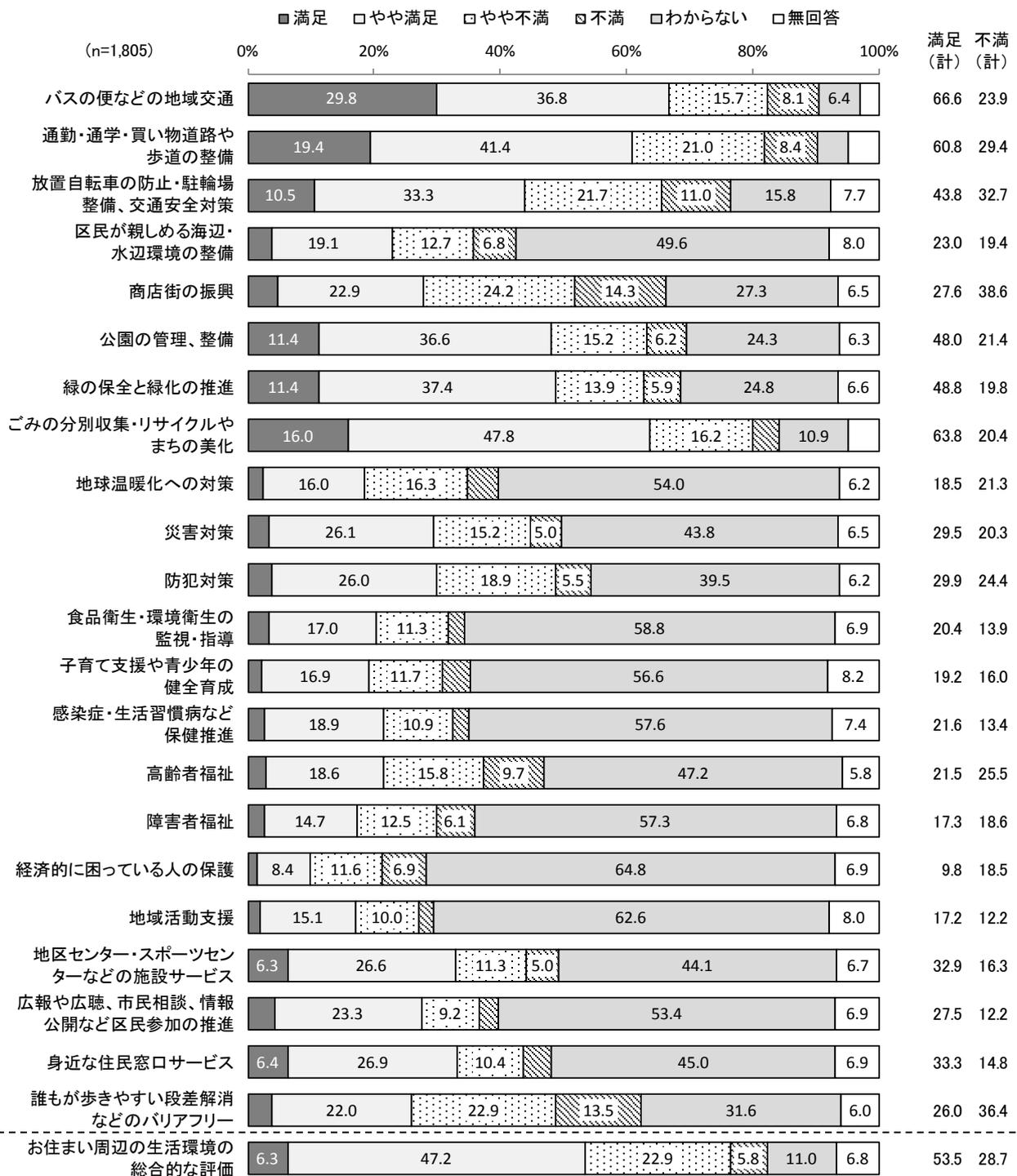
#### 4 生活環境全般に対する満足度・重要度について

##### (1) 生活環境に対する満足度

現在のお住まいの周辺の生活環境に対する満足度についてたずねたところ、「総合的な評価」としては、「満足」が6.3%、「やや満足」が47.2%、「やや不満」が22.9%、「不満」が5.8%となっています。

項目別にみると、「満足」との回答は、「バスの便などの地域交通」、「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」等で高く、一方、「不満」との回答は、「商店街の振興」、「誰もが歩きやすい段差解消などのバリアフリー」、「放置自転車の防止・駐輪場整備、交通安全対策」等で高くなっています。

問 10 あなたは現在のお住まいの周辺の生活環境にどの程度満足していますか。また、以前と比べてどのように変わったと思いますか。(図 48)



現在のお住まいの周辺的生活環境に対する満足度について、「満足」「やや満足」の合計が高い順に並べると、「バスの便などの地域交通」が最も高く、次いで「ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化」が高くなっていることを確認することができます。

同様に、「不満」「やや不満」の合計が高い順に並べると、「商店街の振興」や「誰もが歩きやすい段差解消などのバリアフリー」、「放置自転車の防止・駐輪場整備、交通安全対策」に不満を感じている方が特に多いことを、あらためて確認することができます。

図 48-1 観点別・項目別にみた生活環境に対する「満足」と「やや満足」の割合

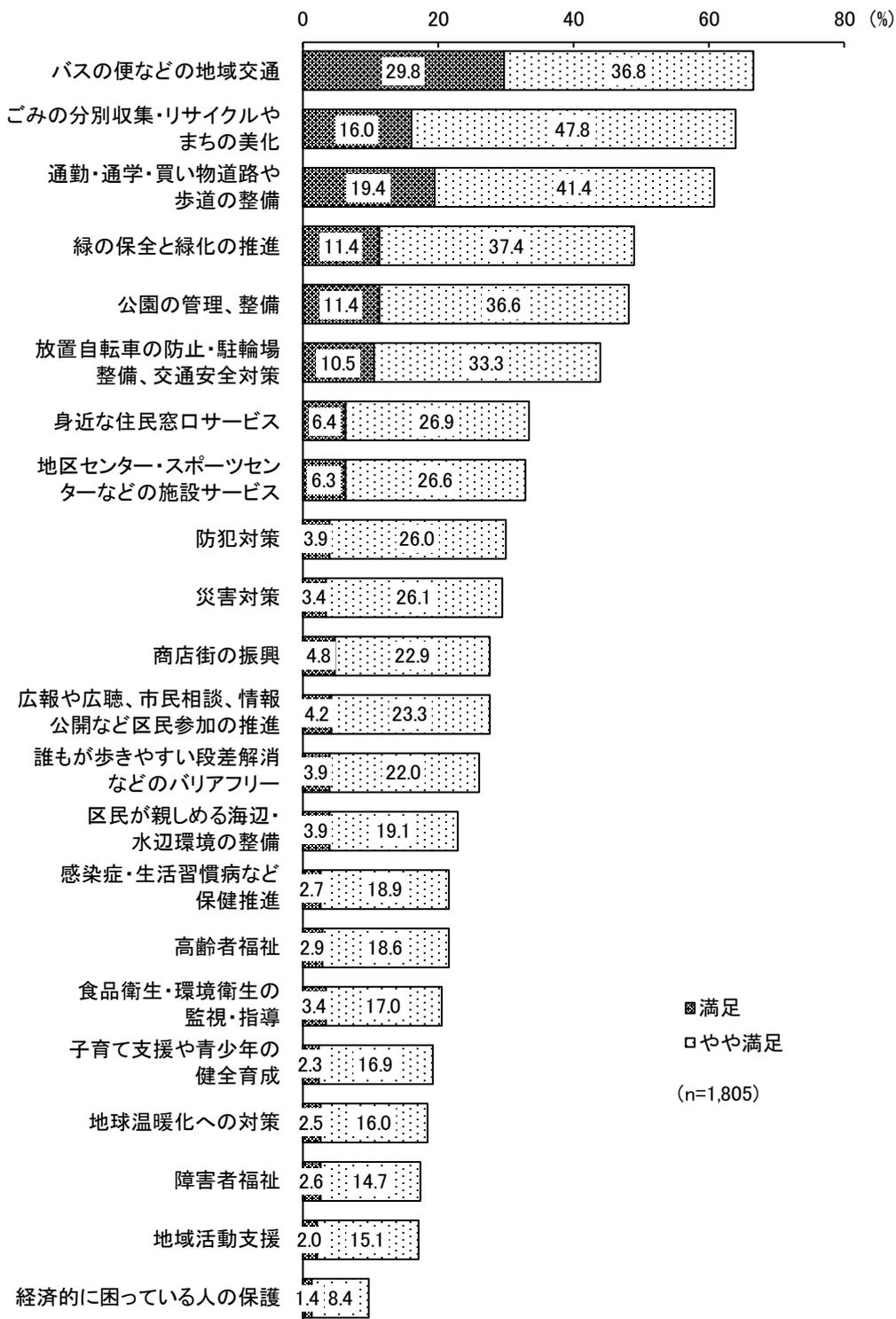
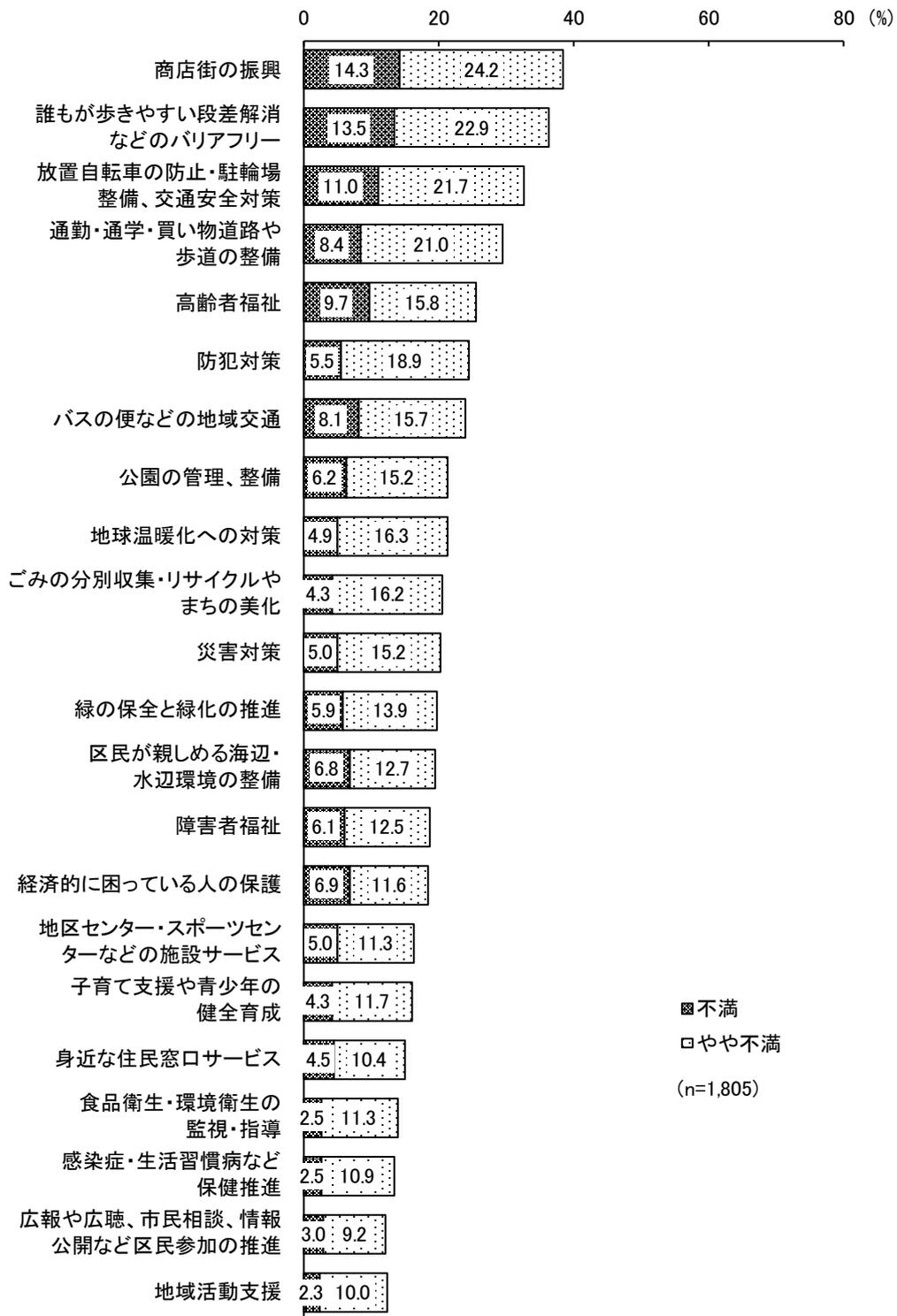
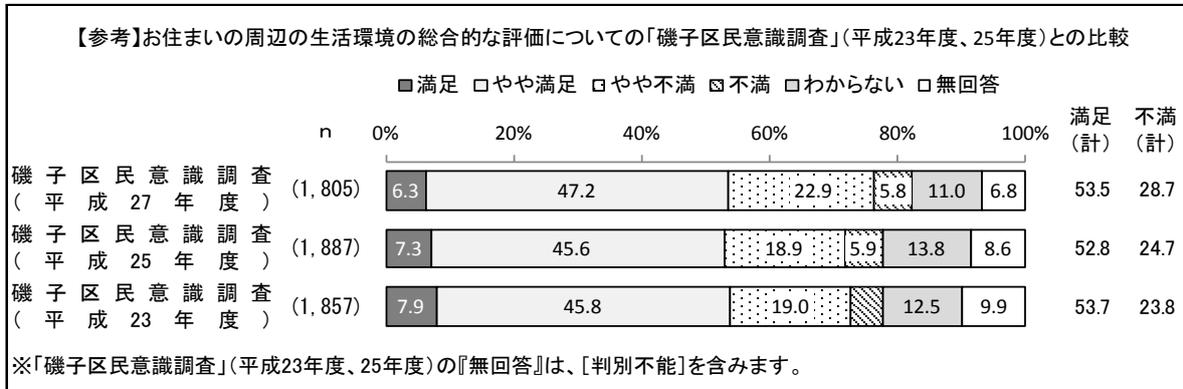


図 48-2 観点別・項目別にみた生活環境に対する「不満」と「やや不満」の割合



### 《過去の「磯子区民意識調査」との比較》

お住まい周辺の生活環境の総合的な評価について、満足度を過去の「磯子区民意識調査」と比較すると、「満足」と「やや満足」の合計はそれほど変わりませんが、今回の調査では、「不満」と「やや不満」の合計の割合が高くなっています。



### 《年代別・居住地域別に見た、お住まい周辺の生活環境の総合的な評価》

お住まい周辺の生活環境の総合的な評価について、「満足」を+2点、「やや満足」を+1点、「やや不満」を-1点、「不満」を-2点として加重平均し、満足度を指標化した数値を年代別にみると、60代で評価が低く、20代及び70歳以上で高くなっていることがわかります。

また、同様の指標を用いて居住地域別に満足度をみると、汐見台、洋光台で満足度が高くなっています。一方、滝頭では-0.06ポイントと、他地域と比べて特に満足度が低くなっています。

図 49 年代別に見た「お住まい周辺の生活環境の総合的な評価」

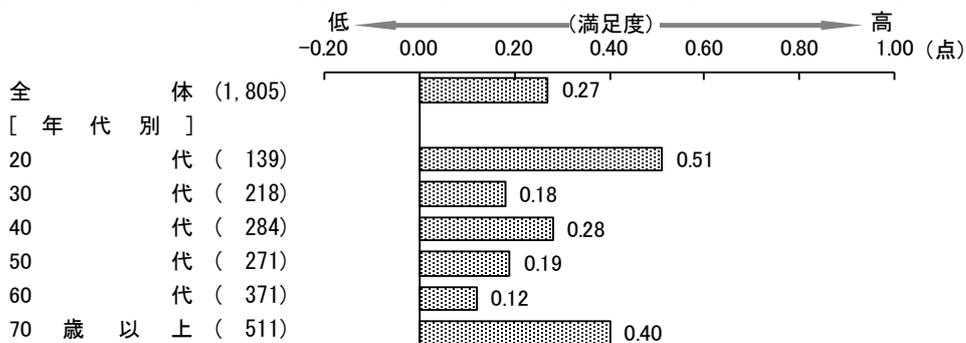
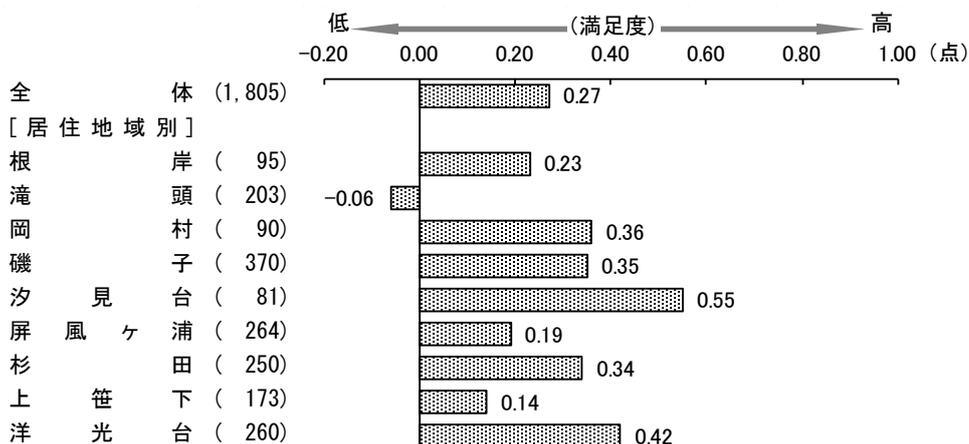


図 50 居住地域別に見た「お住まい周辺の生活環境の総合的な評価」



### 《居住地域別にみた生活環境に対する満足度》

現在のお住まいの周辺の生活環境に対する満足度について居住地域別に「満足」と「やや満足」の割合の合計が高い項目をみると、「ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化」（表中では「ごみの分別）」、「バスの便などの地域交通」（地域交通）、「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」（道路整備）、「公園の管理、整備」（公園の管理）、「緑の保全と緑化の推進」（緑化推進）が各地域で上位に入っていますが、その順位には地域による差がみられます。

一方、「やや不満」と「不満」の割合の合計が高い項目をみると、ほとんどの地域で「商店街の振興」（商店街振興）、「放置自転車の防止・駐輪場整備、交通安全対策」（交通安全対策）、「誰もが歩きやすい段差解消などのバリアフリー」（バリアフリー）に対し不満と感じている割合が高くなっています。

最も高いのは、汐見台の「商店街の振興」（商店街振興）で48.1%となっています

また「バスの便などの地域交通」（地域交通）、「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」（道路整備）など、「満足」と「やや満足」の割合が高い項目についても、不満と感じている方の割合が高い場合があることがわかります。

※表 11、表 12、及び図 53、図 54、図 56、図 57 に記載されている項目は、名称を省略して表記しており、その対応関係は以下の通りです。

項目略称	元の項目名	項目略称	元の項目名
地域交通	バスの便などの地域交通	食品・環境衛生	食品衛生・環境衛生の監視・指導
道路整備	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備	子育て支援	子育て支援や青少年の健全育成
交通安全対策	放置自転車の防止・駐輪場整備、交通安全対策	保健推進	感染症・生活習慣病など保健推進
水辺環境整備	区民が親しめる海辺・河川環境の整備	高齢者福祉	高齢者福祉
商店街振興	商店街の振興	障害者福祉	障害者福祉
公園の管理	公園の管理、整備	経済的困窮者保護	経済的に困っている人の保護
緑化推進	緑の保全と緑化の推進	地域活動支援	地域活動支援
ごみの分別	ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化	施設サービス	地区センター・スポーツセンターなどの施設サービス
地球温暖化対策	地球温暖化への対策	広報・広聴等	広報や広聴、市民相談、情報公開など区民参加の推進
災害対策	災害対策	窓口サービス	身近な住民窓口サービス
防犯対策	防犯対策	バリアフリー	誰もが歩きやすい段差解消などのバリアフリー

表 11 居住地域別にみた生活環境に対する「満足」＋「やや満足」の割合の高い項目

	1位		2位		3位		4位		5位	
	項目名	割合	項目名	割合	項目名	割合	項目名	割合	項目名	割合
根岸 (N=95)	地域交通	78.9	道路整備	66.3	ごみの分別	64.2	公園の管理	46.3	交通安全対策	35.8
滝頭 (N=203)	地域交通	61.6	ごみの分別	59.6	道路整備	53.2	公園の管理	48.8	緑化推進	45.8
岡村 (N=90)	ごみの分別	65.6	地域交通	64.4	緑化推進	53.4	公園の管理	53.3	道路整備	50.0
磯子 (N=370)	地域交通	67.3	ごみの分別	66.0	道路整備	61.3	緑化推進	50.8	公園の管理	50.3
汐見台 (N=81)	緑化推進	72.8	ごみの分別	72.8	道路整備	70.4	地域交通	64.2	公園の管理	60.5
屏風ヶ浦 (N=264)	地域交通	67.4	ごみの分別	59.4	道路整備	59.1	交通安全対策	47.0	窓口サービス	36.0
杉田 (N=250)	地域交通	62.8	ごみの分別	61.6	道路整備	52.0	公園の管理	52.0	緑化推進	47.2
上笹下 (N=173)	ごみの分別	64.2	地域交通	63.6	道路整備	53.8	緑化推進	52.6	公園の管理	46.8
洋光台 (N=260)	道路整備	80.0	地域交通	72.3	ごみの分別	67.7	緑化推進	56.9	交通安全対策	55.4

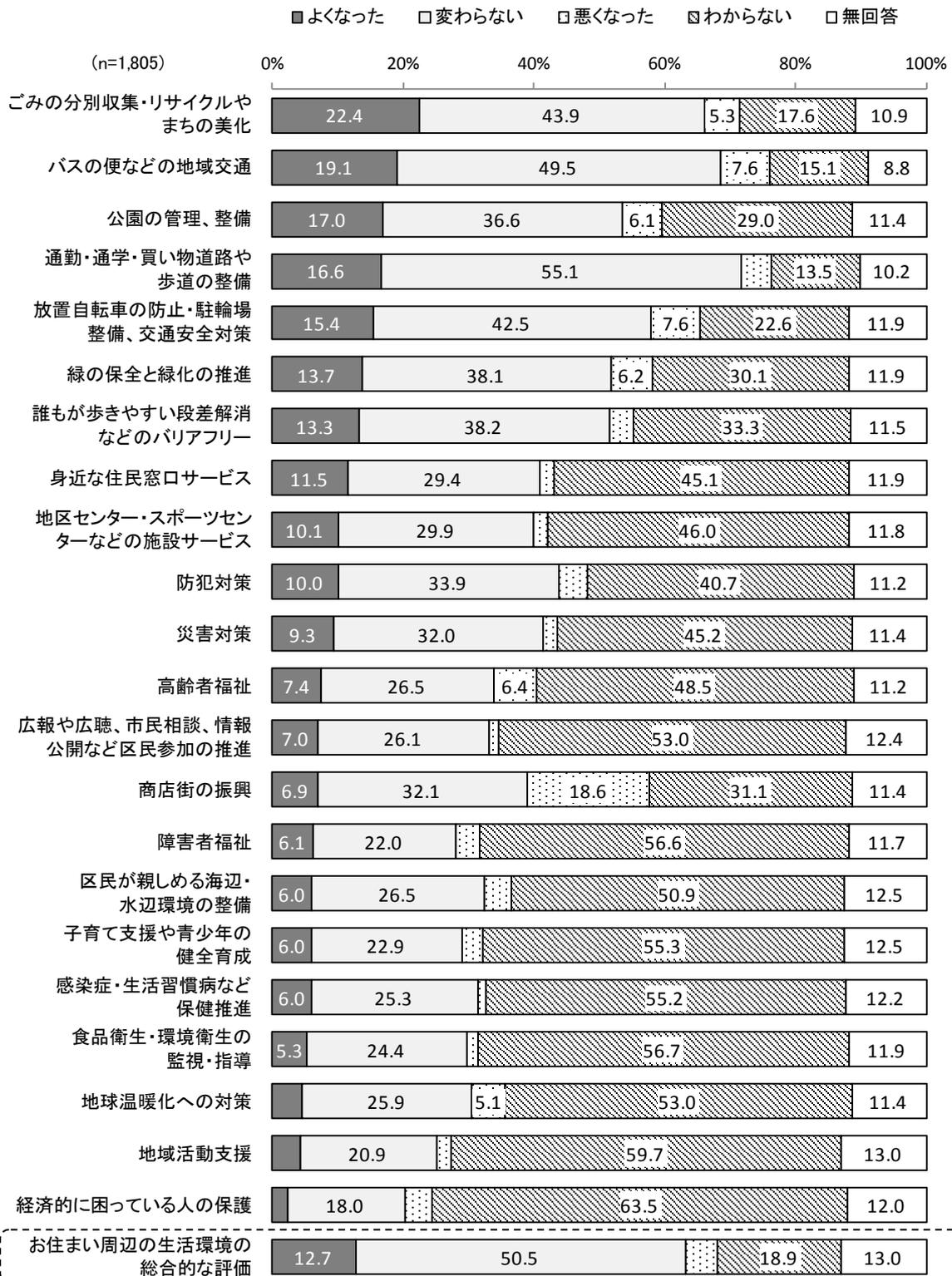
表 12 居住地域別にみた生活環境に対する「やや不満」＋「不満」の割合の高い項目

	1位		2位		3位		4位		5位	
	項目名	割合	項目名	割合	項目名	割合	項目名	割合	項目名	割合
根岸 (N=95)	バリアフリー	46.3	交通安全対策	44.2	商店街振興	41.1	緑化推進	31.6	防犯対策	29.5
滝頭 (N=203)	商店街振興	46.8	交通安全対策	44.9	道路整備	37.5	地域交通	35.5	バリアフリー	34.5
岡村 (N=90)	道路整備	40.0	交通安全対策	31.1	地域交通	28.9	バリアフリー	28.9	商店街振興	24.4
磯子 (N=370)	商店街振興	40.6	バリアフリー	34.6	交通安全対策	33.8	道路整備	27.6	防犯対策	25.1
汐見台 (N=81)	商店街振興	48.1	バリアフリー	39.5	地域交通	29.6	道路整備	24.7	公園の管理、整備	23.5
屏風ヶ浦 (N=264)	バリアフリー	41.0	商店街の振興	40.6	道路整備	31.0	交通安全対策	30.3	高齢者福祉	30.3
杉田 (N=250)	道路整備	37.6	バリアフリー	31.2	交通安全対策	30.8	商店街振興	27.2	ごみの分別	21.6
上笹下 (N=173)	バリアフリー	39.9	商店街振興	35.3	高齢者福祉	33.0	道路整備	32.9	交通安全対策	31.3
洋光台 (N=260)	商店街振興	41.1	バリアフリー	37.3	交通安全対策	30.8	高齢者福祉	28.8	防犯対策	24.2

(2) 生活環境に対する満足度の以前との比較

生活環境に対する満足度について、以前と比べての変化についてたずねたところ、「よくなった」との回答が多かったのは「ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化」、「バスの便などの地域交通」、「公園の管理、整備」等となっています。一方、「悪くなった」との回答が特に多かったのは、「商店街の振興」でした。

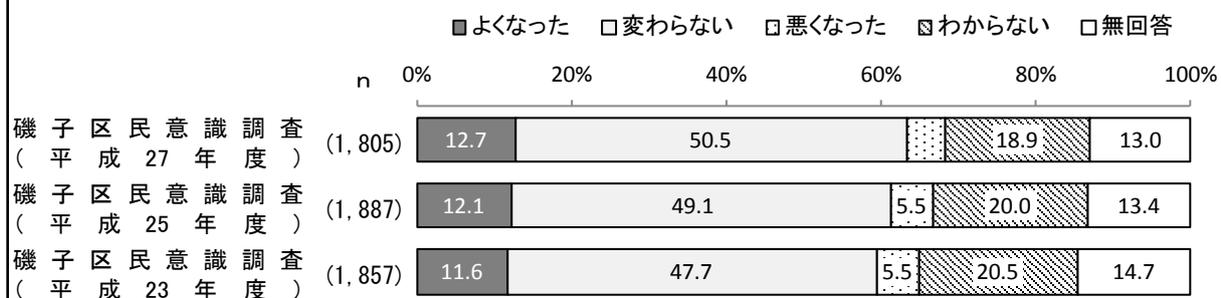
図 51 生活環境に対する満足度の以前との比較



### 《過去の「磯子区民意識調査」との比較》

お住まい周辺の生活環境の総合的な評価について、以前からの変化を過去の「磯子区民意識調査」と比較すると、平成23年度、25年度の調査結果と概ね同様の結果となっています。

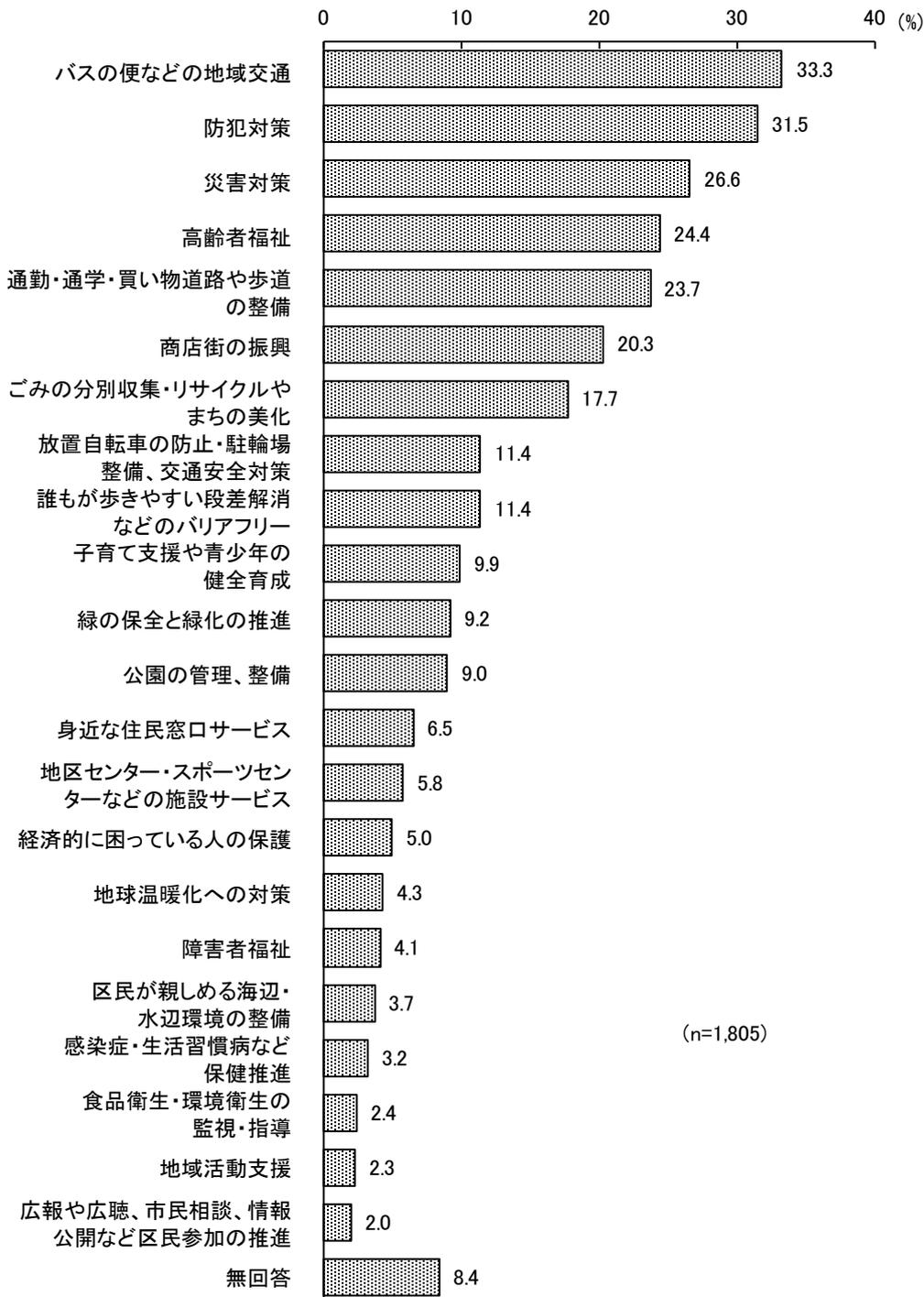
【参考】お住まいの周辺の生活環境の総合的な評価についての「磯子区民意識調査」(平成23年度、25年度)との比較



(3) 住まいの周辺の環境にとって特に重要度が高いもの

住まいの周辺の環境にとって、特に重要度が高いと考えるものについてたずねたところ、「バスの便などの地域交通」が33.3%と最も高く、次いで「防犯対策」が31.5%、「災害対策」が26.6%となっています。

問 11 上記ア～ニの質問項目のうち、あなたのお住まいの周辺の環境にとって、特に重要度が高いとお考えの項目を3つまでお選びください。(図 52)



《「磯子区民意識調査」(平成23、平成25年度)との比較》

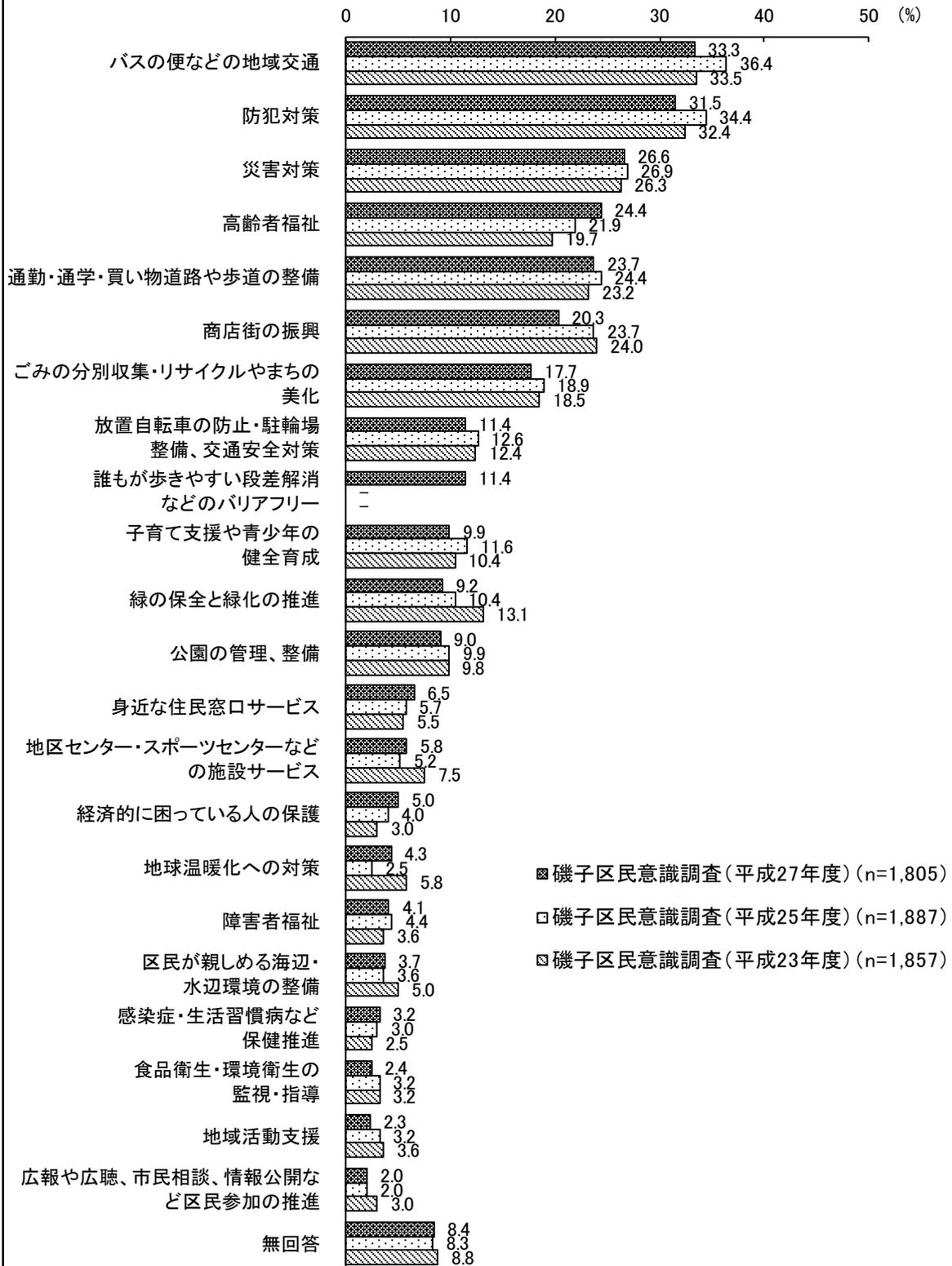
過去の「磯子区民意識調査」と比較すると、1～3位は同様の順位となっていますが、平成27年度は「高齢者福祉」が24.4%で4位と、平成23年度、25年度から割合が高くなっています。

反対に、「商店街の振興」、「緑の保全と緑化の推進」については、平成23年度、25年度から割合が低くなっています。

【参考】「磯子区民意識調査」(平成23年度、25年度)《割合の高かった上位5項目》

	1位		2位		3位		4位		5位	
	項目名	割合	項目名	割合	項目名	割合	項目名	割合	項目名	割合
磯子区民意識調査 (平成27年度)(n=1,805)	バスの便 などの地 域交通	33.3	防犯対策	31.5	災害対策	26.6	高齢者福 祉	24.4	通勤・通 学・買い物 道路や歩 道の整備	23.7
磯子区民意識調査 (平成25年度)(n=1,887)	バスの便 などの地 域交通	36.4	防犯対策	34.4	災害対策	26.9	通勤・通 学・買い物 道路や歩 道の整備	24.4	商店街の 振興	23.7
磯子区民意識調査 (平成23年度)(n=1,857)	バスの便 などの地 域交通	33.5	防犯対策	32.4	災害対策	26.3	商店街の 振興	24.0	通勤・通 学・買い物 道路や歩 道の整備	23.2

【参考】「磯子区民意識調査」(平成23年度、25年度)との比較



※『誰もが歩きやすい段差解消などのバリアフリー』は平成27年度から追加

《居住地域別にみた、住まいの周辺の環境にとって特に重要度が高いもの》

住まいの周辺の環境にとって、特に重要度が高いものについて居住地域別にみると、滝頭、岡村、汐見台、上笹下では「バスの便などの地域交通」、根岸では「防犯対策」、「災害対策」、「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」が同じ割合で、磯子、屏風ヶ浦、杉田、洋光台では「防犯対策」が最も割合が高い項目となっています。

また、「高齢者福祉」、「商店街の振興」、「放置自転車の防止・駐輪場整備、交通安全対策」、「公園の管理、整備」等の項目では、地域によって差がみられます。

表 13 居住地域別にみた「住まいの周辺の環境にとって、特に重要度が高いもの」

	バスの便などの地域交通	防犯対策	災害対策	高齢者福祉	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備	商店街の振興	ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化	放置自転車の防止・駐輪場整備、交通安全対策	誰もが歩きやすい段差解消などのバリアフリー	子育て支援や青少年の健全育成	緑の保全と緑化の推進	公園の管理、整備
(%)												
全体 (n=1,805)	33.3	31.5	26.6	24.4	23.7	20.3	17.7	11.4	11.4	9.9	9.2	9.0
根岸 (n= 95)	32.6	33.7	33.7	17.9	33.7	17.9	16.8	24.2	11.6	8.4	10.5	9.5
滝頭 (n= 203)	38.4	22.7	20.2	24.6	25.6	18.2	21.2	12.3	8.9	6.9	7.4	7.9
岡村 (n= 90)	38.9	36.7	26.7	15.6	27.8	14.4	20.0	8.9	11.1	7.8	8.9	8.9
磯子 (n= 370)	31.6	32.2	31.1	21.6	25.7	21.1	17.6	11.1	7.8	8.1	11.6	7.3
汐見台 (n= 81)	40.7	29.6	24.7	18.5	17.3	30.9	8.6	0.0	17.3	18.5	14.8	24.7
屏風ヶ浦 (n= 264)	27.7	29.5	28.8	27.7	23.1	17.4	18.9	10.2	14.4	12.1	8.7	6.8
杉田 (n= 250)	29.6	32.8	26.4	19.6	29.2	22.0	12.8	12.8	10.8	14.0	7.2	7.2
上笹下 (n= 173)	45.1	34.7	27.7	33.5	19.1	15.0	19.7	10.4	13.9	6.9	6.4	6.9
洋光台 (n= 260)	29.2	33.5	21.5	29.6	16.2	25.8	20.4	11.5	13.1	9.6	9.2	12.3
	身近な住民窓口サービス	地区センター・スポーツセンターなどの施設サービス	経済的に困っている人の保護	地球温暖化への対策	障害者福祉	区民が親しめる海辺・水辺環境の整備	感染症・生活習慣病など保健推進	食品衛生・環境衛生の監視・指導	地域活動支援	広報や広聴、市民相談、情報公開など区民参加の推進	無回答	
全体 (n=1,805)	6.5	5.8	5.0	4.3	4.1	3.7	3.2	2.4	2.3	2.0	8.4	
根岸 (n= 95)	4.2	2.1	1.1	8.4	4.2	4.2	3.2	1.1	0.0	2.1	5.3	
滝頭 (n= 203)	5.4	7.4	5.9	5.9	3.9	4.9	3.4	3.9	2.5	2.0	10.3	
岡村 (n= 90)	8.9	4.4	4.4	8.9	3.3	2.2	4.4	3.3	3.3	1.1	6.7	
磯子 (n= 370)	4.6	6.2	5.7	2.7	3.2	3.2	3.2	2.7	1.9	2.4	9.5	
汐見台 (n= 81)	6.2	4.9	2.5	3.7	6.2	1.2	1.2	0.0	1.2	2.5	7.4	
屏風ヶ浦 (n= 264)	8.7	5.3	6.8	1.9	5.7	6.1	2.3	2.3	2.3	0.8	8.7	
杉田 (n= 250)	7.2	4.8	4.0	4.8	4.8	4.8	4.0	4.4	2.4	2.8	8.4	
上笹下 (n= 173)	5.2	5.8	3.5	4.0	2.9	1.7	1.7	1.2	3.5	1.7	7.5	
洋光台 (n= 260)	8.1	7.7	6.2	4.2	3.5	2.7	3.8	1.2	2.7	2.3	6.2	

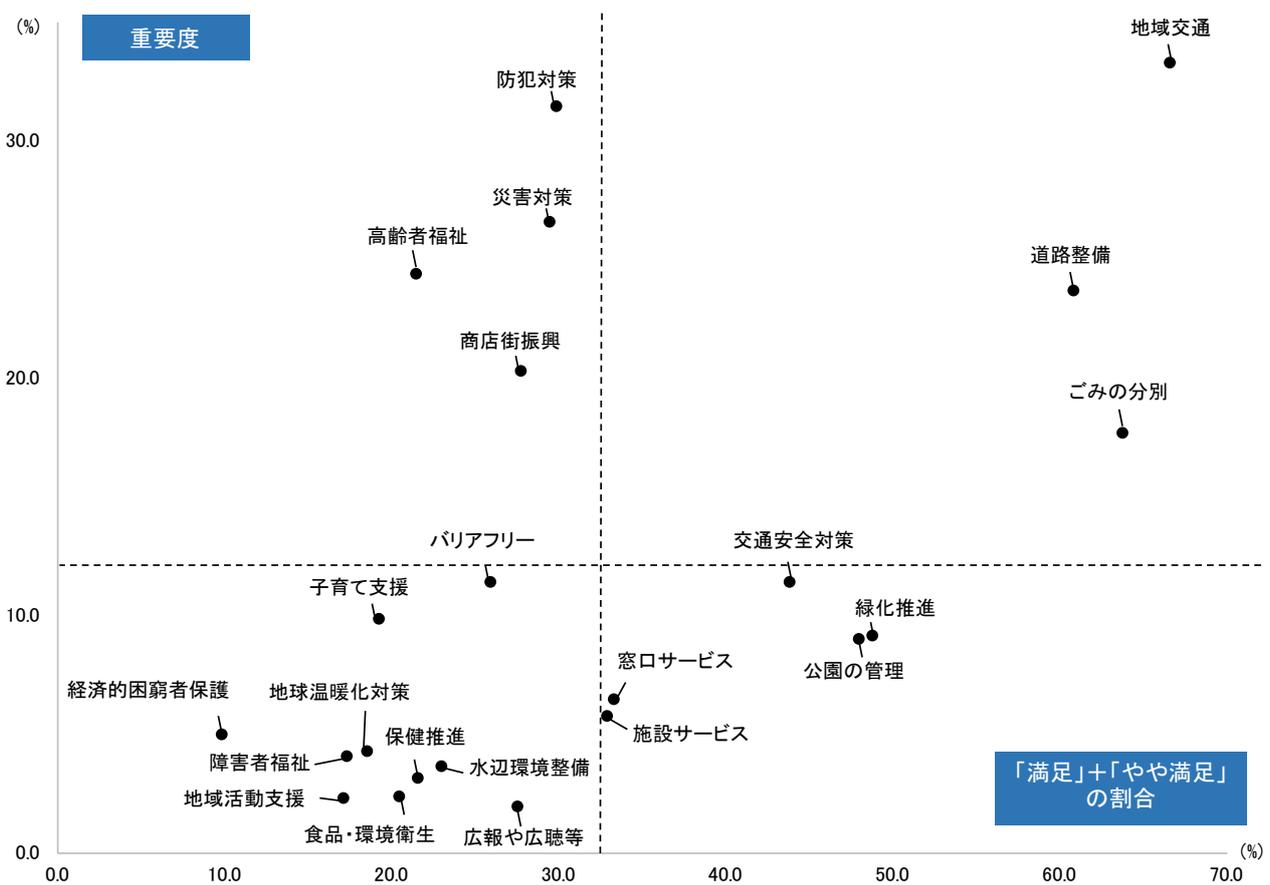
※網掛けは、他の地域と比べて顕著な特徴がみられる項目

### 《重要度と満足度の関係》

住まいの周辺の環境にとって、特に重要度が高いと考えるものとしての回答割合（縦軸）と、問 10 における「満足」＋「やや満足」の割合（横軸）の関係についてみると、「バスの便などの地域交通」（地域交通）、「ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化」（ごみの分別）、「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」（道路整備）は重要度、「満足」＋「やや満足」の割合がともに高い位置にあります。一方で「防犯対策」、「災害対策」、「商店街の振興」（商店街振興）、「高齢者福祉」といった項目は、問 10 における「満足」と「やや満足」の合計は 2～3 割程度となっており、項目全体からみて割合があまり高くないところに位置しています。

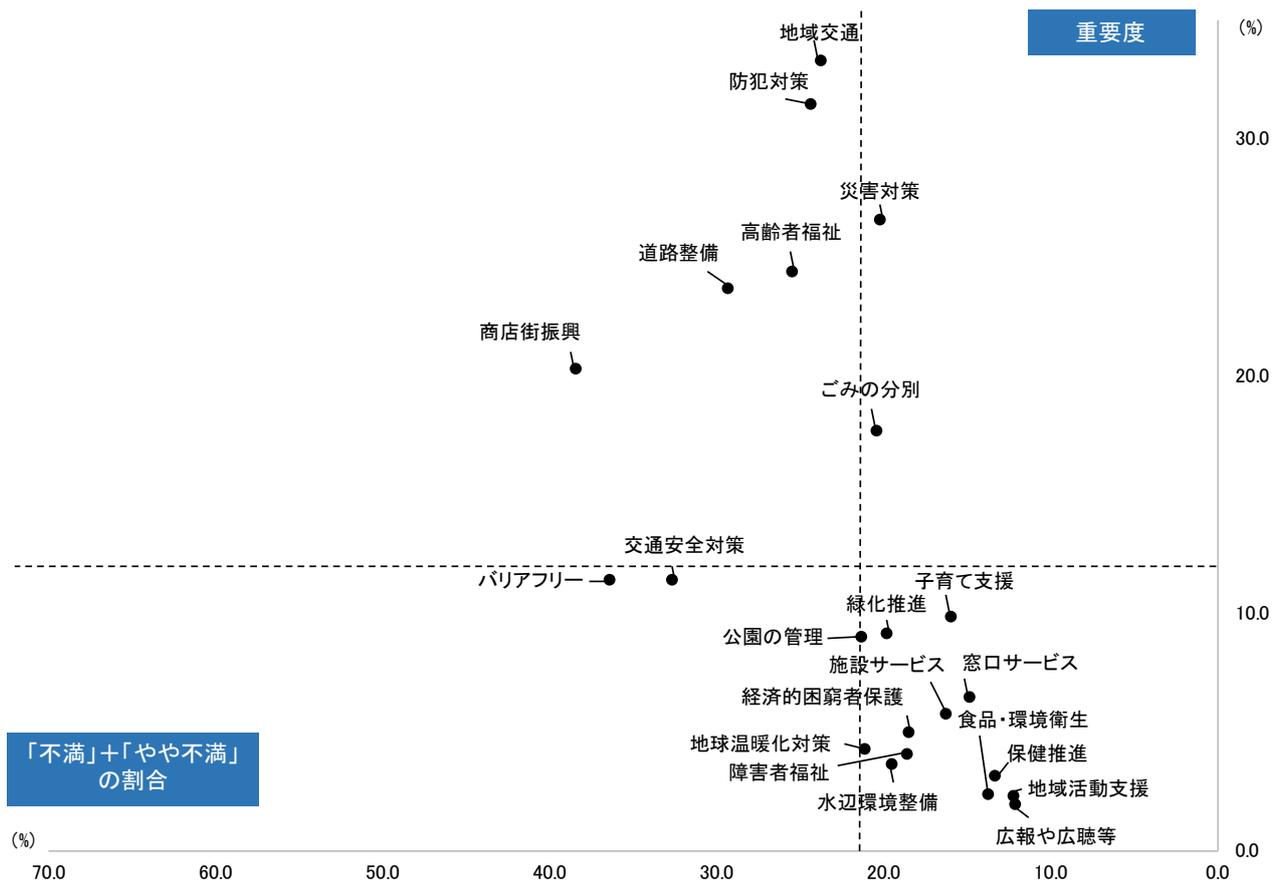
また、特に重要度が高いと考えるものとしての回答割合（縦軸）と、問 10 における「不満」＋「やや不満」の割合（横軸）の関係についてみると、「バスの便などの地域交通」（地域交通）、「防犯対策」、「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」（道路整備）、「商店街の振興」（商店街振興）、「高齢者福祉」等の項目は重要度が高い位置にありますが、「不満」＋「やや不満」の割合が高くなっています。

図 53 住まいの周辺環境における重要度と「満足」＋「やや満足」の割合



※図中の点線は、各項目についての「住まいの周辺環境に関し、特に重要度が高いと考えるもの」としての回答割合、及び「満足」＋「やや満足」の平均値を意味しています。

図 54 住まいの周辺環境における重要度と「不満」＋「やや不満」の割合

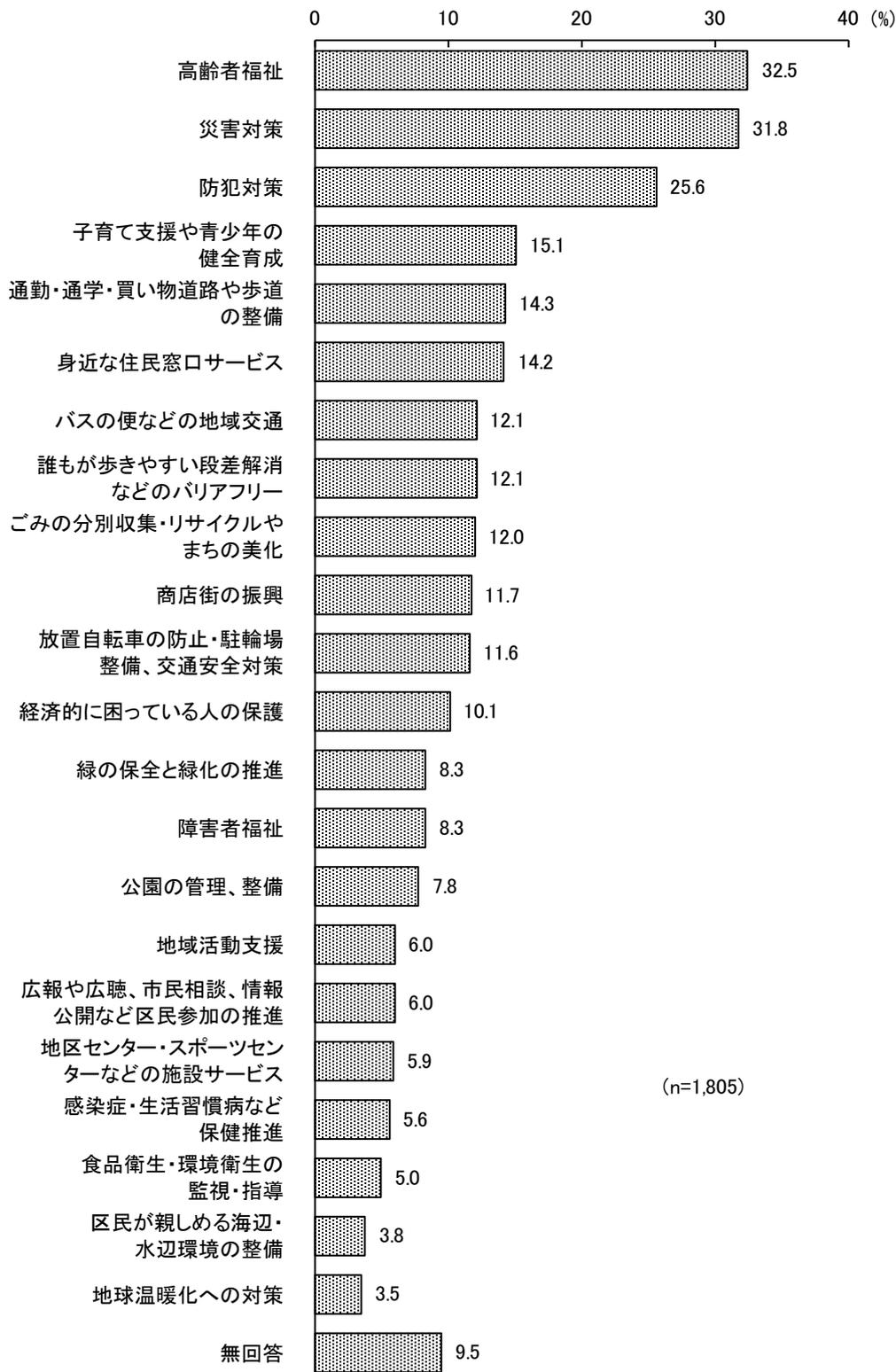


※図中の点線は、各項目についての「住まいの周辺の環境に関し、特に重要度が高いと考えるもの」としての回答割合、及び「不満」＋「やや不満」の平均値を意味しています。

(4) 磯子区役所が取り組むべき課題として重要度が高いもの

問 11 と同様の項目について、磯子区役所が取り組むべき課題として重要度が高いと考えるものについてたずねたところ、「高齢者福祉」が 32.5%と最も高く、次いで「災害対策」が 31.8%、「防犯対策」が 25.6%となっています。この3つの項目については、他と比べて特に多くの回答が集まっていることがわかります。

問 12 上記ア～ニの質問項目のうち、磯子区役所が取り組むべき課題として、重要度が高いとお考えの項目を3つまでお選びください。(図 55)



《「磯子区民意識調査」(平成23年度、25年度)との比較》

過去の「磯子区民意識調査」と比較すると、1～3位は順位に変動はありますが、項目としては「高齢者福祉」、「災害対策」、「防犯対策」が入っています。

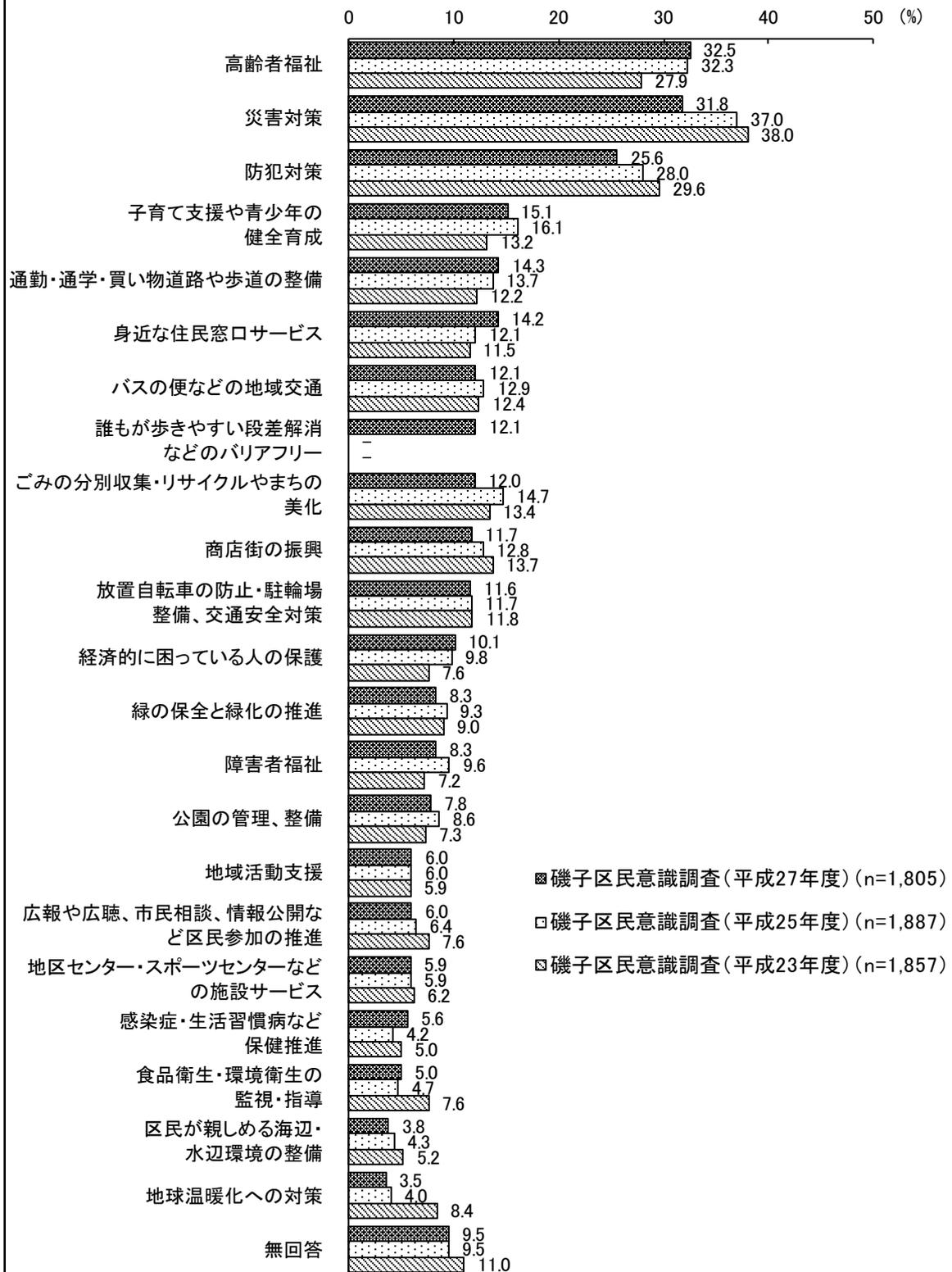
また、「高齢者福祉」、「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」、「身近な住民窓口サービス」等については、平成23年度、25年度から割合が高くなっています。

反対に、「災害対策」、「防犯対策」、「商店街の振興」等については、平成23年度、25年度から割合が低くなっています。

【参考】「磯子区民意識調査」(平成23年度、25年度)《割合の高かった上位5項目》

	1位		2位		3位		4位		5位	
	項目名	割合	項目名	割合	項目名	割合	項目名	割合	項目名	割合
磯子区民意識調査 (平成27年度)(n=1,805)	高齢者福祉	32.5	災害対策	31.8	防犯対策	25.6	子育て支援や青少年の健全育成	15.1	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備	14.3
磯子区民意識調査 (平成25年度)(n=1,887)	災害対策	37.0	高齢者福祉	32.3	防犯対策	28.0	子育て支援や青少年の健全育成	16.1	ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化	14.7
磯子区民意識調査 (平成23年度)(n=1,857)	災害対策	38.0	防犯対策	29.6	高齢者福祉	27.9	商店街の振興	13.7	ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化	13.4

【参考】「磯子区民意識調査」(平成23年度、25年度)との比較



※『誰もが歩きやすい段差解消などのバリアフリー』は平成27年度から追加

《居住地域別にみた、磯子区役所が取り組むべき課題として重要度が高いもの》

磯子区役所が取り組むべき課題として重要度が高いものについて居住地域別にみると、根岸、滝頭、岡村、磯子、汐見台、杉田では「災害対策」、屏風ヶ浦、上笹下、洋光台では「高齢者福祉」が最も高くなっています。

また、「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」、「緑の保全と緑化の推進」、「公園の管理、整備」等の項目では地域によって顕著な差がみられ、特に「子育て支援や青少年の健全育成」については、汐見台では27.2%と割合が高くなっています。

表 14 居住地域別にみた「磯子区役所が取り組むべき課題として重要度が高いもの」

(%)	高齢者福祉	災害対策	防犯対策	子育て支援や青少年の健全育成	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備	身近な住民窓口サービス	バスの便などの地域交通	誰もが歩きやすい段差解消などのバリアフリー	ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化	商店街の振興	放置自転車の防止・駐輪場整備、交通安全対策	経済的に困っている人の保護
全体 (n=1,805)	32.5	31.8	25.6	15.1	14.3	14.2	12.1	12.1	12.0	11.7	11.6	10.1
根岸 (n= 95)	25.3	35.8	30.5	10.5	21.1	15.8	6.3	18.9	9.5	13.7	17.9	4.2
滝頭 (n= 203)	30.5	31.0	18.7	14.3	17.7	11.8	18.2	9.9	11.8	9.4	10.3	10.8
岡村 (n= 90)	23.3	27.8	23.3	11.1	15.6	13.3	14.4	11.1	14.4	12.2	14.4	10.0
磯子 (n= 370)	31.4	32.2	24.1	14.3	14.9	16.2	10.5	11.6	11.1	11.9	11.9	9.2
汐見台 (n= 81)	25.9	33.3	23.5	27.2	12.3	9.9	14.8	16.0	13.6	17.3	1.2	6.2
屏風ヶ浦 (n= 264)	35.2	32.6	30.7	14.4	14.0	14.0	8.3	12.5	12.1	11.7	11.7	12.9
杉田 (n= 250)	30.8	34.0	25.6	18.0	18.0	12.0	12.4	10.8	13.2	13.6	12.8	8.4
上笹下 (n= 173)	43.9	34.7	23.1	15.0	12.7	14.5	16.2	11.6	14.5	6.9	11.6	10.4
洋光台 (n= 260)	35.0	28.1	27.7	15.0	7.3	16.9	10.8	12.7	10.0	11.9	11.9	13.1
	緑の保全と緑化の推進	障害者福祉	公園の管理、整備	地域活動支援	広報や広聴、市民相談、情報公開など区民参加の推進	地区センター・スポーツセンターなどの施設サービス	感染症・生活習慣病など保健推進	食品衛生・環境衛生の監視・指導	区民が親しめる海辺・水辺環境の整備	地球温暖化への対策	無回答	
全体 (n=1,805)	8.3	8.3	7.8	6.0	6.0	5.9	5.6	5.0	3.8	3.5	9.5	
根岸 (n= 95)	13.7	6.3	12.6	5.3	3.2	3.2	4.2	6.3	3.2	5.3	6.3	
滝頭 (n= 203)	7.4	6.9	5.4	3.9	4.9	6.9	6.4	5.9	5.4	2.0	12.3	
岡村 (n= 90)	4.4	11.1	6.7	8.9	8.9	7.8	7.8	7.8	4.4	6.7	8.9	
磯子 (n= 370)	8.9	8.6	7.0	4.6	6.8	5.1	7.6	4.6	4.3	3.2	9.7	
汐見台 (n= 81)	17.3	3.7	17.3	4.9	8.6	7.4	4.9	2.5	2.5	3.7	7.4	
屏風ヶ浦 (n= 264)	7.2	8.0	7.6	6.8	5.3	5.7	3.0	4.2	6.1	1.9	9.5	
杉田 (n= 250)	8.8	8.0	4.4	6.0	5.2	3.2	5.6	4.0	3.6	5.2	10.0	
上笹下 (n= 173)	4.0	11.0	6.9	7.5	4.6	5.2	4.6	2.9	1.2	2.9	9.2	
洋光台 (n= 260)	7.3	9.2	10.4	6.9	7.7	9.2	5.4	7.3	1.9	3.8	7.3	

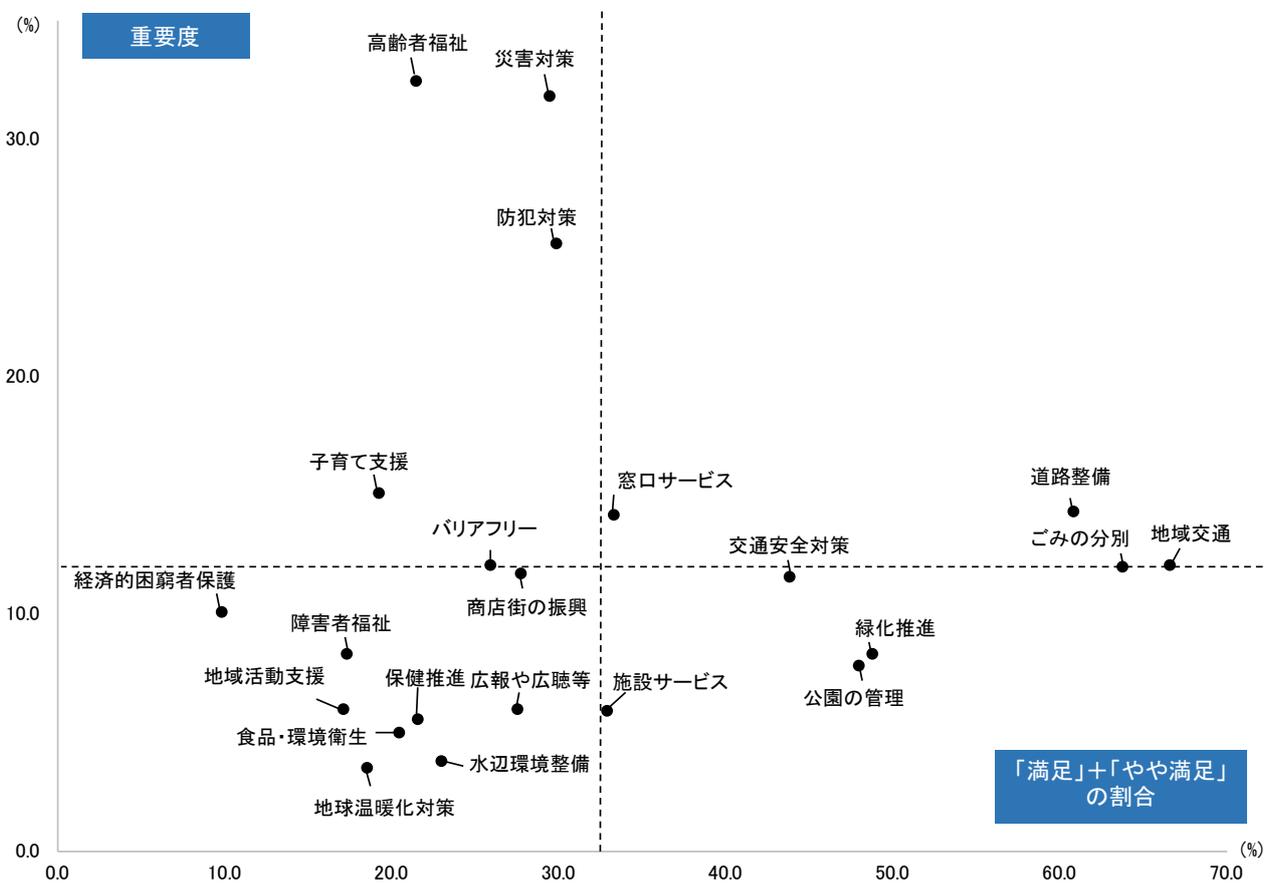
※網掛けは、他の地域と比べて顕著な特徴がみられる項目

### 《重要度と満足度の関係》

磯子区役所が取り組むべき課題として重要度が高いと考えるものとしての回答割合（縦軸）と、問 10 における「満足」＋「やや満足」の割合（横軸）の関係についてみると、「高齢者福祉」、「災害対策」、「防犯対策」は区が取り組むべき課題としての重要度が他の項目と比べて高くなっていますが、問 10 における「満足」と「やや満足」の合計は 2 割から 3 割程度となっており、項目全体からみてあまり割合（満足度）の低い位置にあります。

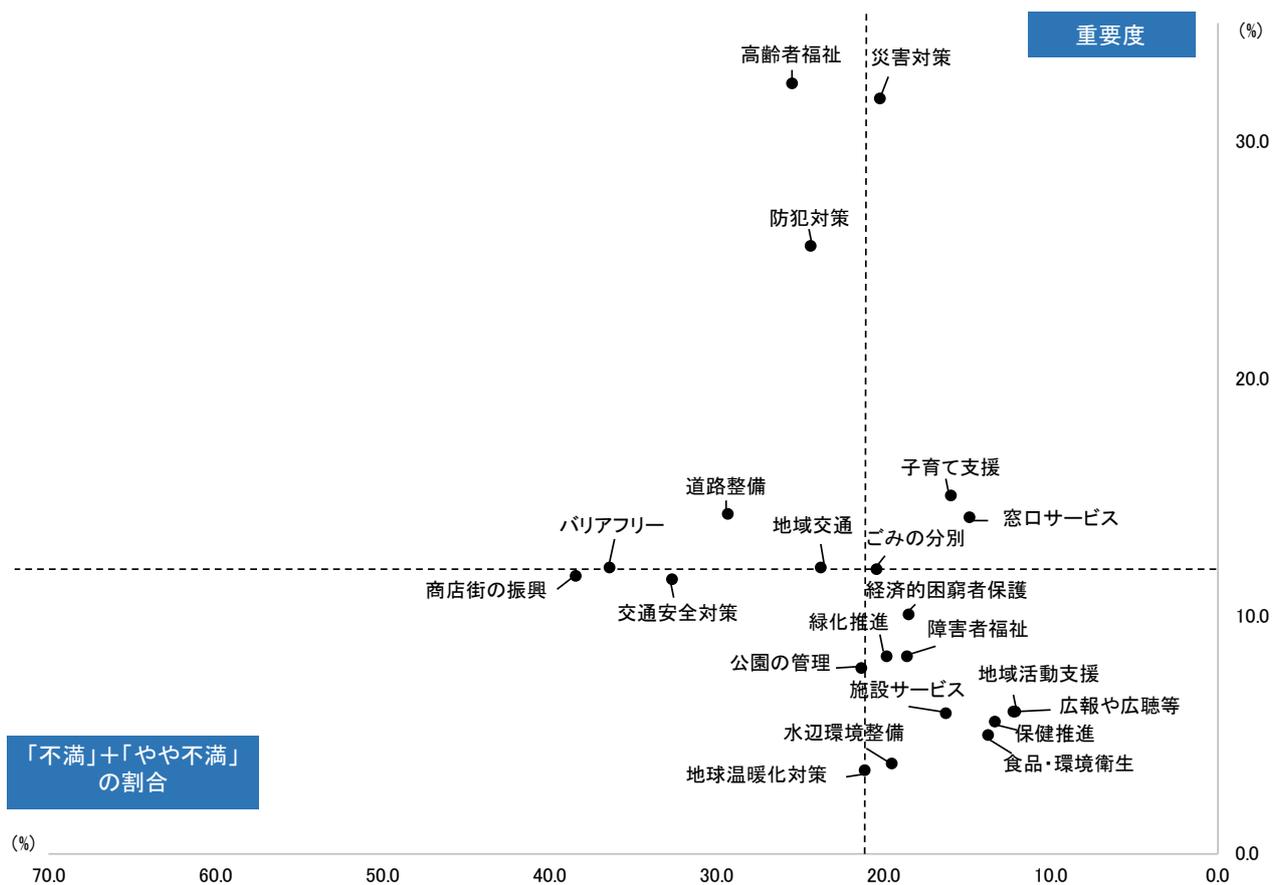
一方、磯子区が取り組むべき課題として重要度が高いと考えるものとしての回答割合（縦軸）と、問 10 における「不満」＋「やや不満」の割合（横軸）との関係についてみると、「高齢者福祉」、「災害対策」、「防犯対策」は区が取り組むべき課題としての重要度が高くなっていますが、一方で「不満」＋「やや不満」の割合が比較的高いところに位置しています。

図 56 磯子区役所が取り組むべき課題としての重要度と「満足」＋「やや満足」の割合



※図中の点線は、各項目についての「磯子区役所が取り組むべき課題として重要度が高いと考えるもの」としての回答割合、及び「満足」＋「やや満足」の平均値を意味しています。

図 57 磯子区役所が取り組むべき課題としての重要度と「不満」＋「やや不満」の割合



※図中の点線は、各項目についての「磯子区役所が取り組むべき課題として重要度が高いと考えるもの」としての回答割合、及び「不満」＋「やや不満」の平均値を意味しています。

(5) まちの魅力やお住まいの理由、解決したいまちの課題、提案

磯子のまちづくりについて、まちの魅力やお住まいの理由、解決したいまちの課題、提案について自由記述形式でたずねたところ、530件の有効回答がありました。自由意見の主な内容を「横浜市の広聴情報データベースシステムで使用する内容分類表」に従って整理すると、意見の多かった項目としては、「交通・道路」が286件で最も多く、次いで「経済・産業」が95件、「防犯・防災・消防」が81件、「都市整備・開発と住宅」が80件などとなっています。

問13 磯子のまちづくりについて、まちの魅力やお住まいの理由、また解決したいまちの課題、ご提案などがございましたら、ご自由にお書きください

表15 自由意見の主な内容【自由記述】

内容(分類別)	件数	内容(分類別)	件数	内容(分類別)	件数
交通・道路	286	福祉	40	市民活動	21
道路	143	高齢者福祉	23	自治会・町内会	14
バス	40	障害者福祉	10	市民活動・生涯学習	7
交通安全対策	35	バリアフリーの推進	3	観光・シティセールス	15
駐車・駐輪	33	生活保護・援護対策	2	シティセールス	13
鉄道	21	福祉相談体制	2	観光	2
総合交通対策	14	ごみ・リサイクル	33	広報・広聴・市民相談・情報公開	4
経済・産業	95	まちの美化	18	情報公開	3
産業振興	93	ごみ収集	13	広報・広聴・市民相談	1
労働・雇用	2	ごみ処理	2	選挙	4
防犯・防災・消防	81	港湾・河川	27	選挙	4
防犯	41	河川	14	戸籍・税金・保険・年金	2
防災・消防	40	港湾	12	戸籍・登録	2
都市整備・開発と住宅	80	水域管理	1	文化・スポーツ	2
土地利用	65	子育て	26	文化	2
公的住宅	6	子育て支援	8	職員(教職員を除く)	2
宅地造成・開発許可	4	保育園	7	市民対応	2
都市景観	3	子育て助成・給付	4	上下水道	1
住宅相談・助成	2	児童相談・保護	3	下水道	1
市民利用施設	75	幼稚園	2	その他	51
公園	31	放課後児童育成	2		
スポーツ施設	12	教育	26		
図書館	7	教育内容	16		
市・区庁舎	7	通学	9		
コミュニティハウス	5	学校施設	1		
公会堂・地区センター	4	保健・衛生・医療	23		
文化施設	4	医療	9		
その他の市民利用施設	5	衛生	8		
公害・環境保全・緑	55	保健	6		
緑地保全・緑化推進	26	都市経営・運営	23		
環境汚染	12	計画・調査	17		
野生動物対策	8	行政改革・組織	4		
騒音振動	5	財政	2		
環境保全対策	4				

※1つの回答の中で複数の項目について記述されている場合は、それぞれの項目について1件と数えているため、各項目の件数の合計は回答者数には一致しません。

## 5 商店街について

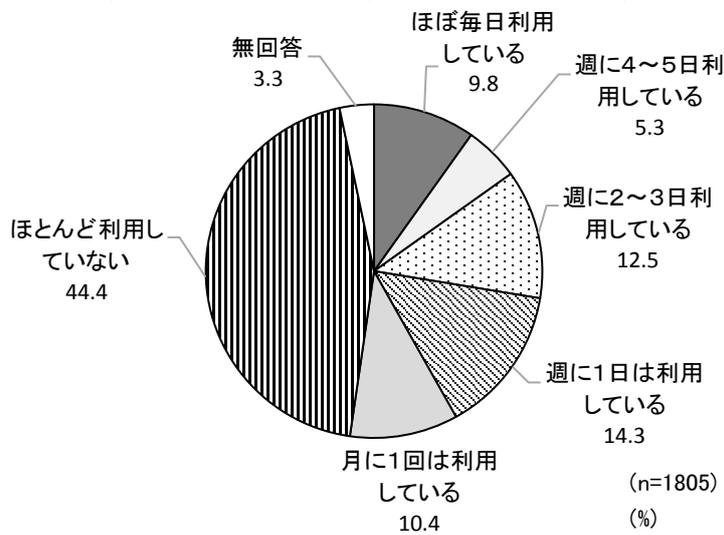
### (1) 地元の商店街の利用頻度

地元の商店街の利用頻度についてたずねたところ、「ほとんど利用していない」が 44.4%となっています。利用している方では、「週に1日は利用している」が 14.3%と最も高く、次いで「週に2～3日利用している」が 12.5%、「月に1回は利用している」が 10.4%でした。

#### 【商店街を利用する主な理由】

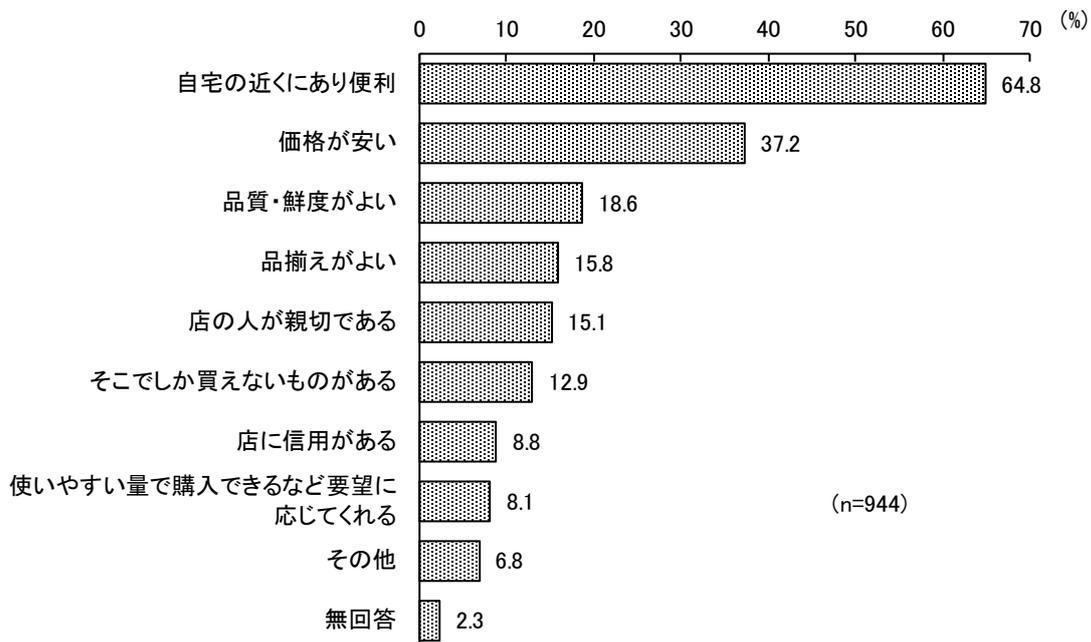
商店街を月に1回以上利用している方に対し、商店街を利用する主な理由についてたずねたところ、「自宅の近くにあり便利」が 64.8%と最も高く、次いで「価格が安い」が 37.2%でした。

問 14 あなたは、地元の商店街をどのくらい利用していますか。(○は1つ) (スーパーや百貨店などの大型店は除く) (図 58)



(問 14 で「1」～「5」と答えた方にお伺いします。)

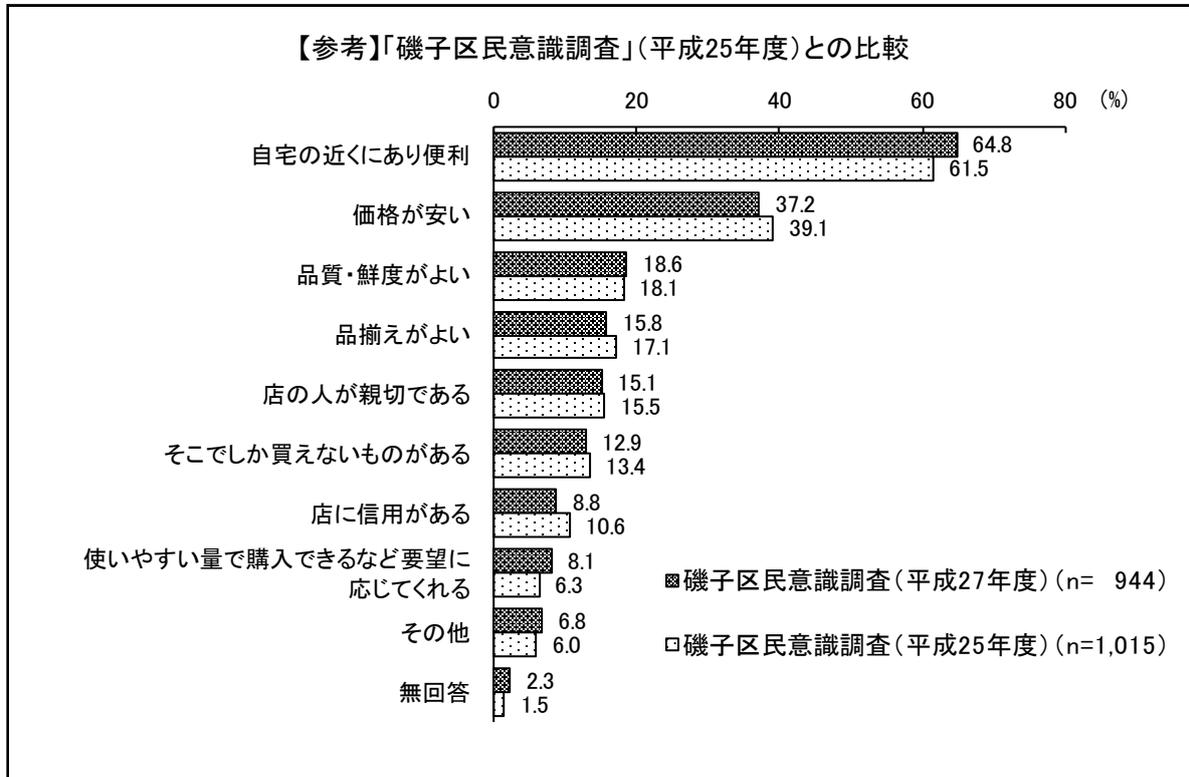
問 14-1 商店街を利用する主な理由は何ですか。(○はいくつでも) (図 59)



※問 14-1 については、問 14 における「ほとんど利用していない」・「無回答」以外の方を対象とした設問となっています。

### 《過去の「磯子区民意識調査」との比較》

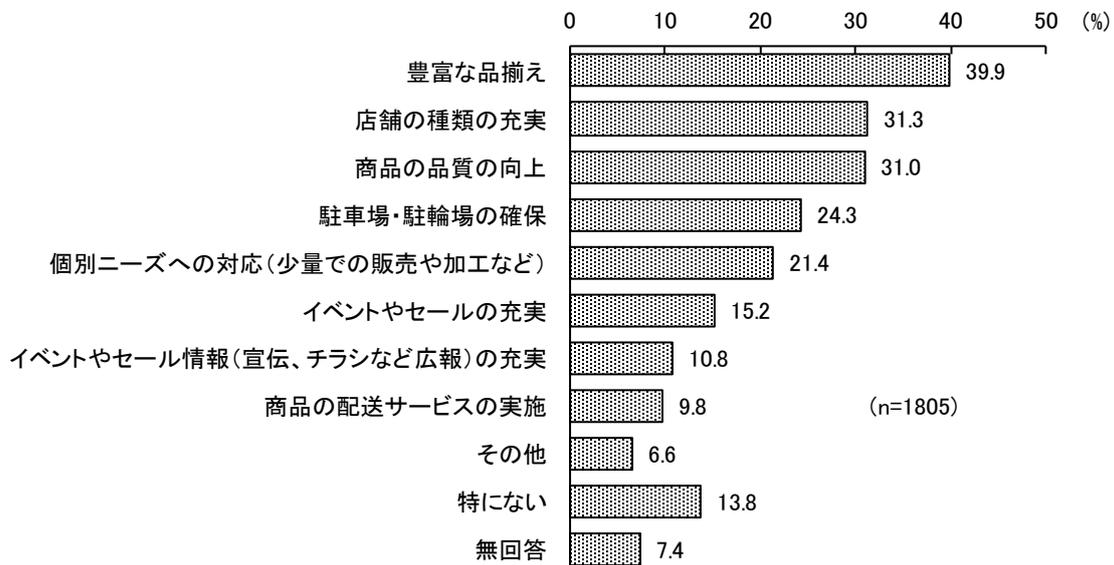
「商店街を利用する主な理由」について、以前からの変化を過去の「磯子区民意識調査」と比較すると、「自宅の近くにあり便利」、「使いやすい量で購入できるなど要望に応じてくれる」等で割合が高くなっており、「価格が安い」、「店に信用がある」等で低くなっています。



(2) 商店街に対して希望すること

商店街に対して希望することについてたずねたところ、最も多かったのは「豊富な品揃え」で39.9%、次いで「店舗の種類の充実」が31.3%、「商品の品質の向上」が31.0%でした。

問 15 あなたが、商店街に対して希望することは、どのようなことですか。(〇はいくつでも) (図 60)

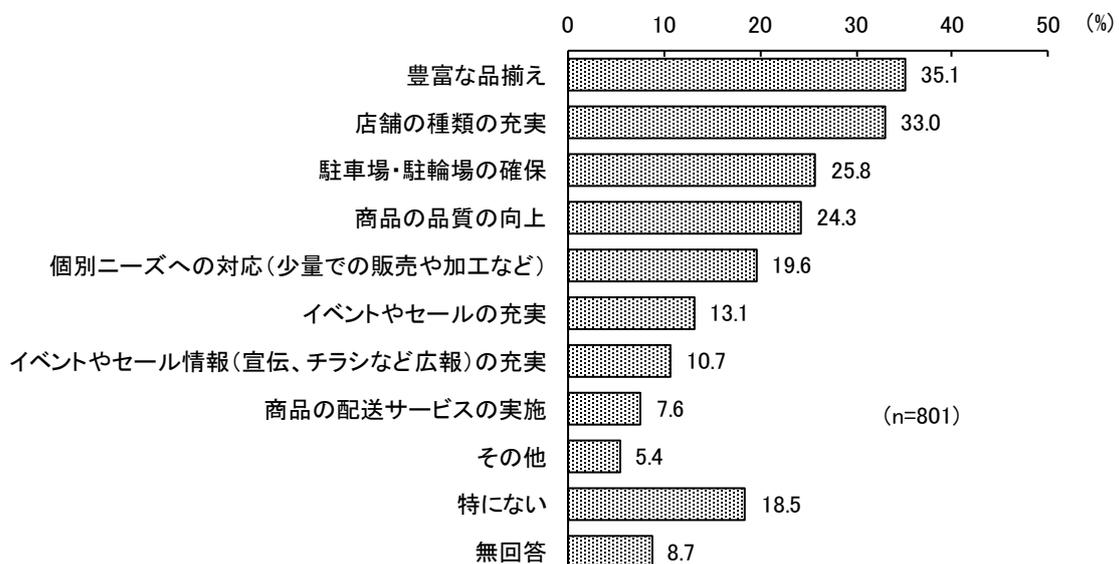


《商店街をほとんど利用していない方の、商店街に対して希望すること》

問 14 で地元の商店街を「ほとんど利用していない」と回答した方の、商店街に対して希望することをみると、最も多かったのは「豊富な品揃え」で35.1%、次いで「店舗の種類の充実」が33.0%、「駐車場・駐輪場の確保」が25.8%となっています。

割合の高い順に項目を並べると、項目の順位は回答者全体についてみた場合とほぼ同じ結果になっていますが、「商品の品質の向上」よりも「駐車場・駐輪場の確保」のほうが割合が高くなっています。

図 61 「商店街を利用していない方」の商店街に対して希望すること



## 6 災害対策について

### (1) 大地震が起きたときに特に心配なこと

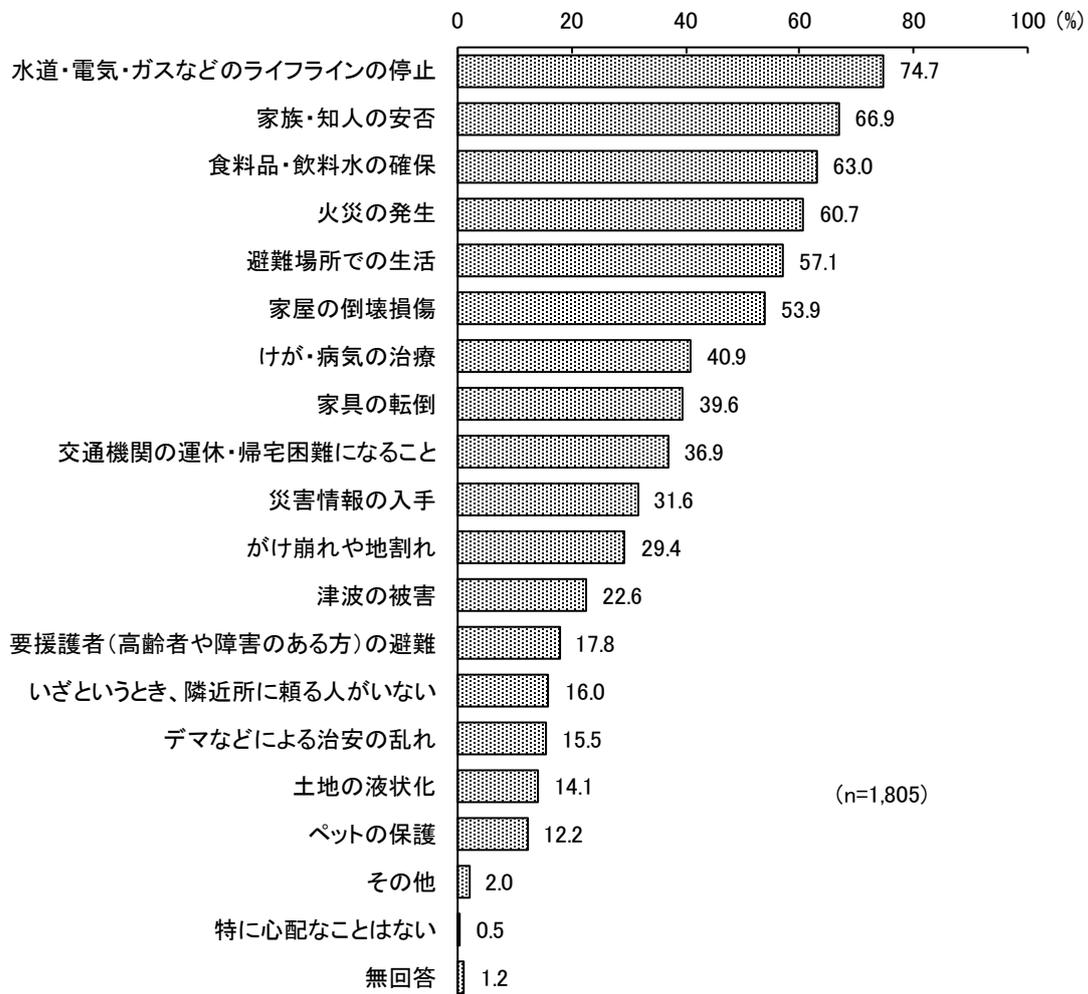
大地震が起きたときに特に心配なことについてたずねたところ、最も多かったのは「水道・電気・ガスなどのライフラインの停止」で74.7%、次いで「家族・知人の安否」が66.9%、「食料品・飲料水の確保」が63.0%となっています。

#### 《過去の「磯子区民意識調査」との比較》

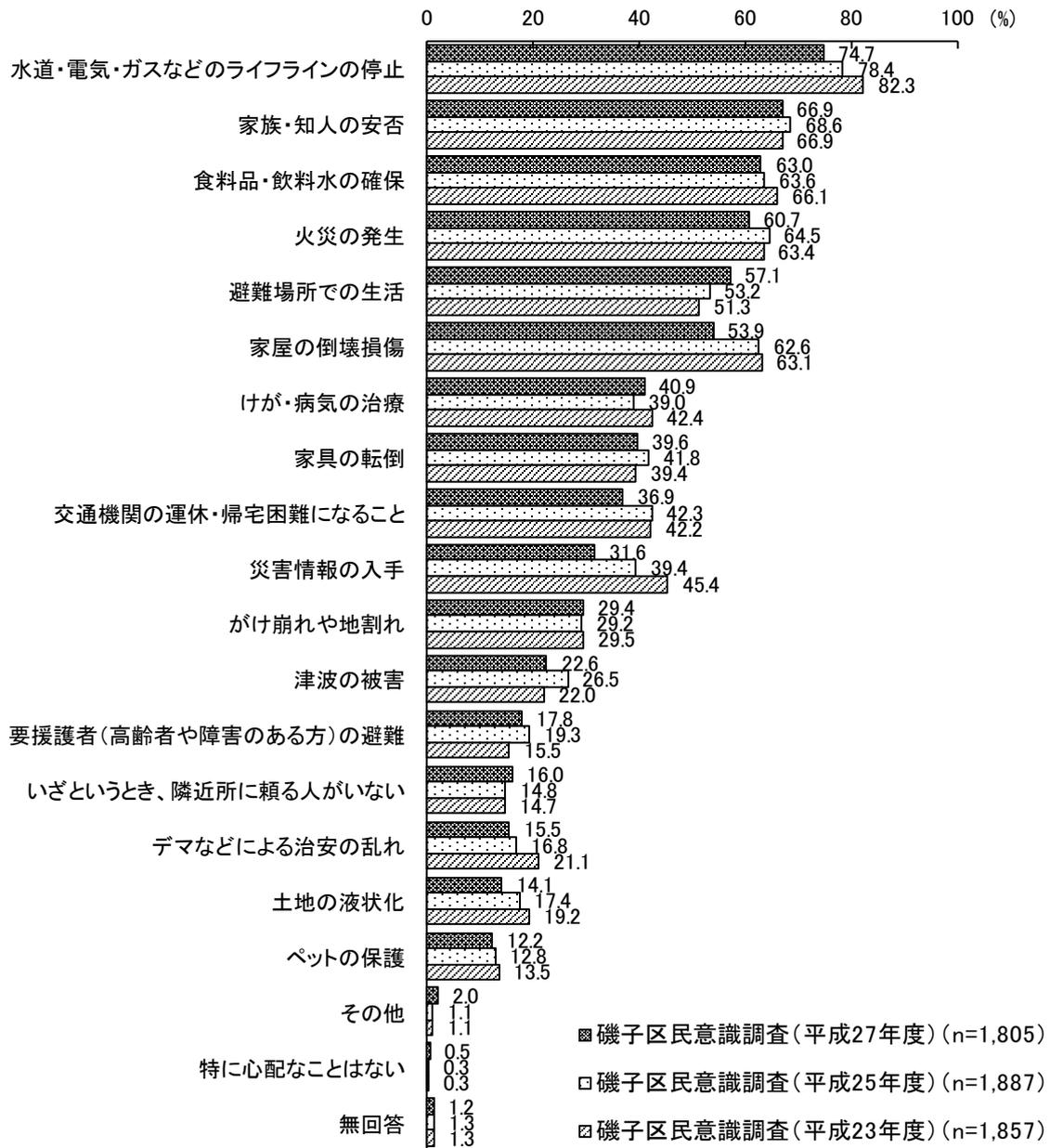
「磯子区民意識調査」（平成23年度、25年度）と比較すると、今回の調査では、「水道・電気・ガスなどのライフラインの停止」、「家屋の倒壊損傷」、「災害情報の入手」等で特に低くなっています。逆に「避難場所での生活」では、年々高くなっている傾向にあります。

問16 あなたやあなたの家族にとって、大地震が起きたときに特に心配なことをあげてください。

(○はいくつでも) (図62)



【参考】「磯子区民意識調査」(平成23年度、25年度)との比較



(2) 大地震に対しての準備

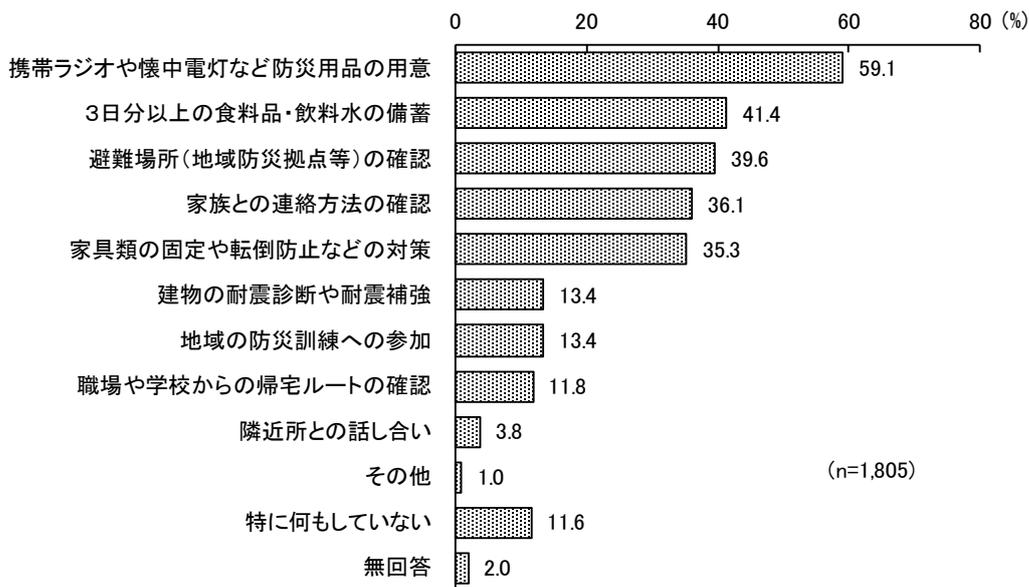
大地震に対しての準備についてたずねたところ、最も多かったのは「携帯ラジオや懐中電灯など防災用品の用意」で59.1%、次いで「3日分以上の食料品・飲料水の備蓄」が41.4%、「避難場所（地域防災拠点等）の確認」が39.6%となっています。なお、「特に何もしていない」と回答した方は11.6%でした。

《過去の「磯子区民意識調査」との比較》

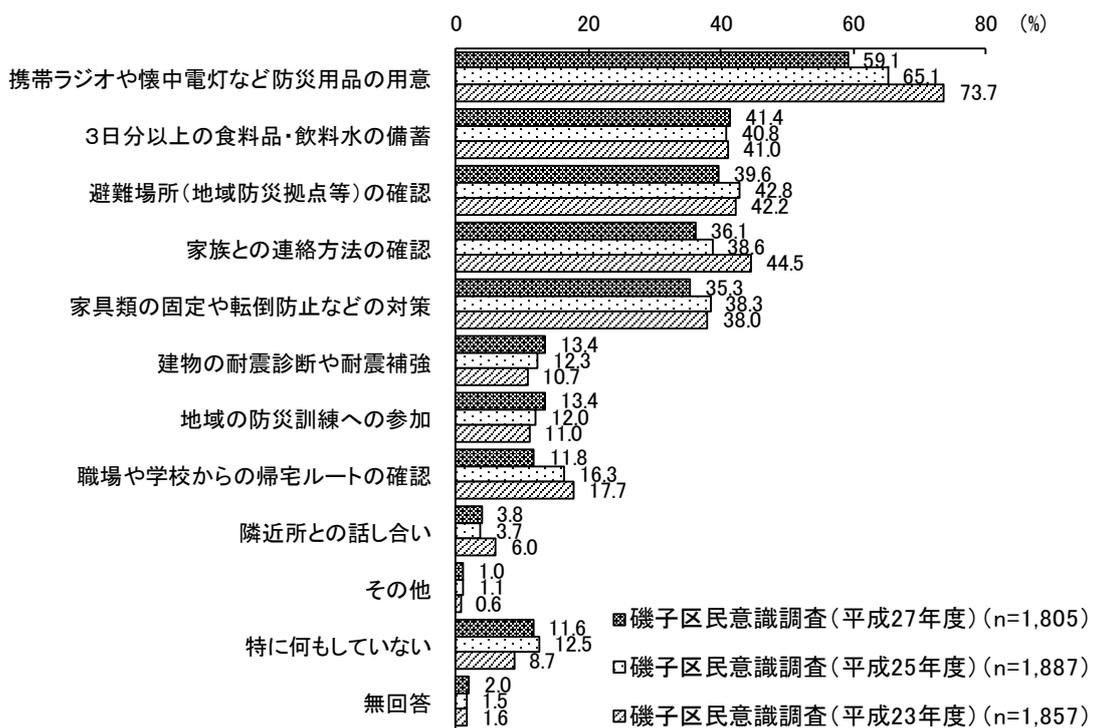
「磯子区民意識調査」（平成23年度、25年度）と比較すると、今回の調査では、「携帯ラジオや懐中電灯など防災用品の用意」、「家族との連絡方法の確認」等で、割合が低下しています。

問17 あなたの家庭では、大地震に対してどのような準備を行っていますか。(〇はいくつでも)

(図63)



【参考】「磯子区民意識調査」(平成23年度、25年度)との比較



### 《年代別にみた大地震に対する準備》

大地震に対する準備について年代別にみると、「携帯ラジオや懐中電灯など防災用品の用意」、「3日分以上の食料品・飲料水の備蓄」、「家具類の固定や転倒防止などの対策」、「地域の防災訓練への参加」といった項目では、概ね年代が高いほど割合が高くなる傾向が表れています。

なお、20～30代の若い年代では「特に何もしていない」が2割程度と、40代以上の年代と比べて割合が高くなっています。

表 16 年代別にみた大地震に対する準備

	携帯ラジオ や懐中電灯 など防災用品の用意 (%)	3日以上 の食料品・ 飲料水の備 蓄	避難場所 (地域防災 拠点等)の 確認	家族との連 絡方法の確 認	家具類の固 定や転倒防 止などの対 策	建物の耐震 診断や耐震 補強
全 体 (n=1,805)	59.1	41.4	39.6	36.1	35.3	13.4
20 代 (n= 139)	41.0	35.3	32.4	26.6	25.9	8.6
30 代 (n= 218)	46.8	30.7	42.2	34.4	30.3	15.6
40 代 (n= 284)	56.0	36.3	39.8	35.9	33.5	12.3
50 代 (n= 271)	50.6	39.9	41.7	39.9	37.6	16.6
60 代 (n= 371)	64.2	46.4	43.4	41.0	38.3	14.0
70歳以上 (n= 511)	71.6	47.7	36.6	34.1	37.8	12.1
	地域の防災 訓練への参 加	職場や学校 からの帰宅 ルートの確 認	隣近所との 話し合い	その他	特に何もし ていない	無回答
全 体 (n=1,805)	13.4	11.8	3.8	1.0	11.6	2.0
20 代 (n= 139)	2.2	12.2	0.0	0.7	20.9	0.7
30 代 (n= 218)	8.7	19.3	1.8	0.5	18.8	0.9
40 代 (n= 284)	8.8	26.1	1.1	0.7	10.6	0.7
50 代 (n= 271)	10.7	13.3	3.0	0.4	14.8	1.1
60 代 (n= 371)	16.7	8.4	3.8	1.1	8.1	0.8
70歳以上 (n= 511)	19.8	2.5	7.4	1.8	7.6	4.5

※網掛けは、他の年代と比べて顕著な特徴がみられる項目

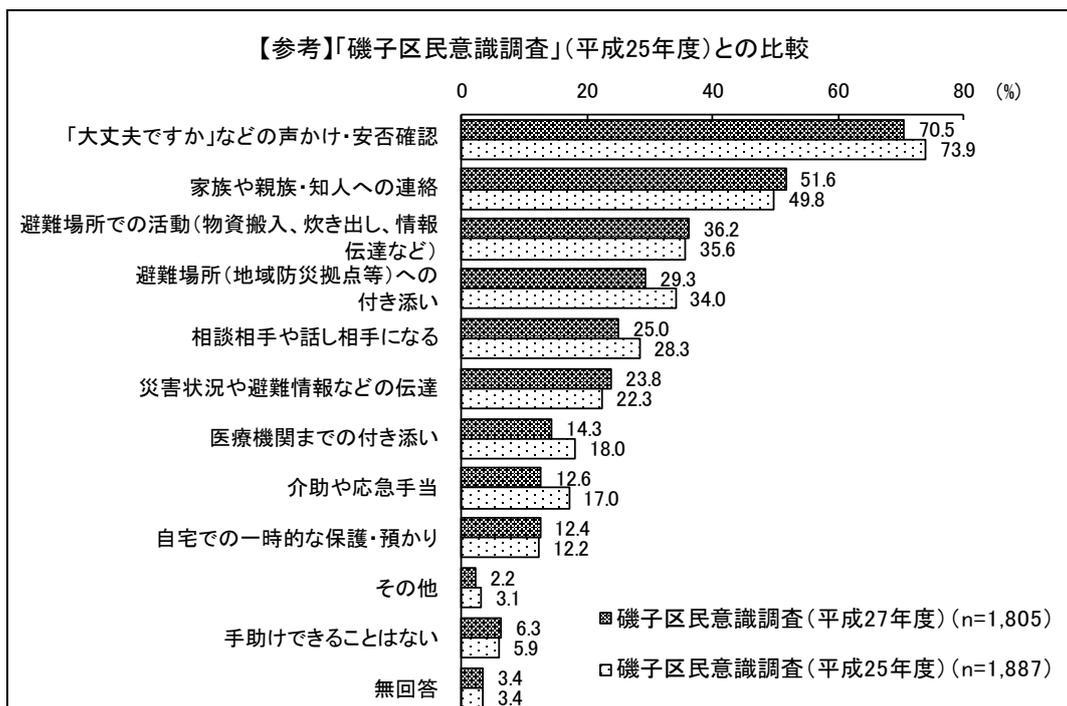
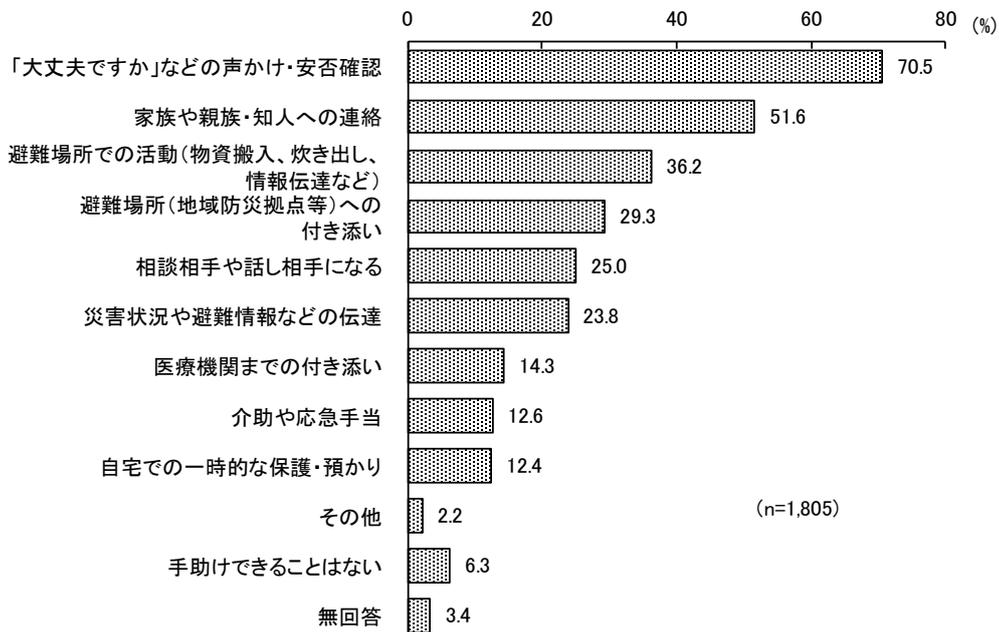
### (3) 要援護者の避難支援に関してできると思うこと

要援護者の避難支援に関して協力ができそうだと思うことについてたずねたところ、最も多かったのは「大丈夫ですか」などの声かけ・安否確認」で70.5%、次いで「家族や親族・知人への連絡」が51.6%、「避難場所での活動（物資搬入、炊き出し、情報伝達など）」が36.2%となっています。

#### 《過去の「磯子区民意識調査」との比較》

「磯子区民意識調査」（平成25年度）と比較すると、今回の調査では、「大丈夫ですか」などの声かけ・安否確認」、「避難場所（地域防災拠点等）への付き添い」等で、割合が低下しています。

問18 実際に震災が起こった際に、あなたは、こうした要援護者の避難支援に関してどのような協力ができそうだと思いますか。（○はいくつでも）（図64）



## 7 健康づくりについて

### (1) 1日に歩く時間

1日に歩く時間についてたずねたところ、「30分から1時間程度」が40.2%で最も高く、次いで「1時間から2時間程度」が24.9%、「30分以内」が22.1%となっています。

#### 《性別・年代別にみた1日に歩く時間》

1日に歩く時間について性別・年代別にみると、『1時間以上』では男性20代が55.8%で最も高く、「30分以内」では男性40代が28.6%で最も高くなっています。

#### 《居住地域別にみた1日に歩く時間》

1日に歩く時間について居住地域別にみると、『1時間以上』では杉田が43.2%で最も高く、「30分以内」では滝頭が29.6%で最も高くなっています。

問19 あなたは、1日にどのくらい歩いていますか（通勤・通学、買い物など含む）。（○は1つ）

(図 65)

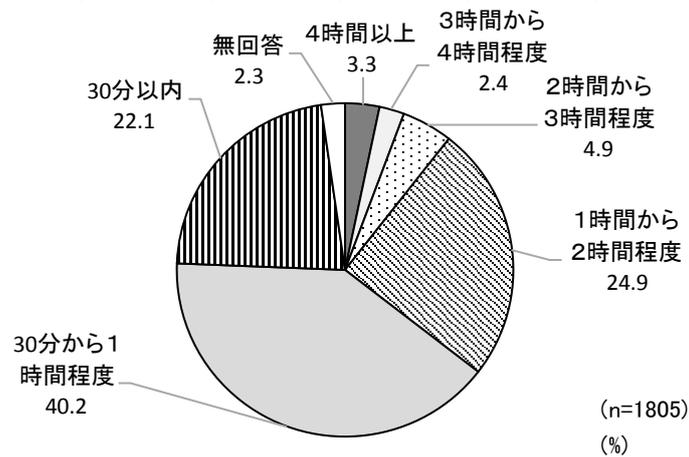


図 66 性別・年代別にみた1日に歩く時間

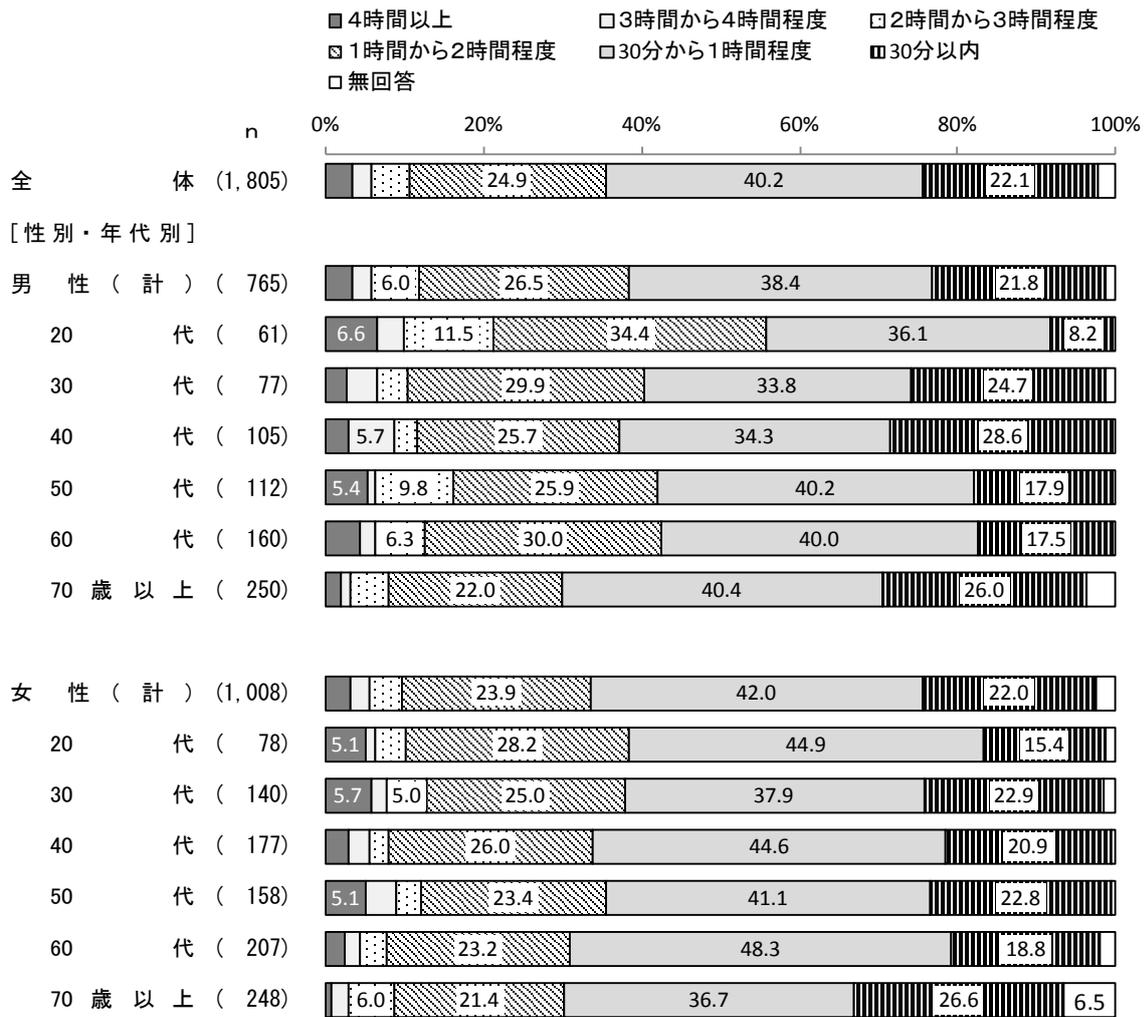
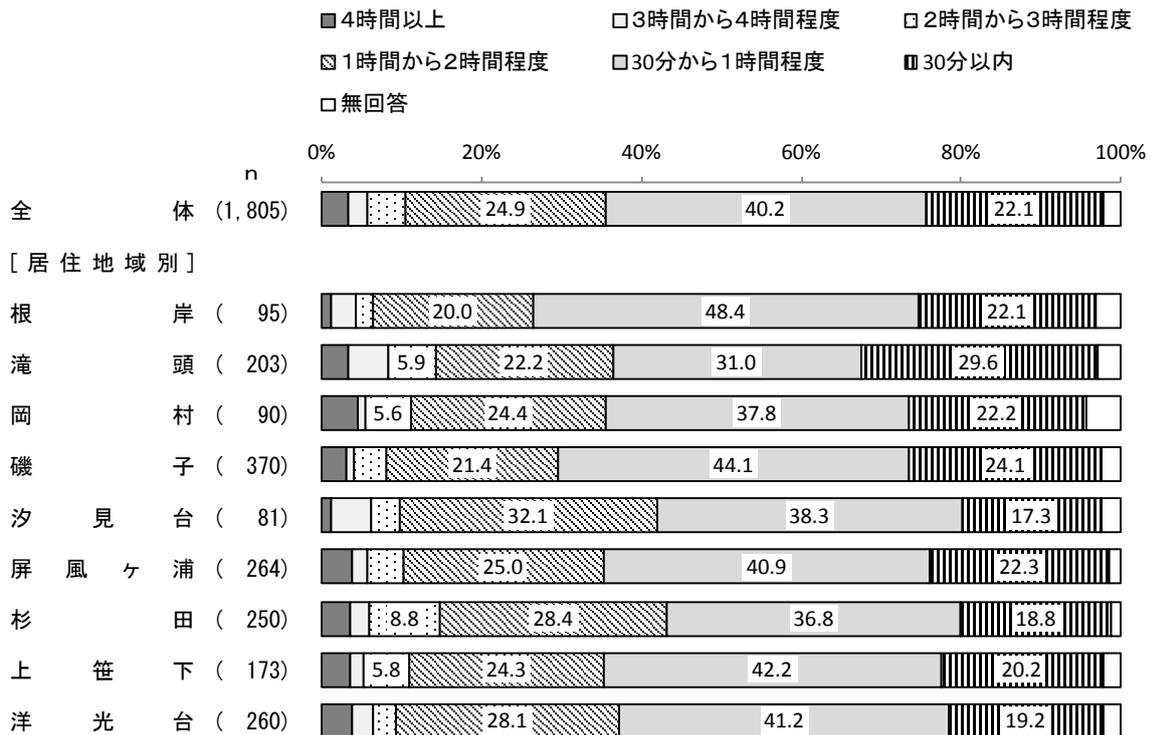


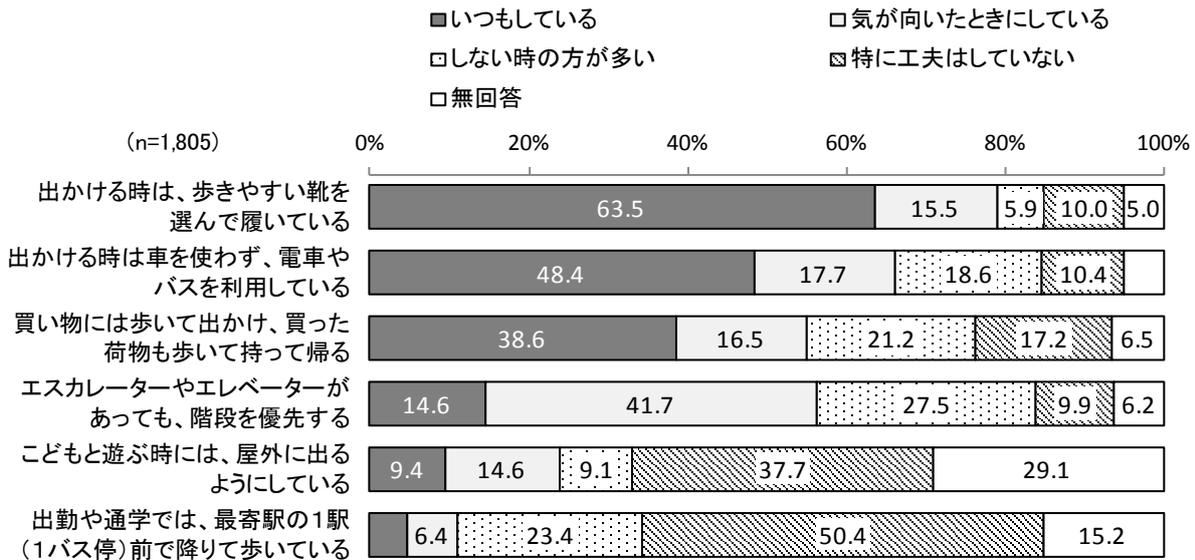
図 67 居住地域別にみた1日に歩く時間



(2) 日常的に歩くために行っていること

日常的に歩くために行っていることについてたずねたところ、「いつもしている」の割合が高かったのは、「出かける時は、歩きやすい靴を選んで履いている」が63.5%で最も高く、次いで「出かける時は車を使わず、電車やバスを利用している」が48.4%、「買い物には歩いて出かけ、買った荷物も歩いて持って帰る」が38.6%となっています。

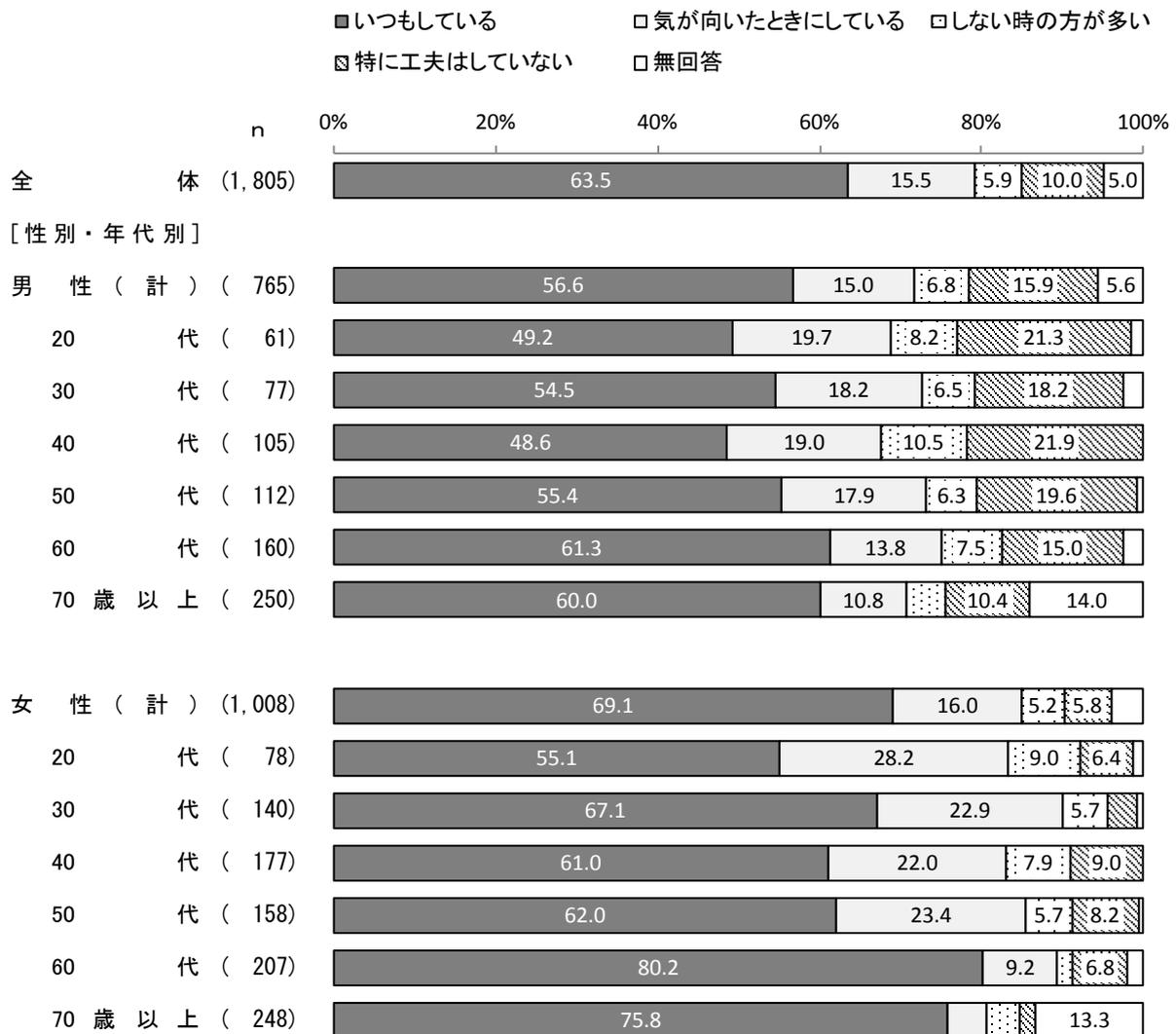
問20 日常的に歩くことは健康増進によいとされています。あなたは、次にあげた項目をどの程度行っていますか。(○はそれぞれ1つ) (図68)



《性別・年代別にみた【出かける時は、歩きやすい靴を選んで履いている】》

出かける時は、歩きやすい靴を選んで履いているか、性別・年代別にみると、すべての性別・年代で「いつもしている」が最も多く、特に女性の60代が80.2%、70歳以上が75.8%と、他の性別・年代と比べて割合が高くなっています。

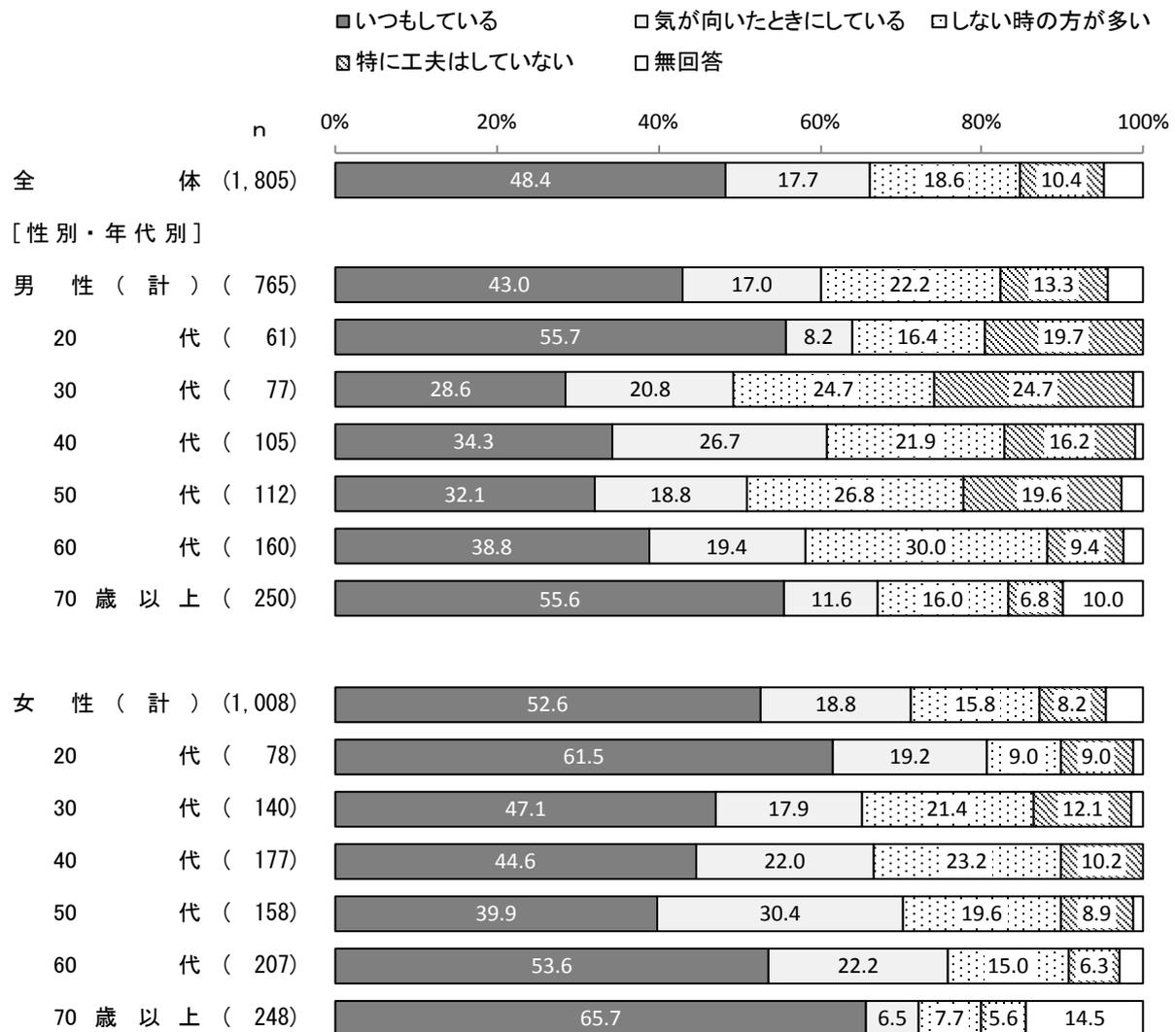
図 74 性別・年代別にみた【出かける時は、歩きやすい靴を選んで履いている】



《性別・年代別にみた【出かける時は車を使わず、電車やバスを利用している】》

出かける時は車を使わず、電車やバスを利用しているか、性別・年代別にみると、「いつもしている」ではすべての年代で女性の方が多くなっています。

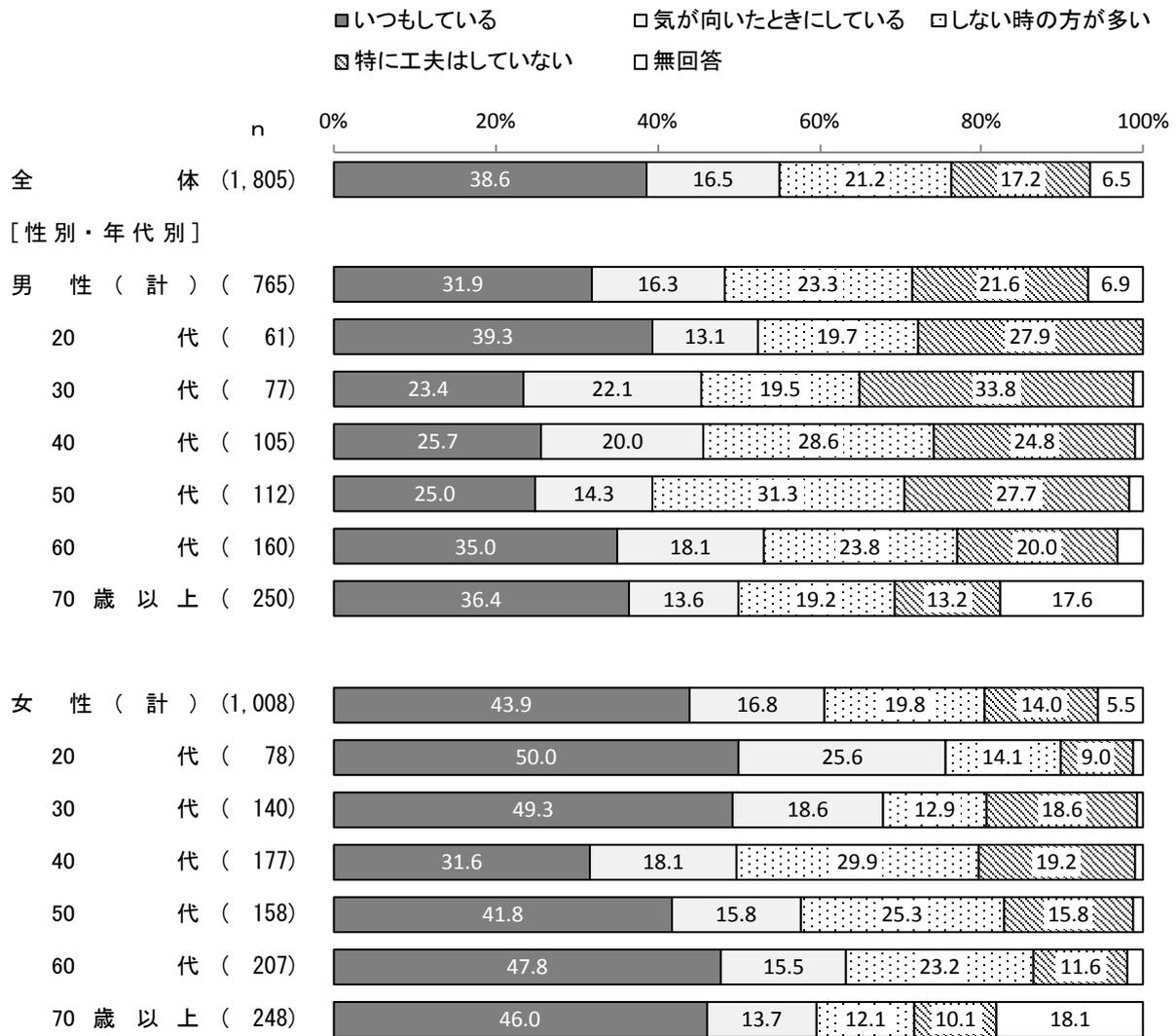
図 70 性別・年代別にみた【出かける時は車を使わず、電車やバスを利用している】



《性別・年代別にみた【買い物には歩いて出かけ、買った荷物も歩いて持って帰る】》

買い物には歩いて出かけ、買った荷物も歩いて持って帰るか、性別・年代別にみると、「いつもしている」ではすべての年代で女性の方が多くなっています。

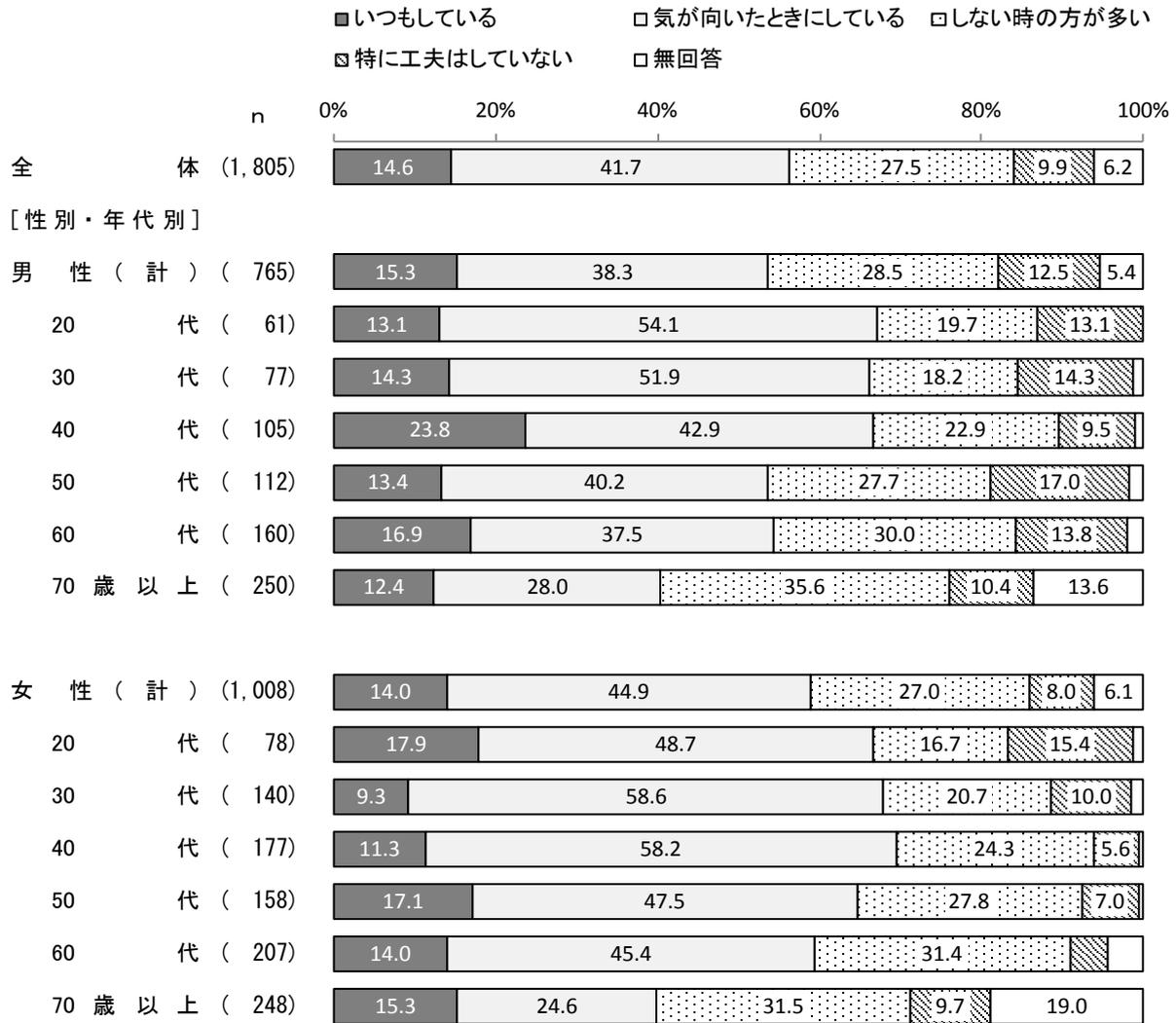
図 72 性別・年代別にみた【買い物には歩いて出かけ、買った荷物も歩いて持って帰る】



《性別・年代別にみた【エスカレーターやエレベーターがあっても、階段を優先する】》

エスカレーターやエレベーターがあっても、階段を優先しているか、性別・年代別にみると、「いつもしている」では男性 40 代が 23.8%で最も多くなっています。「特に工夫はしていない」では男性 50 代が 17.0%、女性 20 代が 15.4%と、それぞれ割合が高くなっています。

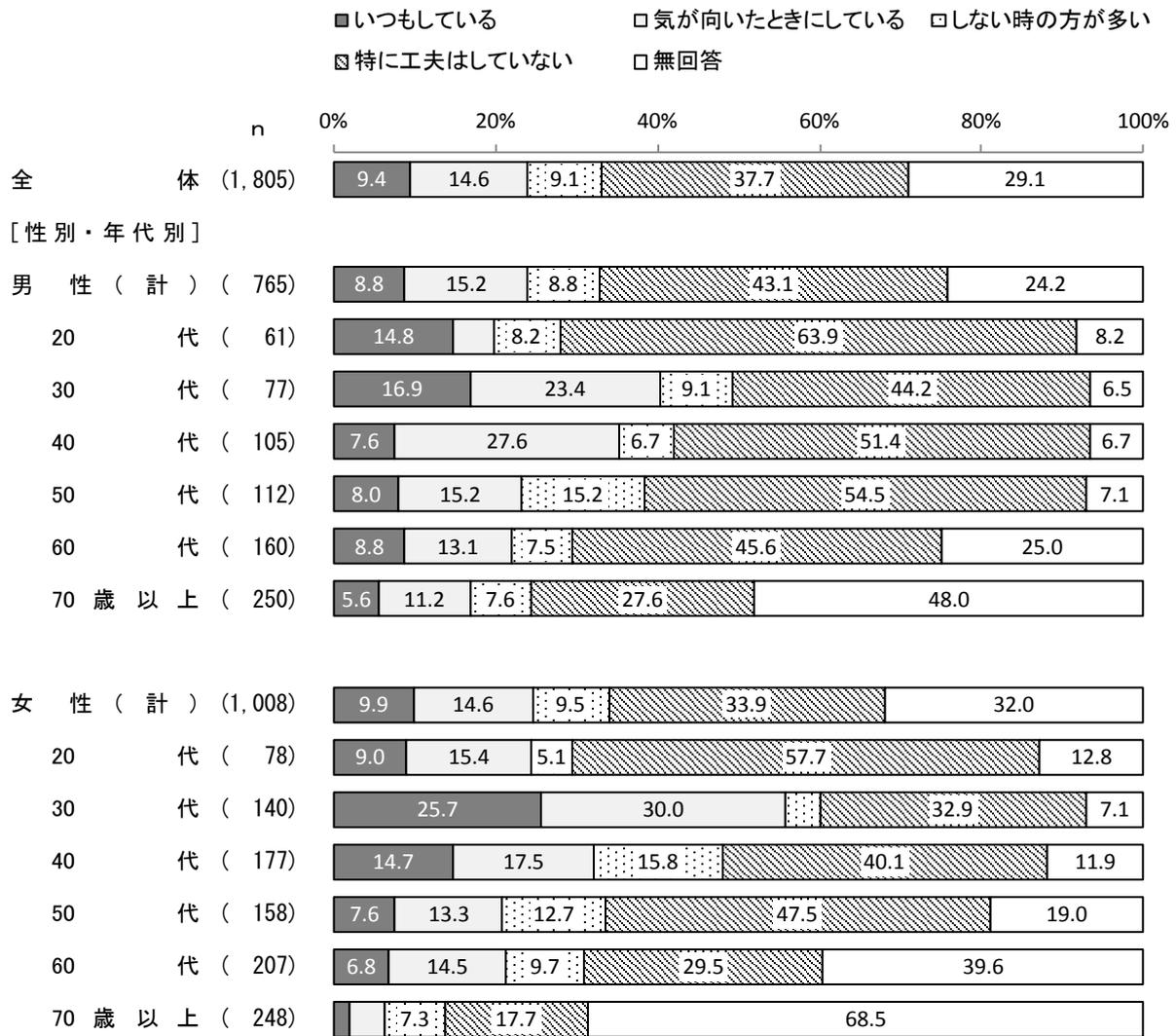
図 69 性別・年代別にみた【エスカレーターやエレベーターがあっても、階段を優先する】



《性別・年代別にみた【子どもと遊ぶ時には、屋外に出るようにしている】》

子どもと遊ぶ時には、屋外に出るようにしているか、性別・年代別にみると、すべての性別・年代において「特に工夫はしていない」の割合が最も高くなっています。「いつもしている」では、男女とも30代で最も多く、男性で16.9%、女性で25.7%となっています。

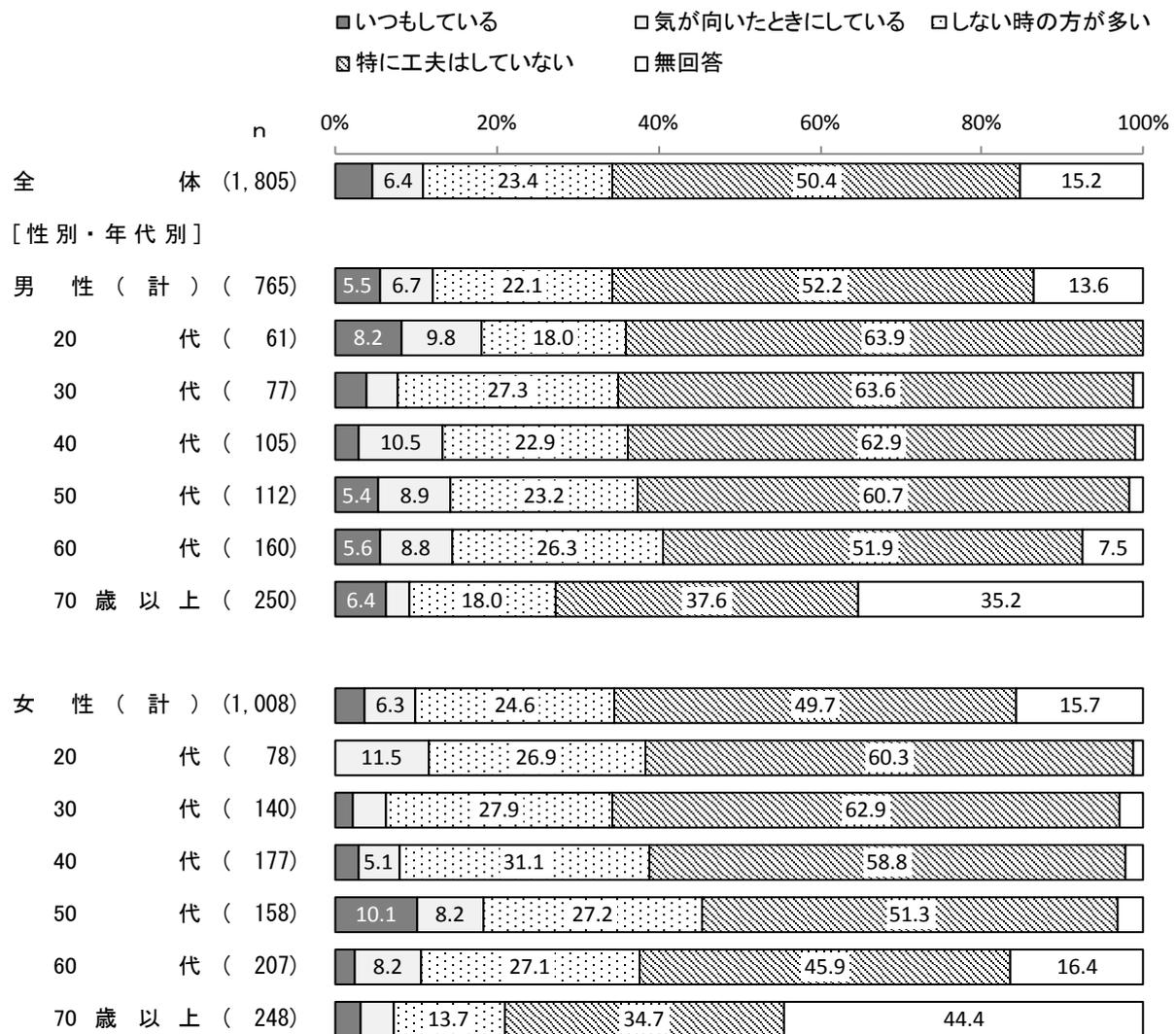
図 73 性別・年代別にみた【子どもと遊ぶ時には、屋外に出るようにしている】



《性別・年代別にみた【出勤や通学では、最寄駅の1駅（1バス停）前で降りて歩いている】》

出勤や通学では、最寄駅の1駅（1バス停）前で降りて歩いているか、性別・年代別にみると、すべての性別・年代において「特に工夫はしていない」の割合が最も高く、男女とも20代から50代では、50%を超えています。

図 71 性別・年代別にみた【出勤や通学では、最寄駅の1駅（1バス停）前で降りて歩いている】



【日常的に歩くために行っていることをはじめたきっかけ】

問 20 で「いつもしている」、「気が向いたときにしている」と回答した方に対して、はじめたきっかけについてたずねたところ、「将来を考えて健康のために」が 53.8%で最も高くなっています。

《性別・年代別にみた、日常的に歩くために行っていることをはじめたきっかけ》

日常的に歩くために行っていることをはじめたきっかけについて、性別・年代別にみると、男性 30 代、女性 20～40 代では、「ダイエット」の割合が他の年代より高く、特に女性 20 代では 26.3%と特徴がでています。また、男性 40 代～70 歳以上では、「医者へのアドバイスや健康診断」の割合が高くなっています。

問 20-1 問 20 でいずれかの項目に「1」、「2」と答えた方にお伺いします。きっかけはなんですか。  
(○は1つ) (図 75)

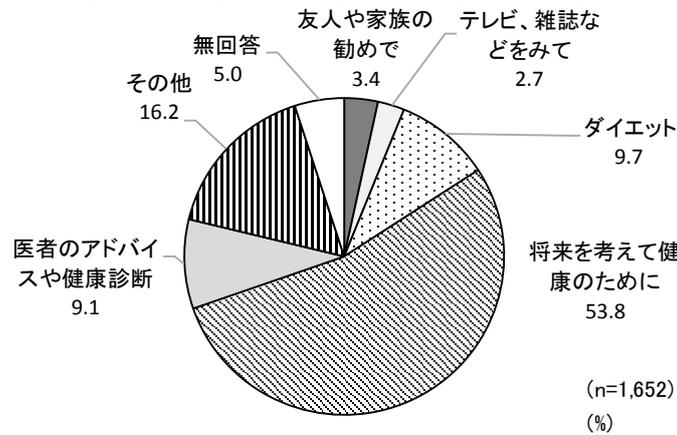
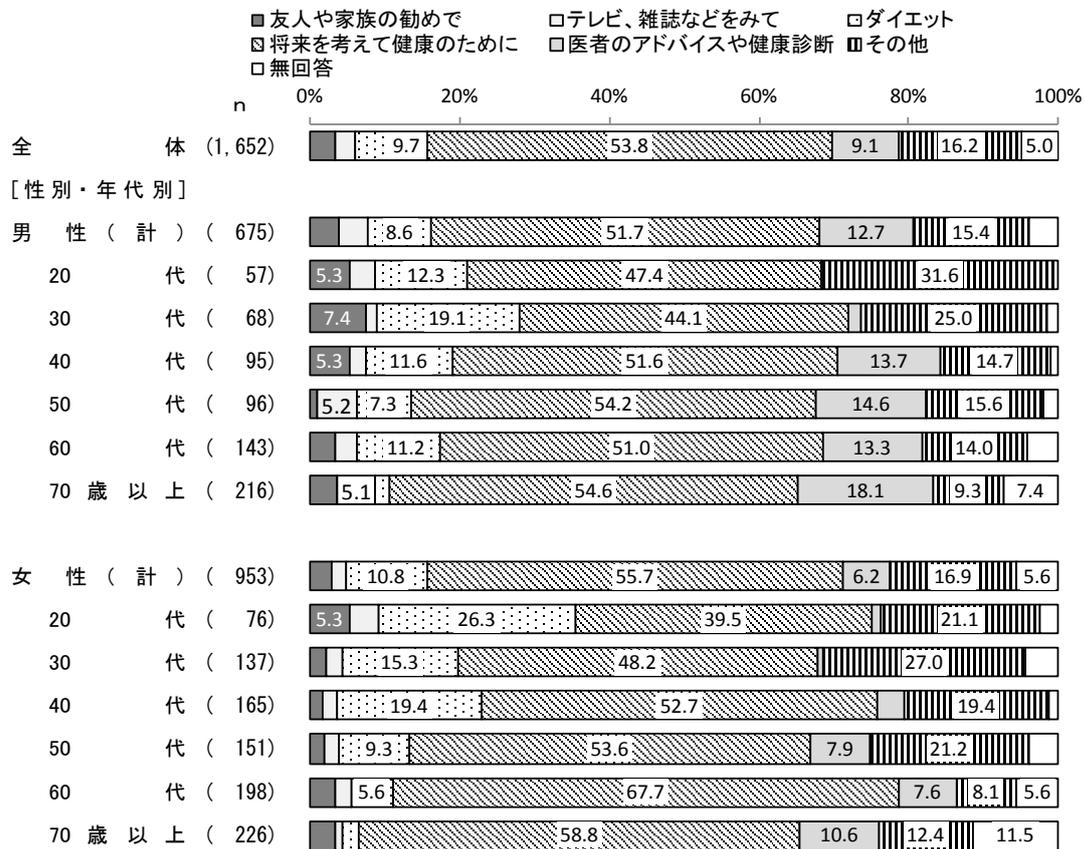


図 76 性別・年代別にみた日常的に歩くようにしているきっかけ



### (3) 今後の健康づくり

今後の健康づくりについてたずねたところ、「ウォーキング」が 51.9%で最も高く、次いで「食事の改善」が 48.8%、「早寝早起き」が 29.8%となっています。なお、「特に考えていない」と回答した方は 11.9%でした。

#### 《性別・年代別にみた今後の健康づくり》

今後の健康づくりについて性別・年代別にみると、「ウォーキング」では、男女とも 60代で最も多く、7割近くとなっています。「食事の改善」では女性 20代の割合が 64.1%と高く、ダイエットとの関連が見受けられます。また、「スポーツを定期的に行う」ではすべての年代において男性の方が多く、「ストレッチやヨガ」では、女性の方が多くなっています。

問 21 今後、どのような健康づくりを考えていますか。(〇はいくつでも) (図 77)

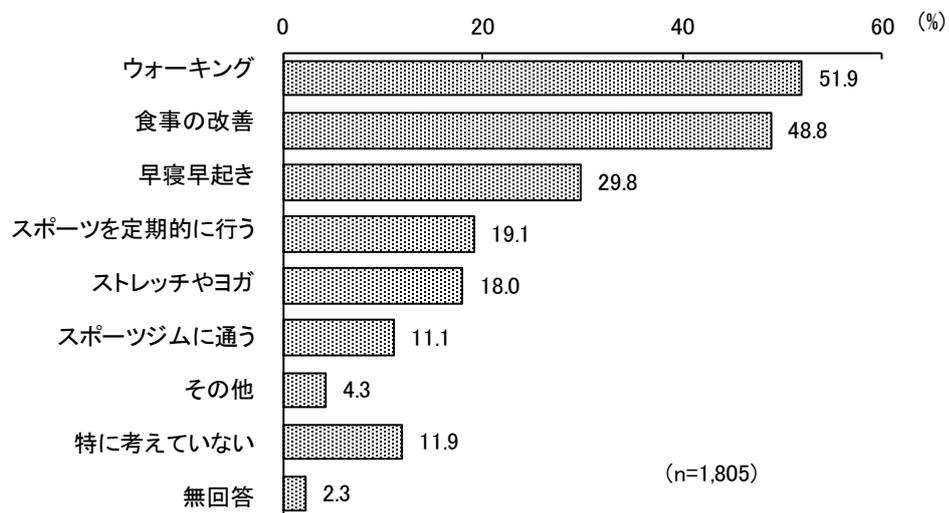
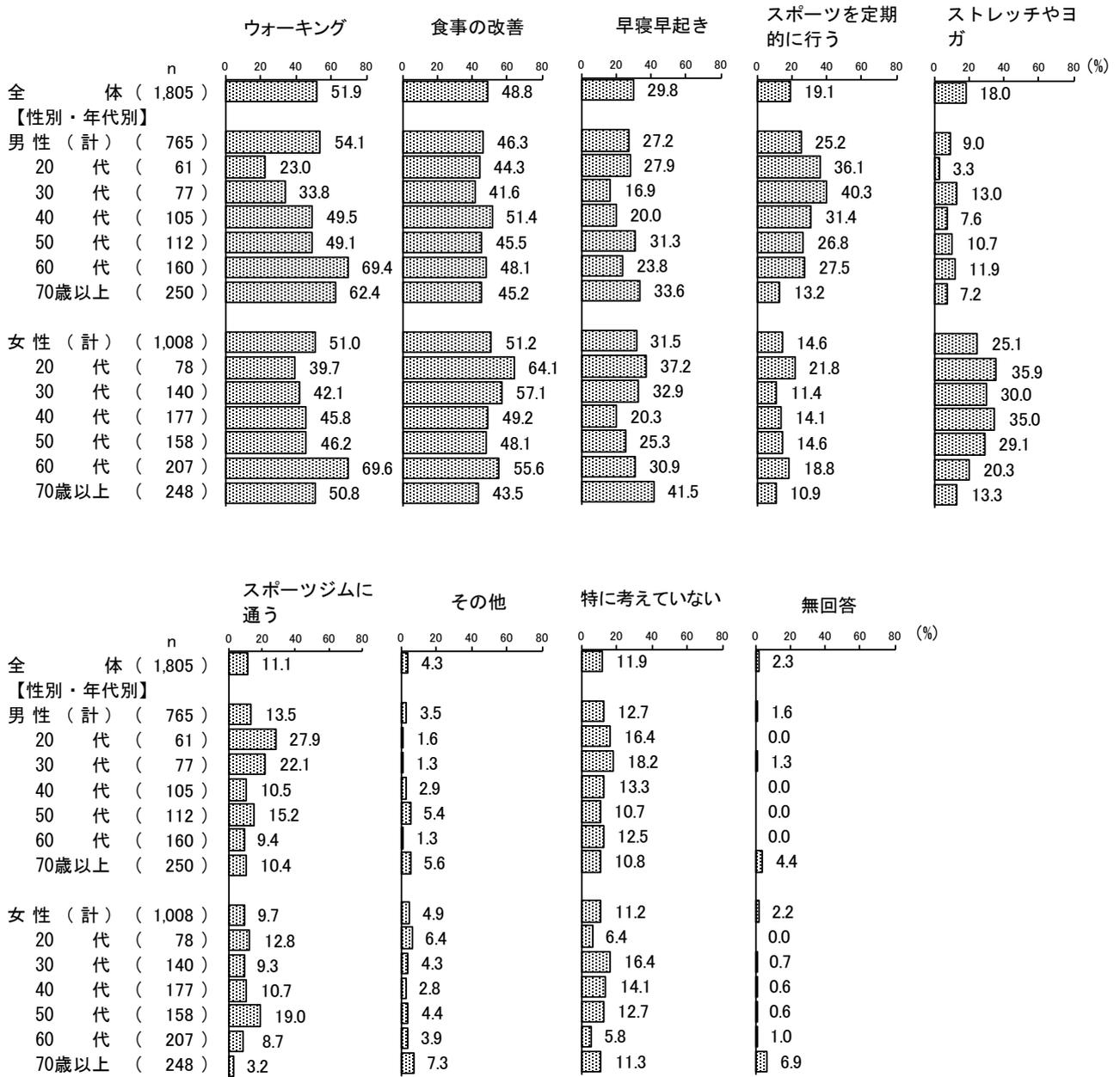


図 78 性別・年代別にみた今後の健康づくり



## 8 その他（自由意見について）

区役所に対する意見・提案や、お住まいの地域を良くするための意見・提案について、自由記述形式でたずねたところ、454件の有効回答がありました。自由意見の主な内容を「横浜市の広聴情報データベースシステムで使用する内容分類表」に従って整理すると、意見の多かった項目としては、「交通・道路」が131件と最も多く、次いで「福祉」が85件、「都市経営・運営」が80件、「市民利用施設」が63件などでした。

設問 区役所に対するご意見・ご提案や、お住まいの地域を良くするためのご意見・ご提案がございましたら、ご自由にご記入ください。

表 17 自由意見の主な内容【自由記述】

内容(分類別)	件数	内容(分類別)	件数	内容(分類別)	件数
交通・道路	131	都市整備・開発と住宅	48	子育て	20
道路	52	土地利用	29	保育園	8
交通安全対策	25	宅地造成・開発許可	7	子育て助成・給付	6
バス	23	公的住宅	6	子育て支援	4
駐車・駐輪	16	都市景観	2	幼稚園	1
鉄道	10	建築指導	2	放課後児童育成	1
総合交通対策	5	地籍調査	1	観光・シティセールス	14
福祉	85	住宅相談・助成	1	シティセールス	7
高齢者福祉	67	経済・産業	47	観光	7
障害者福祉	9	産業振興	38	教育	11
福祉相談体制	6	労働・雇用	9	教育内容	5
生活保護・援護対策	2	保健・衛生・医療	39	学校施設	4
バリアフリーの推進	1	保健	15	通学	2
都市経営・運営	80	医療	12	港湾・河川	9
計画・調査	48	衛生	12	河川	5
行政改革・組織	20	市民活動	39	港湾	3
財政	9	自治会・町内会	23	水域管理	1
入札・契約	1	市民活動・生涯学習	16	戸籍・税金・保険・年金	7
IT推進	1	広報・広聴・市民相談・情報公開	29	税金	4
監査	1	広報・広聴・市民相談	22	保険・年金	2
市民利用施設	63	情報公開	7	戸籍・登録	1
公園	16	公害・環境保全・緑	28	文化・スポーツ	7
市・区庁舎	13	緑地保全・緑化推進	11	スポーツ	4
図書館	10	野生動物対策	7	文化	3
スポーツ施設	8	騒音振動	5	上下水道	5
公会堂・地区センター	6	環境汚染	3	下水道	5
コミュニティハウス	5	環境保全対策	2	人権・男女共同参画	2
文化施設	4	ごみ・リサイクル	22	男女共同参画	2
その他の市民利用施設	1	ごみ収集	11	選挙	1
防犯・防災・消防	60	まちの美化	10	選挙	1
防災・消防	33	粗大ごみ	1	その他	23
防犯	27				
職員(教職員を除く)	57				
市民応対	46				
人事	11				

※1つの回答の中で複数の項目について記述されている場合は、それぞれの項目について1件と数えているため、各項目の件数の合計は回答者数には一致しません。

### Ⅲ 参考資料（調査票・単純集計結果）

## 平成 27 年度 磯子区民意識調査（調査票）

磯子区では、区民の皆様の意見を生かした区政を行うために、生活環境や地域活動等についての区民アンケート調査を 2 年毎に実施しています。

皆様からいただいたご意見は、「地域の人たちとともに作る 暮らしやすいまち・いそご」を目指した様々な施策に反映させてまいりたいと考えています。

つきましては、お忙しいなか誠に恐縮ではございますが、このアンケート調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成 27 年 6 月

磯子区長 小林 正幸

このアンケートは、磯子区在住の 20 歳以上の方々の中から無作為に抽出し、ご協力をお願いしています。ご回答いただいた内容は、すべて統計的に処理いたしますので、個人にご迷惑をおかけすることはありません。

ご回答いただいた調査票は、お手数ですが同封いたしました**返信用封筒に入れて、平成 27 年 6 月 29 日（月）までに投函**してください（切手及び記名は不要です）。

なお、調査報告書は平成 27 年 12 月頃に磯子区ホームページ等で公表する予定です。

#### ご記入にあたって

- ◆この調査票のご回答は、封筒の宛名のご本人様をお願いします。
- ◆質問には、回答にある番号に○印を付けていただく形式、記号を回答欄に記入していただく形式、自由に意見を記入していただく形式があります。
- ◆回答にある番号に○印を付けていただく形式では、**原則として該当する番号 1 つに○印を付けていただきます。複数の回答が可能な質問には、その旨、記載してあります。**質問文の記載にしたがってご回答ください。回答が、「その他」に当てはまる場合には、その番号に○印を付けて、( ) 内に具体的にその内容をご記入ください。

アンケートについて、ご不明な点やご質問がございましたら、下記までご連絡ください。

磯子区役所 総務部区政推進課企画調整係  
電話 045(750)2331  
電子メール is-kikaku@city.yokohama.jp  
担当 喜内、赤岸  
きない あかぎし

[ %の基数表示のないものは、n=1,805 ]

## あなたの普段の生活についてお伺いします。

問1 あなたは、今のご自分の生活に満足していますか、それとも、不満がありますか。(○は1つ)

- |                    |                   |                |
|--------------------|-------------------|----------------|
| 1 満足しているほう 21.8%   | 3 どちらともいえない 15.5% | 5 不満があるほう 9.6% |
| 2 まあ満足しているほう 40.9% | 4 やや不満があるほう 9.0%  | 6 わからない 0.8%   |
- 無回答:2.4%

問2 あなたは、近頃、ご自分やご家族の生活のことで心配ごとや困っていることがありますか。  
(○は3つまで)

- |                      |                          |
|----------------------|--------------------------|
| 1 自分の病気や老後のこと 50.0%  | 8 住宅のこと 13.1%            |
| 2 景気や生活費のこと 36.5%    | 9 事故・災害のこと 13.4%         |
| 3 家族の健康や生活上の問題 33.2% | 10 環境問題のこと 4.3%          |
| 4 子どもの保育や教育のこと 12.2% | 11 近隣からの悪臭・騒音 3.4%       |
| 5 仕事や職場のこと 11.4%     | 12 その他 4.7%              |
| 6 失業・倒産や収入が減ること 4.3% | 13 心配ごとや困っていることはない 11.0% |
| 7 犯罪や防犯のこと 9.1%      |                          |
- 無回答:1.8%

問3 あなたは、日常生活で困ったことが起きたとき、どなたに相談していますか、あるいは、どなたなら相談できると思いますか。(○はいくつでも)

- |               |                               |             |
|---------------|-------------------------------|-------------|
| 1 同居の家族 69.9% | 6 近所や地域の人 9.4%                | 11 いない 4.2% |
| 2 近隣の親族 29.6% | 7 自治会・町内会役員 3.2%              | 12 その他 2.4% |
| 3 遠方の親族 15.2% | 8 民生委員 2.5%                   |             |
| 4 友人・知人 42.4% | 9 区役所・市役所の職員 6.1%             |             |
| 5 職場の同僚 11.9% | 10 地域ケアプラザ・地域包括支援センターの職員 4.9% |             |
- 無回答:0.9%

問4 あなたは、これからもずっと磯子区に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

- |                  |                |               |
|------------------|----------------|---------------|
| 1 住み続ける 36.5%    | 3 たぶん移転する 6.6% | 5 わからない 18.3% |
| 2 たぶん住み続ける 35.7% | 4 移転する 2.3%    |               |
- 無回答:0.5%

問5 あなたが普段生活するうえで、次の各項目はどの程度重要だと思いますか。また、あなた自身、実際にどの程度行っていますか。(項目ごとに、「普段生活するうえで重要だと思うこと」、「あなた自身の取組状況」からそれぞれ番号を1つ選んで○)

項目	普段生活するうえで重要だと思うこと (%)						あなた自身の取組状況 (%)					
	重要	やや重要	どちらでもない	あまり重要ではない	重要ではない	無回答	よくできている	大体できている	どちらでもない	あまりできていない	できていない	無回答
ア. 不審者に注意すること	66.3	23.2	4.7	1.6	0.6	3.7	7.6	46.8	21.7	13.1	4.9	5.8
イ. 防犯パトロールに参加すること	14.5	31.4	34.1	8.1	4.6	7.3	1.7	5.5	17.7	15.7	52.4	7.1
ウ. 自宅に補助鍵や窓に防犯フィルムをつけること	31.3	36.2	17.3	7.8	2.0	5.4	5.9	24.8	16.0	19.2	27.7	6.3
エ. いざという時の避難場所を把握すること	64.8	24.2	5.2	1.3	0.3	4.2	14.7	44.4	13.0	14.0	8.3	5.7
オ. 普段から災害時の備えをすること	60.4	27.3	6.6	1.2	0.3	4.2	7.5	31.6	20.4	25.2	9.8	5.5
カ. 地域の防災訓練に参加すること	26.9	39.2	21.3	5.5	1.9	5.2	5.3	13.0	18.1	22.5	35.2	5.9
キ. ごみの分別をきちんとすること	64.2	26.1	4.8	1.3	0.3	3.3	51.6	39.2	2.8	1.0	0.6	4.9
ク. 資源集団回収に協力すること	53.4	30.9	9.3	1.9	0.5	4.0	40.8	37.7	8.4	4.1	3.7	5.3
ケ. 省エネに取り組むこと	46.2	37.4	9.9	1.3	0.8	4.4	15.9	44.2	22.6	9.6	2.3	5.5
コ. なるべくリサイクル製品を購入すること	8.7	23.7	42.5	13.8	6.1	5.2	2.7	11.8	40.2	21.1	18.2	6.0
サ. グリーンカーテンやエコドライブなど環境に配慮すること	18.6	41.9	26.4	6.1	1.8	5.2	4.9	22.7	34.1	18.4	13.9	6.1
シ. 子どもや子ども連れに気軽に声がけや挨拶をすること	18.6	34.1	32.9	6.3	3.1	5.0	7.6	27.0	31.5	15.7	12.3	5.9
ス. 困っている子ども連れを見かけたときに手助けすること	36.0	42.5	13.7	2.2	0.4	5.1	10.2	37.8	26.4	13.1	6.5	6.0
セ. 子どもを対象とした遊び・活動等に参加すること	9.1	24.2	42.1	12.2	6.6	5.8	2.8	8.1	31.5	19.3	32.1	6.2
ソ. 定期的に健康診断を受けること	55.2	31.0	7.7	1.8	0.6	3.8	32.5	35.4	10.6	9.3	7.0	5.1
タ. 食事バランスに気をつけること	54.8	34.0	6.6	0.9	0.1	3.5	18.5	44.0	18.2	11.6	2.8	4.8
チ. 定期的に運動をすること	46.8	37.9	9.3	1.2	0.4	4.3	15.1	27.0	20.4	20.3	11.7	5.5
ツ. 近隣にどんな人が住んでいるか知っていること	35.9	43.7	13.5	2.4	0.8	3.7	11.2	37.4	20.9	18.7	6.5	5.3
テ. 困ったときには近隣の人と相談しあうこと	19.4	39.9	28.1	6.4	1.7	4.4	4.4	20.3	29.2	20.8	19.9	5.4
ト. 地域の見守り・支え合い活動に参加すること	15.3	37.9	34.3	5.2	2.5	4.8	3.0	9.5	29.6	22.3	29.8	5.8
ナ. 地域の行事になるべく参加すること	12.3	35.5	36.6	7.4	3.6	4.6	4.0	13.1	26.6	22.5	28.5	5.3
ニ. 自治会・町内会の運営に参加すること	14.6	33.9	34.8	8.3	4.1	4.3	6.3	17.5	23.8	19.3	28.1	5.0

**隣近所との付き合いや、地域での活動についてお伺いします。**

問6 あなたは、隣近所と普段どのような付き合い方をしていますか。(○は1つ)

- 1 顔もよく知らない 9.1%
- 2 道で会えば挨拶ぐらいする 49.8%
- 3 たまに立ち話をする 29.1%
- 4 一緒に買い物に行ったり、気のあった人と親しくしている 5.1%
- 5 困ったとき、相談したり助け合ったりする 3.9%

無回答:3.0%

問6-1 問6で「2」～「5」と答えた方にお伺いします。お付き合いを始められたきっかけは何ですか。(○はいくつでも)

(n=1,585)

- 1 近くに住んでいるので自然に 87.8%
- 2 自治会・町内会活動を通じて 21.6%
- 3 管理組合の活動を通じて 7.1%
- 4 子育てなど、子ども関係を通じて 15.6%
- 5 趣味の活動を通じて 6.2%
- 6 買い物や飲食などで、同じ店を利用して 2.9%
- 7 犬の散歩で顔見知りになるなど、ペットを通じて 7.3%
- 8 その他 2.9%

無回答:2.3%

問7 あなたは自治会・町内会に加入していますか。(○は1つ)

- 1 加入している 74.5%
- 2 加入していない 18.7%
- 3 わからない 5.2%

無回答:1.6%

問7で「2 加入していない」と答えた方にお伺いします。

問7-1 自治会・町内会に加入していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

(n=337)

- 1 自治会・町内会の存在を知らないから 16.9%
- 2 加入のメリットがわからないから 20.2%
- 3 加入するきっかけや誘いが無いから 19.6%
- 4 管理組合があるから 20.2%
- 5 近所づきあいがわずらわしいから 11.6%
- 6 役員への就任などが重荷だから 17.5%
- 7 特になし 16.6%
- 8 その他 13.6%

無回答:0.9%

問7で「1 加入している」と答えた方にお伺いします。

問7-2 自治会・町内会に加入していて良かったと思うことは何ですか。(ご自由にお書きください)

問8 あなたは、現在、仕事や学業以外にどのような活動に参加していますか。(〇はいくつでも)

- |    |                                     |       |
|----|-------------------------------------|-------|
| 1  | 高齢者や障害者への手助けや交流などの福祉活動              | 3.9%  |
| 2  | 身近な道路や公園などの清掃活動                     | 6.7%  |
| 3  | 文化・芸術・スポーツの参加や振興                    | 10.3% |
| 4  | 祭や盆踊り、運動会などのイベント                    | 11.5% |
| 5  | 資源回収やごみの分別啓発、リサイクル活動                | 6.5%  |
| 6  | 公園での花壇づくりや美化、身近な水辺や緑地（里山など）の自然環境の保全 | 1.8%  |
| 7  | 在日外国人や海外との交流・支援などの活動                | 1.0%  |
| 8  | 自治会・町内会の活動                          | 17.6% |
| 9  | 子ども会、婦人会、老人クラブの活動                   | 5.1%  |
| 10 | PTA活動                               | 4.3%  |
| 11 | 保育ボランティアなどの子育て支援                    | 1.2%  |
| 12 | 交通安全や防災・防犯などの地域の安全活動                | 3.2%  |
| 13 | 建物の用途や高さなど建物についてのルールや美しいまちなみづくり     | 0.9%  |
| 14 | その他                                 | 3.2%  |
| 15 | 特になし                                | 55.9% |

無回答:4.8%

問8で参加している活動があると答えた（「1」～「14」に〇印を付けた）方にお伺いします。

問8-1 あなたが活動に参加した主な理由はどのようなことですか。(〇はいくつでも) (n=709)

- |   |                     |       |   |                    |       |
|---|---------------------|-------|---|--------------------|-------|
| 1 | 活動に参加したいという意欲があったから | 37.5% | 5 | 趣味や特技を活かしたかったから    | 17.1% |
| 2 | 友人や近所の人に勧められたから     | 16.6% | 6 | 持ち回り当番などやむを得なかったから | 31.9% |
| 3 | 時間に余裕があったから         | 17.5% | 7 | その他                | 7.6%  |
| 4 | 家族が参加していたから         | 9.2%  |   |                    |       |

無回答:5.2%

問8-2 活動に参加する楽しみ、参加して楽しい事は何ですか。(〇はいくつでも) (n=709)

- |   |                 |       |    |                   |       |
|---|-----------------|-------|----|-------------------|-------|
| 1 | 社会貢献ができる        | 26.2% | 7  | 人から感謝される          | 12.8% |
| 2 | 充実感が得られる        | 20.0% | 8  | 仲間や友人が作れる         | 37.5% |
| 3 | 友人や近所の人と交流ができる  | 48.0% | 9  | 知識や教養が身につけられる     | 13.3% |
| 4 | 家族とのふれあいの時間が持てる | 5.2%  | 10 | 気分転換になり、リフレッシュできる | 29.6% |
| 5 | 趣味や特技を活かせる      | 14.4% | 11 | その他               | 3.9%  |
| 6 | 活躍の場が得られる       | 11.3% |    |                   |       |

無回答:8.9%

問9 あなたは、今後、仕事や学業以外に、何か自分にできることで地域や社会に役立つ活動をしてみたいと思いますか。(〇は1つ)

- |   |          |       |   |              |       |   |             |       |
|---|----------|-------|---|--------------|-------|---|-------------|-------|
| 1 | してみたいと思う | 25.4% | 2 | してみたいが今はできない | 53.0% | 3 | してみたいとは思わない | 18.0% |
|---|----------|-------|---|--------------|-------|---|-------------|-------|

無回答:3.7%

**生活環境全般に対する満足度・重要度についてお伺いします。**

問 10 あなたは現在のお住まいの周辺的生活環境にどの程度満足していますか。また、以前と比べてどのように変わったと思いますか。

(項目ごとに、「満足度」、「以前と比べて」からそれぞれ番号を1つ選んで○)

項目	満足度						以前と比べて				
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	無回答	よくなった	変わらない	悪くなった	わからない	無回答
ア. バスの便などの地域交通	29.8	36.8	15.7	8.1	6.4	3.1	19.1	49.5	7.6	15.1	8.8
イ. 通勤・通学・買い物道路や歩道の整備	19.4	41.4	21.0	8.4	4.9	4.9	16.6	55.1	4.5	13.5	10.2
ウ. 放置自転車の防止・駐輪場整備、交通安全対策	10.5	33.3	21.7	11.0	15.8	7.7	15.4	42.5	7.6	22.6	11.9
エ. 区民が親しめる海辺・水辺環境の整備	3.9	19.1	12.7	6.8	49.6	8.0	6.0	26.5	4.1	50.9	12.5
オ. 商店街の振興	4.8	22.9	24.2	14.3	27.3	6.5	6.9	32.1	18.6	31.1	11.4
カ. 公園の管理、整備	11.4	36.6	15.2	6.2	24.3	6.3	17.0	36.6	6.1	29.0	11.4
キ. 緑の保全と緑化の推進	11.4	37.4	13.9	5.9	24.8	6.6	13.7	38.1	6.2	30.1	11.9
ク. ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化	16.0	47.8	16.2	4.3	10.9	4.9	22.4	43.9	5.3	17.6	10.9
ケ. 地球温暖化への対策	2.5	16.0	16.3	4.9	54.0	6.2	4.6	25.9	5.1	53.0	11.4
コ. 災害対策	3.4	26.1	15.2	5.0	43.8	6.5	9.3	32.0	2.2	45.2	11.4
サ. 防犯対策	3.9	26.0	18.9	5.5	39.5	6.2	10.0	33.9	4.2	40.7	11.2
シ. 食品衛生・環境衛生の監視・指導	3.4	17.0	11.3	2.5	58.8	6.9	5.3	24.4	1.7	56.7	11.9
ス. 子育て支援や青少年の健全育成	2.3	16.9	11.7	4.3	56.6	8.2	6.0	22.9	3.2	55.3	12.5
セ. 感染症・生活習慣病など保健推進	2.7	18.9	10.9	2.5	57.6	7.4	6.0	25.3	1.2	55.2	12.2
ソ. 高齢者福祉	2.9	18.6	15.8	9.7	47.2	5.8	7.4	26.5	6.4	48.5	11.2
タ. 障害者福祉	2.6	14.7	12.5	6.1	57.3	6.8	6.1	22.0	3.5	56.6	11.7
チ. 経済的に困っている人の保護	1.4	8.4	11.6	6.9	64.8	6.9	2.2	18.0	4.3	63.5	12.0
ツ. 地域活動支援	2.0	15.1	10.0	2.3	62.6	8.0	4.2	20.9	2.2	59.7	13.0
テ. 地区センター・スポーツセンターなどの施設サービス	6.3	26.6	11.3	5.0	44.1	6.7	10.1	29.9	2.2	46.0	11.8
ト. 広報や広聴、市民相談、情報公開など区民参加の推進	4.2	23.3	9.2	3.0	53.4	6.9	7.0	26.1	1.4	53.0	12.4
ナ. 身近な住民窓口サービス	6.4	26.9	10.4	4.5	45.0	6.9	11.5	29.4	2.2	45.1	11.9
ニ. 誰もが歩きやすい段差解消などのバリアフリー	3.9	22.0	22.9	13.5	31.6	6.0	13.3	38.2	3.8	33.3	11.5
お住まい周辺的生活環境の総合的な評価	6.3	47.2	22.9	5.8	11.0	6.8	12.7	50.5	4.9	18.9	13.0

問 11 上記ア～ニの質問項目のうち、あなたのお住まいの周辺の環境にとって、特に重要度が高いとお考えの項目を3つまでお選びください。

(ア～ニから3つを選んで記入)

ア : 33.3%

サ : 31.5%

コ : 26.6%

問 12 上記ア～ニの質問項目のうち、磯子区役所が取り組むべき課題として、重要度が高いとお考えの項目を3つまでお選びください。

(ア～ニから3つを選んで記入)

ソ : 32.5%

コ : 31.8%

サ : 25.6%

問 13 磯子のまちづくりについて、まちの魅力やお住いの理由、また解決したいまちの課題、ご提案などがございましたら、ご自由にお書きください

**商店街についてお伺いします。**

問 14 あなたは、地元の商店街をどのくらい利用していますか。(○は1つ)  
(スーパーや百貨店などの大型店は除く)

1 ほぼ毎日利用している 9.8%	4 週に1日は利用している 14.3%	無回答:3.3%
2 週に4～5日利用している 5.3%	5 月に1回は利用している 10.4%	
3 週に2～3日利用している 12.5%	6 ほとんど利用していない 44.4%	

(問 14 で「1」～「5」と答えた方) 普段利用されている商店街名をご記入ください。(複数可)

商店街名 (あるいは場所)	
------------------	--

問 14 で「1」～「5」と答えた方にお伺いします。

▶ 問 14-1 商店街を利用する主な理由は何ですか。(○はいくつでも) (n=944)

1 自宅の近くにあり便利 64.8%	6 価格が安い 37.2%	無回答:2.3%
2 品揃えがよい 15.8%	7 そここでは買えないものがある 12.9%	
3 品質・鮮度がよい 18.6%	8 使いやすい量で購入できるなど要望に応じてくれる 8.1%	
4 店の人が親切である 15.1%	9 その他 6.8%	
5 店に信用がある 8.8%		

問 15 あなたが、商店街に対して希望することは、どのようなことですか。(○はいくつでも)

1 豊富な品揃え 39.9%
2 個別ニーズへの対応(少量での販売や加工など) 21.4%
3 商品の品質の向上 31.0%
4 イベントやセールの実施 15.2%
5 店舗の種類の実施 31.3%
6 イベントやセール情報(宣伝、チラシなど広報)の実施 10.8%
7 商品の配送サービスの実施 9.8%
8 駐車場・駐輪場の確保 24.3%
9 その他 6.6%
10 特になし 13.8%

無回答:7.4%

## 災害対策についてお伺いします。

問 16 あなたやあなたの家族にとって、大地震が起きたときに特に心配なことをあげてください。  
(○はいくつでも)

1 家屋の倒壊損傷 53.9%	11 避難場所での生活 57.1%
2 家具の転倒 39.6%	12 けが・病気の治療 40.9%
3 火災の発生 60.7%	13 要援護者（高齢者や障害のある方）の避難 17.8%
4 津波の被害 22.6%	14 いざというとき、隣近所に頼る人がいない 16.0%
5 土地の液状化 14.1%	15 交通機関の運休・帰宅困難になること 36.9%
6 がけ崩れや地割れ 29.4%	16 デマなどによる治安の乱れ 15.5%
7 災害情報の入手 31.6%	17 ペットの保護 12.2%
8 家族・知人の安否 66.9%	18 特に心配なことはない 0.5%
9 水道・電気・ガスなどのライフラインの停止 74.7%	19 その他 2.0%
10 食料品・飲料水の確保 63.0%	

無回答:1.2%

問 17 あなたの家庭では、大地震に対してどのような準備を行っていますか。(○はいくつでも)

1 建物の耐震診断や耐震補強 13.4%	7 地域の防災訓練への参加 13.4%
2 家具類の固定や転倒防止などの対策 35.3%	8 隣近所との話し合い 3.8%
3 家族との連絡方法の確認 36.1%	9 職場や学校からの帰宅ルートの確認 11.8%
4 避難場所（地域防災拠点等）の確認 39.6%	10 特に何もしていない 11.6%
5 携帯ラジオや懐中電灯など防災用品の用意 59.1%	11 その他 1.0%
6 3日分以上の食料品・飲料水の備蓄 41.4%	

無回答:2.0%

《区役所では、震災等の災害発生を想定して、自治会町内会において要援護者（高齢者・障害者など、避難に支援を必要とする方）の情報を把握することや、具体的な支援体制が整備されることを目指して取組を進めています。》

問 18 実際に震災が起こった際に、あなたは、こうした要援護者の避難支援に関してどのような協力ができそうだと思いますか。(○はいくつでも)

1 「大丈夫ですか」などの声かけ・安否確認 70.5%	8 災害状況や避難情報などの伝達 23.8%
2 家族や親族・知人への連絡 51.6%	9 相談相手や話し相手になる 25.0%
3 自宅での一時的な保護・預かり 12.4%	10 その他 2.2%
4 避難場所（地域防災拠点等）への付き添い 29.3%	11 手助けできることはない 6.3%
5 介助や応急手当 12.6%	
6 医療機関までの付き添い 14.3%	
7 避難場所での活動（物資搬入、炊き出し、情報伝達など） 36.2%	

無回答:3.4%

**あなたの健康づくりについてお伺いします。**

問 19 あなたは、1日にどのくらい歩いていますか（通勤・通学、買い物など含む）。（○は1つ）

1 4時間以上 3.3%	4 1時間から2時間程度 24.9%	無回答:2.3%
2 3時間から4時間程度 2.4%	5 30分から1時間程度 40.2%	
3 2時間から3時間程度 4.9%	6 30分以内 22.1%	

問 20 日常的に歩くことは健康増進によいとされています。あなたは、次にあげた項目をどの程度行っていますか。（○はそれぞれ1つ）

	いつもしている	気が向いたときにして	しない時の方が多い	特に工夫はしていない	無回答
ア. エスカレーターやエレベーターがあっても、階段を優先する	14.6	41.7	27.5	9.9	6.2
イ. 出かける時は車を使わず、電車やバスを利用している	48.4	17.7	18.6	10.4	4.9
ウ. 出勤や通学では、最寄駅の1駅（1バス停）前で降りて歩いている	4.6	6.4	23.4	50.4	15.2
エ. 買い物には歩いて出かけ、買った荷物も歩いて持って帰る	38.6	16.5	21.2	17.2	6.5
オ. こどもと遊ぶ時には、屋外に出るようにしている	9.4	14.6	9.1	37.7	29.1
カ. 出かける時は、歩きやすい靴を選んで履いている	63.5	15.5	5.9	10.0	5.0



問 20-1 問 20 でいずれかの項目に「1」、「2」と答えた方にお伺いします。きっかけはなんですか。（○は1つ） (n=1,652)

1 友人や家族の勧めで 3.4%	4 将来を考えて健康のために 53.8%	無回答:5.0%
2 テレビ、雑誌などをみて 2.7%	5 医者からのアドバイスや健康診断 9.1%	
3 ダイエット 9.7%	6 その他 16.2%	

問 21 今後、どのような健康づくりを考えていますか。（○はいくつでも）

1 ウォーキング 51.9%	5 早寝早起き 29.8%	無回答:2.3%
2 スポーツジムに通う 11.1%	6 食事の改善 48.8%	
3 ストレッチやヨガ 18.0%	7 特に考えていない 11.9%	
4 スポーツを定期的に行う 19.1%	8 その他 4.3%	

**あなたご自身やご家族のことについてお伺いします。**

F 1 あなたの性別をお選びください。(○は1つ)

1 男性 42.5%	2 女性 56.0%	無回答:1.6%
------------	------------	----------

F 2 あなたの年齢をお選びください。(○は1つ)

1 20歳～24歳 3.7%	4 35歳～39歳 6.8%	7 50歳～54歳 7.4%	10 65歳～69歳 11.9%
2 25歳～29歳 4.0%	5 40歳～44歳 7.8%	8 55歳～59歳 7.6%	11 70歳～74歳 10.7%
3 30歳～34歳 5.3%	6 45歳～49歳 8.0%	9 60歳～64歳 8.7%	12 75歳以上 17.6%
無回答:0.6%			

F 3 あなたは結婚されていますか。配偶者の方はご健在ですか。(○は1つ)

1 既婚 (配偶者あり) 68.9%	2 既婚 (離死別) 13.2%	3 未婚 16.6%
無回答:1.3%		

F 3-1 (F 3で既婚 (配偶者あり) と答えた方) あなたは共働きをしていますか。(○は1つ)

1 フルタイム共働き 16.5%	(n=1,244)
2 パートタイム共働き (夫婦の何れか、あるいは両方がパートタイム) 24.9%	
3 していない 56.8%	無回答:1.8%

F 4 あなたにお子さんはいますか。いる場合、お子さんは次のどの段階にあたりますか。別居しているお子さんも含め全員について、それぞれお答えください。(○はいくつでも)

1 小学校入学前 7.6%	7 学校教育終了—未婚—同居 18.2%
2 小学校在学中 8.3%	8 学校教育終了—未婚—別居 9.5%
3 中学校在学中 5.3%	9 学校教育終了—既婚—同居 4.8%
4 高校在学中 4.3%	10 学校教育終了—既婚—別居 30.6%
5 各種学校、専修・専門学校在学中 1.1%	11 その他 3.1%
6 短大・大学・大学院在学中 6.1%	12 子どもはいない 23.5%
無回答:6.2%	

F 5 あなたのご家族 (同居されている方) の構成をお選びください。(○は1つ)

1 ひとり暮らし 11.2%	3 親と子 (2世代) 47.0%	5 その他 5.3%
2 夫婦のみ 28.8%	4 祖父母と親と子 (3世代) 5.4%	無回答:2.2%

F 6 あなたのご職業をお選びください。(○は1つ)

1 自営業・自由業 (農林漁業、商工サービス業、自由業の自営業主および家族従業者) 7.0%
2 管理職 (会社の部長級以上、官公庁の課長級以上など) 5.0%
3 専門技術職 (勤務医師、研究所研究員、技師など) 8.5%
4 事務職 (事務職、営業職、教員など) 14.5%
5 生産・販売等の職業 (生産工程、販売・サービス、運転手、保安職など) 12.7%
6 主婦・主夫 21.4%
7 学生 1.6%
8 無職 26.8%
無回答:2.4%

F7 あなたの住んでいる町名をお選びください。(○は1つ)

《根岸地域》			
1 上町 0.3%	2 馬場町 0.7%	3 坂下町 0.4%	4 下町 0.4%
5 原町 0.8%	6 西町 1.0%	7 東町 1.7%	8 鳳町 0.0%
《滝頭地域》			
9 丸山一・二丁目 3.7%	10 滝頭一・二丁目 1.9%	11 滝頭三丁目 0.4%	12 岡村一～三丁目 3.8%
13 中浜町 1.4%			
《岡村地域》			
14 岡村四～六・八丁目 5.0%			
《磯子地域》			
15 磯子一～三丁目 8.7%	16 磯子四～八丁目 6.1%	17 磯子台 2.1%	18 広地町 0.6%
19 久木町 1.8%	20 岡村七丁目 1.2%	21 新磯子町 0.0%	
《汐見台地域》			
22 汐見台1～3丁目 4.5%			
《屏風ヶ浦地域》			
23 森一丁目 2.3%	24 森二丁目 0.9%	25 森三丁目 1.2%	26 森四～六丁目 3.7%
27 中原一・二丁目 1.7%	28 中原三・四丁目 1.9%	29 新中原町 0.0%	30 森が丘一・二丁目 2.9%
31 新森町 0.0%			
《杉田地域》			
32 杉田一丁目 0.9%	33 杉田二・三丁目 3.8%	34 杉田四丁目 1.9%	35 杉田五丁目 1.5%
36 杉田六～九丁目 4.8%	37 杉田坪呑 0.7%	38 新杉田町 0.3%	
《上笹下地域》			
39 田中一・二丁目 1.6%	40 栗木一～三丁目 3.8%	41 上中里町 2.8%	42 峰町 0.1%
43 氷取沢町 1.4%			
《洋光台地域》			
44 洋光台一～三丁目 6.2%	45 洋光台四～六丁目 8.2%	無回答:1.1%	

F8 あなたのお住いの形態をお選びください。(○は1つ)

1 持家(一戸建て) 45.1%	5 借家(都市再生機構(旧公団)・公社の共同住宅) 4.9%
2 持家(マンション・共同住宅) 31.7%	6 社宅、公務員住宅 1.2%
3 借家(一戸建て) 2.2%	7 民間アパート、民間賃貸マンション 11.0%
4 借家(県営・市営の共同住宅) 2.6%	8 その他 0.5%
無回答:0.8%	

F9 あなたは今のお住いにいつごろから住んでいますか。(○は1つ)

1 昭和20年(1945)より前 1.2%	6 昭和60～平成6年(1985～1994) 13.9%
2 昭和20～29年(1945～1954) 1.9%	7 平成7～11年(1995～1999) 11.4%
3 昭和30～39年(1955～1964) 4.2%	8 平成12～16年(2000～2004) 10.1%
4 昭和40～49年(1965～1974) 10.3%	9 平成17～21年(2005～2009) 11.5%
5 昭和50～59年(1975～1984) 12.3%	10 平成22年(2010)以降 22.3%
無回答:0.9%	

F10 あなたはどこへ通勤・通学されていますか。職業をお持ちでない方は、日常生活を主に過ごす場所をお選びください。(○は1つ)

1 磯子区 50.0%	4 東京都内 11.5%
2 横浜市内の他の区 26.0%	5 その他 3.3%
3 神奈川県内の他市町村 6.0%	
無回答:3.3%	

F11 あなたが普段利用している鉄道駅は、次のうちのどこですか。(最も利用頻度の高い駅に1つだけ○)

1 根岸駅 15.8%	4 洋光台駅 19.3%	7 屏風浦駅 6.1%
2 磯子駅 16.7%	5 港南台駅 0.2%	8 杉田駅 8.7%
3 新杉田駅 7.3%	6 上大岡駅 11.9%	9 その他 3.7%
10 普段、鉄道を利用しない 6.7%		
無回答:3.7%		

F11で「1 根岸駅」～「9 その他」と答えた方にお伺いします。

F11-1 あなたが普段利用している鉄道駅までの交通手段は何ですか。(○は1つ) (n=1,618)

1 徒歩のみ 51.4%	4 バス 26.1%
2 自転車 6.0%	5 自家用車 1.8%
3 バイク 1.7%	6 その他 1.1%
無回答:11.9%	

## 自由意見欄

区役所に対するご意見・ご提案や、お住まいの地域を良くするためのご意見・ご提案がございましたら、ご自由にご記入ください。

これでアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

アンケート票は同封いたしました返信用封筒に入れて、

**平成27年6月29日(月)までにご投函ください(切手及び記名は不要です)。**

平成 27 年度 磯子区民意識調査報告書

平成 27 年 12 月発行

横浜市磯子区区政推進課

〒235-0016 横浜市磯子区磯子 3-5-1

TEL 045(750)2331 FAX 045(750)2533